
会 告 ・ 通 知

定 時 社 員 総 会 開 催 の お 知 ら せ

下記により5月25日(土)に本会の定時社員総会を開催致します。

記

日 時 平成25年5月25日(土)午後2時から
場 所 機械振興会館地下2階ホール(東京都港区芝公園3-5-8)
議 案 第1号議案(報告) 平成24年度事業報告
第2号議案(審議) 平成24年度決算書
第3号議案(報告) 監査報告
第4号議案(審議) 新理事・監事の選任について
第5号議案(報告) 平成25年度事業計画
第6号議案(報告) 平成25年度収支予算

-----◇-----◇-----◇-----◇-----

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます
<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku-tsuuchi.html>
(本会ホームページ→左側 MENU 上から3番目会告ページ入)

複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的の複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません。(社外頒布目的の複写については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

平成 25 年 5 月号会告・通知目次

◇定時社員総会開催のお知らせ	1
◇第一種研究会開催案内（平成 25 年 5 月 9 日～5 月 31 日）	3
◇第二種研究会開催案内・発表募集案内	35
◇2013 年ソサイエティ大会開催案内	36
◇平成 25 年度春季先端オープン講座開講——御案内と受講者募集——	37
◇支部大会	
・平成 25 年度電気関係学会東北支部連合大会	40
◇講演会・講習会・学術研究集会等	
・関西支部 電気四学会関西支部日帰り見学会「音羽電機工業(株)雷テクノロジセンター」	40
・本会が協賛等のもの	41
◇国際会議	42
◇受賞候補者募集等	42
◇求人欄	44
◇お知らせ	
・平成 25 年度会費お払込みのお願い	45
・転勤・転居及び学生員申請の届出について	45
・平成 25 年 5 月号及び 6 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	45
◇論文特集原稿募集	
・Special Section on Communication Sciences and Engineering（英文論文誌 NOLTA）	46
・人とエージェントのインタラクション特集（和文論文誌 A）	47
・エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術の進展特集（和文論文誌 C）	47
・フォーマルアプローチ小特集（英文論文誌 D）	48
・サイバーワールド特集（和文論文誌 D）	49
◇論文特集論文募集カレンダー	51
♡複写される方へ	1
♡新刊案内	
・本会発行図書	
[新版 ULSI デバイス・プロセス技術]	50
・電子情報通信レクチャーシリーズ	
[電子デバイス]	43
♡総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について	45

電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会 平成 25 年 5 月 9 日～5 月 31 日

開催プログラムは変更になることがあります。
最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。
<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告頁
技 術 と 社 会 ・ 倫 理	16日(木)	10：00～17：30	情報セキュリティ大学院大学	6
ワ イ ド バ ン ド シ ス テ ム	16日(木)	13：00～17：25	宇都宮大学・工学部・陽東キャンパス	7
衛 星 通 信	17日(金)	9：00～15：20		
イ メ ー ジ ・ メ デ ィ ア ・ ク オ リ テ ィ	17日(金)	13：30～15：10	成蹊大学	10
情 報 セ キ ュ リ テ ィ	23日(木)	12：55～17：35	機械振興会館	12
安 全 性	23日(木)	13：00～17：00	機械振興会館	12
超 音 波	27日(月)	13：30～17：15	機械振興会館	13
I T S	31日(金)	13：00～15：20	関東学院大学・関内メディアセンター	14
情 報 理 論	24日(金)	10：00～16：00	あわら温泉・まつや千千	20
応 用 音 響	16日(木)	10：30～18：10	岡山大学・創立五十周年記念館	23
信 号 処 理 声	17日(金)	9：45～18：30		
信 頼 性	17日(金)	10：15～17：45	グリーンヒルホテル尾道	24
V L S I 設 計 技 術	16日(木)	9：00～16：50	北九州国際会議場	27
非 線 形 問 題	27日(月) 28日(火)	(未定)	福岡大学・中央図書館	33

5月休会の研究会；回路とシステム，システム数理と応用，思考と言語，スマートインフォメディアシステム

◎通信ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告頁
環 境 電 磁 工 学	10日(金)	9：00～11：50	東京工業大学・大岡山西9号館	5
衛 星 通 信	16日(木)	13：00～17：25	宇都宮大学・工学部・陽東キャンパス	7
ワ イ ド バ ン ド シ ス テ ム	17日(金)	9：00～15：20		
ネ ッ ト ワ ー ク シ ス テ ム	16日(木)	10：30～18：20	総合研究大学院大学	7
	17日(金)	10：00～11：40		
情 報 ネ ッ ト ワ ー ク	16日(木)	9：20～16：45	機械振興会館	8
無 線 通 信 シ ス テ ム	17日(金)	9：20～16：40		
光 通 信 シ ス テ ム	17日(金)	13：00～18：00	機械振興会館	11
光 エ レ ク ト ロ ニ ク ス				
宇 宙 ・ 航 行 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	24日(金)	13：00～16：10	機械振興会館	12
電 子 通 信 エ ネ ル ギ ー 技 術	24日(金)	13：00～16：45	機械振興会館	13
情 報 通 信 マ ネ ジ メ ン ト	9日(木) 10日(金)	10：30～16：40 9：00～16：50	弘前大学・コラボ弘大	16
ソ フ ト ウ ェ ア 無 線	23日(木) 24日(金)	13：00～17：50 9：00～17：20	アステールプラザ	25
ア ン テ ナ ・ 伝 播	16日(木) 17日(金)	13：00～17：40 9：25～16：30	別府国際コンベンションセンター・ピーコ ンプラザ	28
知 的 環 境 と セ ン サ ネ ッ ト ワ ー ク	16日(木) 17日(金)	9：25～18：20 9：00～16：00	熊本大学	29
光 フ ァ イ バ 応 用 技 術	23日(木) 24日(金)	14：00～17：35 9：30～11：10	まりんぴあ宮古	31
モ バ イ ル ネ ッ ト ワ ー ク と ア プ リ ケ ー シ ョ ン	23日(木) 24日(金)	9：30～18：25 9：20～18：30	石垣市民会館	31

5月休会の研究会；通信方式，コミュニケーションクオリティ，フォトニックネットワーク，インターネットアーキテクチャ，短距離無線通信

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
エレクトロニクスシミュレーション	10日(金)	10:35~17:05	NTT・厚木研究開発センター	5
有機エレクトロニクス	16日(木)	13:30~16:30	機械振興会館	6
光エレクトロニクス 光通信システム	17日(金)	13:00~18:00	機械振興会館	11
機構デバイス	17日(金)	13:30~16:25	千歳アルカディア・プラザ	15
電子デバイス 電子部品・材料 シリコン材料・デバイス	16日(木) 17日(金)	13:30~17:00 9:30~17:00	静岡大学・浜松キャンパス	17
レーザー・量子エレクトロニクス	17日(金)	9:00~17:30	金沢大学・角間キャンパス	19
マイクロ波	30日(木) 31日(金)	14:30~17:15 9:00~17:45	龍谷大学・瀬田キャンパス	22
5月休会の研究会；磁気記録・情報ストレージ，超伝導エレクトロニクス，電子ディスプレイ，電磁界理論，集積回路，マイクロ波・ミリ波フォトニクス				

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム	16日(木) 17日(金)	10:00~17:50 10:00~16:00	電気通信大学	10
ソフトウェアインタプライズモデリング	24日(金)	10:20~17:00	機械振興会館	13
知能ソフトウェア工学	30日(木) 31日(金)	13:20~17:30 10:45~16:10	慶應義塾大学・日吉キャンパス・来往舎	14
コンピュータシオン	17日(金) 18日(土)	9:00~15:00 9:00~16:00	小樽商科大学・大学会館	15
画像工学 パターン認識・メディア理解 医用画像	24日(金) 25日(土)	10:00~17:45 9:00~17:00	愛知工業大学・八草キャンパス	18
MEとバイオサイバネティクス	24日(金)	9:00~17:25	富山県立大学	20
教育工学	26日(日)	10:00~16:35	和歌山大学	21
音応用音処 信号響理	16日(木) 17日(金)	10:30~18:10 9:45~18:30	岡山大学・創立五十周年記念館	23
ソフトウェアサイエンス	9日(木) 10日(金)	14:30~17:45 9:00~12:15	香川大学・幸町キャンパス	26
リコンフィギャラブルシステム	20日(月) 21日(火)	14:00~18:00 9:00~17:00	高知県立県民文化ホール	26
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント	24日(金) 25日(土)	13:00~19:30 9:00~12:00	高知県教育会館・高知城ホール	27
今後の予定；ニューロコンピューティング (34 ページ)				
5月休会の研究会；言語理解とコミュニケーション，コンピュータシステム，人工知能と知識処理，データ工学，ディペンダブルコンピューティング，ニューロコンピューティング，情報通信システムセキュリティ，情報論的学習理論と機械学習，クラウドネットワークロボット，サービスコンピューティング				

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日時		会場	告頁
マルチメディア・仮想環境基礎	17日(金) 18日(土)	10:15~17:20 9:30~12:10	大阪大学・基礎工学部	21
ヒューマンコミュニケーション基礎 ヒューマン情報処理	30日(木) 31日(金)	10:00~17:15 9:30~16:40	沖縄産業支援センター	33
5月休会の研究会；福祉情報工学				

◇第二種研究会開催案内

平成 25 年度第 1 回医療情報通信技術研究会	5 月 15 日(水)	情報通信研究機構・本館	35
第 5 回情報ネットワーク科学研究会 (NetSci)	5 月 24 日(金)	首都大学東京・秋葉原キャンパス	35

◇第二種研究会発表募集案内

情報ネットワーク科学研究会・複雑コミュニケーションサイエンス研究会合同ワークショップ	8 月 9 日(金)，10 日(土)	しんしのつ温泉・たつぷの湯	35
--------------------------------------------	--------------------	---------------	----

★環境電磁工学研究会 (EMCJ)

専門委員長 桑原伸夫 副委員長 多氣昌生
幹事 王 建青・内海邦昭 幹事補佐 平井義人・青柳貴洋
5月25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 多氣昌生 副委員長 曾根秀昭
幹事 王 建青・秋山佳春 幹事補佐 平井義人・肖 鳳超

日時 5月10日(金) 9:00~11:50

会場 東京工業大学大岡山西9号館2階コラボレーションルーム
(目黒区大岡山2-12-1. 東急目黒線/大井町線:大岡山駅から
徒歩3分. 正門入り右方向. http://www.titech.ac.jp/about/campus/o_map.html?id=03 (28番の建物) TEL [03] 5734-2992 青柳貴洋)

議題 EMC, 一般

1. 電波吸収体試料の位置を変化させるモノスタティック反射係数測定法の一検討 ○大川保純・西方敦博(東工大)
2. 近傍電磁界計測による3m法推定の基礎検討
○緑 雅貴・栗原 弘(TDK)・青柳貴洋(東工大)
3. バイログアンテナを用いた3m距離での放射妨害波測定法—
放射源が半波長ダイポールの場合— ○桑代慎吾・
桑原伸夫(九工大)・村松秀則(VCCI協会)
4. 導電性誘電体細線による平面波電力散乱吸収の一検討
○越後 宏(東北学院大)・相澤和夫
5. オープンスタブと磁性膜から構成される損失を有する共振器
型フィルタを用いた平行平板共振抑制 ○豊田啓孝・
五百旗頭健吾(岡山大)・近藤幸一・吉田栄吉(NECトネ)
6. 小動物の全身ばく露を対象とした反射箱ばく露装置のドシメ
トリ設計 ○チャカロタイ ジェドヴィスノブ・王 建青・
藤原 修(名工大)・和氣加奈子・渡辺聡一(NICT)

◆IEEE EMC Society Sendai Chapter 協賛

◎研究会終了後, 13時より同じ場所で, 第9回EMC基礎ワー
クショップ「SI/PIとEMC設計の基礎—初歩から身につける
—」が開催されます。

[http://www.ieice.or.jp/cs/emcj/jpn/non-regular/ws_ba
sic/2013/2013EMCkisoWS.pdf](http://www.ieice.or.jp/cs/emcj/jpn/non-regular/ws_basic/2013/2013EMCkisoWS.pdf)

☆EMCJ研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 6月21日(金) 京大〔締切済〕 テーマ: EMC, 一般
7月11日(木) 機械振興会館〔5月13日(月)〕 テーマ: 若
手研究者発表会
7月12日(金) 機械振興会館〔5月13日(月)〕 テーマ: 放
電, 実装, EMC, 一般
8月 休会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

青柳貴洋(東工大大学院社会理工学研究科人間行動システム専攻)
〒152-8552 目黒区大岡山2-12-1-W9-110
TEL & FAX [03] 5734-2992
E-mail: emcj@mail.ieice.org

★エレクトロニクスシミュレーション研究会 (EST)

専門委員長 柴田隨道
副委員長 柏 達也・馬 哲旺・木村秀明
幹事 平田晃正・大貫進一郎 幹事補佐 平野拓一・陳 春平
5月25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 柴田隨道
副委員長 柏 達也・馬 哲旺・木村秀明
幹事 大貫進一郎・柴山 純 幹事補佐 陳 春平・千葉英利

日時 5月10日(金) 10:35~17:05

会場 NTT厚木研究開発センター(厚木市森の里宮3-1.
<http://www.ntt.co.jp/sclab/maps/a.html> 池田奈美子)

議題 テラヘルツ応用, シミュレーション技術, 一般

1. 到来方向推定のための相互結合抑圧寄生素子アレイ配置の粒
子群最適化 ○堀江裕昇・塩見英久・岡村康行(阪大)
2. 近距離無線における準静磁界分布計算法とその検証
○小笠原隆行・佐々木愛一郎・森村浩季(NTT)
3. FDTD法によるMaxwell-Schrödinger方程式混合数値解析—
電子密度とトンネル効果の関係— 竹内 嵩・
○久間 丹・大貫進一郎(日大)

午後

4. グラフェンにおけるテラヘルツ二次元プラズモンのシミュ
レーションによる解析 ○佐藤 昭・
ヴィクトール リズィー(東北大)・ウラジミール ミッティン・
フェデール ヴァスコ(ニューヨーク州立大バッファロー校)・
尾辻泰一(東北大)
5. 金属グレーティング構造におけるテラヘルツ疑似表面プラズ
モンのFDTDシミュレーション ○藤田和広・
小田島 渉(富士通)
6. テラヘルツ帯量子カスケードレーザの非平衡グリーン関数法
シミュレーション ○安田浩朗・寶迫 巖(NICT)
7. [招待講演] フォトニック結晶共振器の解析—FDTD法とそ
のGPUによる高速化— ○谷山秀昭(NTT)・
下川辺隆史・青木尊之(東工大)・納富雅也(NTT)
8. テラヘルツ帯金属フォトニック結晶共振器の2重縮退モー
ドを用いた狭帯域バンドパスフィルタの検討 ○鎌田克洋・
加藤文政・小田純矢・陳 春平・穴田哲夫(神奈川大)
9. FPGAによるFDTD法の並列実行における固定小数点演算
と浮動小数点演算の比較 ○高須涼太・長谷川天平・
富岡洋一(東京農工大)・柴田隨道・中西 衛(NTT)・
北澤仁志(東京農工大)
10. テラヘルツ帯ボウタイアンテナにおける等価定理を用いた放
射電磁界推定法の検討 ○山倉裕和・齊藤光史・
須原理彦(首都大東京)
11. FDTD法を用いたテラヘルツデバイス解析における金属の
取り扱い 柴山 純・○尾崎慎吾・内藤洋祐・山内潤治・
中野久松(法政大)

◆テラヘルツ応用システム時限研究専門委員会協賛

◎前日(9日)に同会場でワークショップ(テーマ: 周波数利用
帯の拡大・効率化で拓かれる新たな世界)を併催予定です。続
けての御参加を御検討下さい。

☆EST研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 7月18日(木), 19日(金) 稚内総合文化センター〔締切済〕
テーマ: マイクロ波フォトニクス技術, 一般

【問合せ先】

陳 春平(神奈川大) E-mail: est-entry@mail.ieice.org

★技術と社会・倫理研究会 (SITE)

専門委員長 中西通雄 副委員長 吉開範章・岡田仁志
幹事 鈴木一弘・杉山典正 幹事補佐 山肩大祐・宮田純子
5月25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 中西通雄 副委員長 吉開範章・岡田仁志
幹事 杉山典正・山肩大祐 幹事補佐 宮田純子

日時 5月16日(木) 10:00~17:30

会場 情報セキュリティ大学院大学(横浜市神奈川区鶴屋町2-14-1. <http://www.iisec.ac.jp/access/> 原田研究室)

議題 知的財産, 一般

SITE-1. プライバシー概念の論理的記述 村上祐子(東北大)

SITE-2. プライバシーの社会的価値について—D. Soloveのプラグマティズム的アプローチの検討— 大谷卓史(吉備国際大)

SITE-3. 情報セキュリティにおける脅威資料への認知効果に関する実験的検討 ○吉開範章・神田大彰・浜津 翔・佐藤真弥子・栗野俊一(日大)

SITE-4. 情報セキュリティ DBを用いたSNS会員資格制度の提案 ○岡田康義・石井和行・佐藤 直(情報セキュリティ大)

SITE-5. 利用経験及びトラブル経験がオンラインショッピングの利用意識に与える影響 ○岡本 隆(愛媛大)・水谷直樹(岡山理科大)

午後(13:30~)

SITE-6. [招待講演] 知財的保護と秘密的保護—情報法の基礎理論に向けて— 林 紘一郎(情報セキュリティ大)

7. 指定管理者制度と個人情報保護 湯浅壘道(情報セキュリティ大)

8. 企業・組織における個人情報漏えい事故の補償について—お詫び金に着目した考察— ○菅原尚志・原田要之助(情報セキュリティ大)

9. 番組ジャンルの視聴感を用いた個人の視聴カルテの分析手法の検討 ○立川裕隆・関 亜紀子(日大)

10. マルチバンドカメラを用いた顔検出システム 宮原知也・引間湧司・○姜 有宣(東京工芸大)

11. 利用停止事例と非実現事例に見る行政手続オンライン化の課題と可能性 本田正美(東大)

12. ストリートビュー事件高裁判決(福岡高判平成24年7月13日判例集未登載(平成23年(ネ)第439号))の分析と我が国個人情報保護制度への示唆 板倉陽一郎(ひかり総合法律事務所)

◆情報処理学会; 電子化知的財産・社会基盤研究会連催

◎プログラムは暫定版です。確定次第, 反映致します。確定後も若干の修正がされることがあります。

【問合先】

鈴木一弘

E-mail: kazuhiro@tutetuti.jp

◎Web サイト

<http://www.ieice.org/ess/site/>

★有機エレクトロニクス研究会 (OME)

専門委員長 白井博明 副委員長 加藤景三
幹事 松田直樹・中村二郎 幹事補佐 鴻野晃洋
5月25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 加藤景三 副委員長 松田直樹
幹事 森 竜雄・瀧本 清 幹事補佐 鴻野晃洋・井上振一郎

日時 5月16日(木) 13:30~16:30

会場 機械振興会館地下3階2号室(港区芝公園3-5-8, 東京メトロ日比谷線: 神谷町駅下車徒歩10分, JR: 浜松町駅下車徒歩20分, 都営地下鉄三田線: 御成門駅・大江戸線: 赤羽橋駅下車徒歩10分. http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm TEL [03] 3434-8211)

議題 有機材料作製・評価技術, 一般

有機作製評価及び基礎物性

1. 反応性SAMを用いたITO/高分子薄膜界面の制御 金 性湖・大塚華恵・田中邦明(東京農工大)・R.C. アドビンクラ(ケースウェスタン)・白井博明(東京農工大)

2. 低分子量PEDOT蒸着膜の作製とドーピング特性 江口大海・長谷川 愛・土屋康佑・田中邦明・荻野賢治・○白井博明(東京農工大)

3. Fabrication and Photocurrent Properties of Gold Nanoparticle-Decorated TiO₂ Nanocomposites Thin Films

○Supeera Nootchanat・Hathaitip Ninsonti・Akira Baba(Niigata Univ.)・Chuchaat Thammacharoen・Sanong Ekgasit(Chula Univ.)・Kazunari Shinbo・Keizo Kato・Futao Kaneko(Niigata Univ.)

4. 非線型光学色素の超分極率に対するアミノベンゼンドナー部位についたアルキルオキシ基の効果 ○山田俊樹・青木 勲・三木秀樹・大友 明(NICT)

有機デバイス

5. 塗布型酸化半導体バッファ層を用いた有機EL素子 高山 健・○中 茂樹・岡田裕之(富山大)

6. 超音波霧化法を用いた有機薄膜の成膜技術及び有機ELへの展開 ○福田武司・佐藤 新(埼玉大)・吉富輝夫(カルソニックカンセイ)

7. β -(BEDT-TTF) 2PF6結晶における金属-絶縁体温度近傍でのゲート電界の効果 ○酒井正俊・増尾和哉・國吉繁一・山内 博・工藤一浩(千葉大)

8. THzセンシング応用に向けたOFET材料の複素誘電関数の評価と電磁界解析 ○上田智也(奈良先端大)・李世光(千葉大)・吉岡勇多(奈良先端大)・藤井勝之(南山大)・松原亮介・中村雅一(奈良先端大)

☆OME研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月21日(金) 機械振興会館〔締切済〕テーマ: 材料デバイスサマーマーケティング

【問合先】

松田直樹(産総研)

E-mail: naoki.matsuda@aist.go.jp

中村二郎(NTT)

E-mail: jnaka@aecl.ntt.co.jp

★ワイドバンドシステム研究会 (WBS)

専門委員長 佐々木重信 副委員長 眞田幸俊・前原文明
幹事 小野文枝・藤井雅弘 幹事補佐 松波 勲・石橋功至
5月25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 佐々木重信 副委員長 前原文明・羽瀨裕真
幹事 藤井雅弘・松波 勲 幹事補佐 石橋功至

★衛星通信研究会 (SAT)

専門委員長 門脇直人 副委員長 上羽正純・榎木勘四郎
幹事 吉村直子・廣瀬貴史
5月25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事
専門委員長 上羽正純 副委員長 榎木勘四郎・豊嶋守生
幹事 廣瀬貴史・今田諭志

◎本研究会は WBS 研究会と SAT 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます

日時 5月16日(木) 13:00~17:25
17日(金) 9:00~15:20

会場 宇都宮大学工学部陽東キャンパス 10号館 1階アカデミアホール (宇都宮市陽東 7-1-2, JR 宇都宮駅から徒歩で約 20 分。http://www.utsunomiya-u.ac.jp/map/access.php 藤井雅弘)

議題 符号化, 変復調, 信号処理技術及び一般

16日

- WBS-1. 組み合わせを用いた協調検出システムに関する一検討
○藤井雅弘・高橋善智・渡辺 裕 (宇都宮大)
- WBS-2. ブロック伝送システムにおける軟判定復調に関する一検討
○藤井雅弘・山内惇史・渡辺 裕 (宇都宮大)
- WBS-3. 帰還型直接拡散 CDMA の通信路の状態変化について
○橋田佳昌・浜村昌則 (高知工科大)
- 共通-4. 無人航空機間無線ネットワークを想定した電波伝搬特性の測定
○滝沢賢一・小野文枝・辻 宏之・三浦 龍 (NICT)
- SAT-5. マルチパス環境モデルにおける GPS 測位システムのシミュレーション評価
○石川博康・大場郁弥・小松卓也 (日大)
- SAT-6. 衛星ネットワークにおける大容量ストレージを考慮した効率的なルーティングに関する検討
○金子和真・西山大樹・加藤 寧 (東北大)

奨励講演 & 特別講演

- 共通-7. [奨励講演] 情報理論における未解決問題に対する情報スペクトルのアプローチ
松田哲直 (東工大)
- 共通-8. [特別講演] 光衛星通信に適した通信路符号化とその展望
○岡本英二・京 拓磨・井上拓昭 (名工大)・莊司洋三・高山佳久・豊嶋守生 (NICT)

17日午前

- WBS-1. 測位情報とセンサー情報を用いたカルマンフィルターによる位置推定システムに関する一検討
○小河原 亮・藤井雅弘・渡辺 裕 (宇都宮大)
- WBS-2. タクシー無線における GPS 位置情報を用いた基地局間協調制御法の適用効果
○坂田佳謙・長田 弦・竹瀨翔矢・前原文明 (早大)
- WBS-3. フェージング環境における Frame Slotted ALOHA 型ネットワーク符号化システムのパケット獲得時間解析
日向野泰幸・○羽瀨裕真 (茨城大)・小澤佑介 (東京理科大)
- SAT-4. 小型衛星への光通信回線解析と適用性の検討

第一種研究会開催案内

豊嶋守生 (NICT)

- SAT-5. 車両を用いた光データ伝送実験
高山佳久 (NICT)
- SAT-6. SOTA (Small Optical TrAnsponder) のための SH-4A の放射線耐性評価について
○秋岡眞樹・小山義真・高山佳久 (NICT)・北村 尚 (放医研)・前田 健 (NEC)・石和基寛・三ツ石 進 (NT スペース)

17日午後

- SAT-7. 1ビットデジタル RF 送信器に関する新伝送路符号化方式
○前島 貴・戸谷一幸 (住友電工)・亀田 卓・末松憲治 (東北大)
- SAT-8. 衛星通信における多値変調信号の受信側での非線形補償
○石黒剛大・原 孝雄・岡田 実 (奈良先端大)
- WBS-9. コイル間の横ずれを想定した無線電力伝送における通信特性の検討
○飯田基貴・菅野一樹・稲森真美子・眞田幸俊 (慶大)
- WBS-10. TV ホワイトスペースにおける中低速無線データ伝送方式に関する一検討
○小泉晶史・猪子卓也・佐々木重信 (新潟大)
- WBS-11. OFDM システムにおけるガードインターバル越え遅延波の除去と信号再構成に関する一検討
○齋藤将人・関谷亮太 (琉球大)

☆WBS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月9日(火), 10日(水) 高知市文化プラザかるぼーと [5月10日(金)] テーマ: ポスター講演, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合せ先】

藤井雅弘
TEL & FAX [028] 689-7118
E-mail : fujii@is.utsunomiya-u.ac.jp

☆SAT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月25日(木), 26日(金) サン・リフレ函館 [5月10日(金)] テーマ: 衛星通信, 一般

8月29日(木), 30日(金) 信州大 [6月10日(月)] テーマ: 移動衛星通信, 放送, 誤り訂正, 無線通信一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合せ先】

SAT 研究会幹事
E-mail : sat_ac-sec@mail.ieice.org
吉村直子 (NICT)
TEL [042] 327-5336, FAX [042] 327-6123
廣瀬貴史 (NTT)
TEL [046] 859-3343, FAX [046] 855-1752

★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 漆谷重雄 副委員長 平松 淳
幹事 木下和彦・栗本 崇 幹事補佐 武田知典
5月25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 漆谷重雄 副委員長 平松 淳
幹事 木下和彦・柴田哲良 幹事補佐 金子雅志

日時 5月16日(木) 10:30~18:20
17日(金) 10:00~11:40

会場 総合研究大学院大学 (三浦郡葉山町 (湘南国際村), 逗子

駅から、京急バス「湘南国際村行き」で「湘南国際村センター前」下車、徒歩3分。または、京急バス「湘南佐鳥なぎさの丘行き」で「湘南国際村 間門沢調整池」下車、徒歩10分。
<http://www.soken.ac.jp/access/accessmap.html>

議題 高度プロトコル・ネットワーク技術 (IP 及び高レイヤルーティング・フィルタリング, マルチキャスト, 品質・経路制御, IPNW の利用技術 (P2P, P4P, オーバレイ, SIP, NGN), ネットワークシステム関連技術 (システム構成法, インタフェース, アーキテクチャ, ハードウェア・ソフトウェア・ミドルウェア), 一般

16 日午前

1. 仮想無線インタフェースの実装 中内清秀 (NICT)
2. ID・ロケータ分離アーキテクチャのネットワーク基盤の高可
用化設計と実装 ○福島裕介・藤川賢治・ベド カフレ・
田崎 創・金 勇・原井洋明 (NICT)
3. コンテンツ指向ネットワークにおけるブルームフィルタを用
いた経路制御方式 ○小松顕士・朝香卓也 (首都大東京)
4. 放送時刻のデータベースを内包した分散ファイルシステム
○金子 豊・黄 民錫・竹内真也・砂崎俊二 (NHK)

16 日午後 技術開発講演 (13:10~)

5. 省電力な無線センサネットワーク管理方式の開発とフィール
ド実証 ○鈴木孝明・角丸貴洋 (NEC)
6. 災害時利用を想定した DTN 分散型情報配信システムの開発
とそのフィールド実証実験 ○山崎康広・植田啓文・
小倉一峰・山垣則夫・藤田範人 (NEC)
7. 仮想化技術の通信サービス適用に向けた検討及び評価
○兎耳山俊吾・武智竜一・阿部 哲・今井隆士 (富士通)
8. Wi-Fi サービスにおける端末とゲートウェイ間の接続方式
○武澤 治・木村健司・白井信也 (NTT 西日本)
9. 機能拡充ソフトウェアのバグ密度指標算出方法の一考察
渡 敏弘・○松田宣幸 (NTT)
10. エッジルータにおける, statefull 冗長方式
○木村健司・東 正和・白井信也 (NTT 西日本)
11. メッシュとスターのハイブリッド VPN におけるサービス監
視手法 大矢貴文 (NTT 西日本)
12. リアルタイム電話型翻訳システム ○飯村葉子・
井上清隆・古城 悠・太田昌宏・立元慎也 (NTT ドコモ)

招待講演

13. [チュートリアル講演] 商用ネットワークシミュレータ活用
事例 ○太田 能・高木由美 (神戸大)
14. [招待講演] 「創・蓄・省」を実装するスマートハウスの普
及促進に向けたエコーネットコンソーシアムの取組み
望月昌二 (三菱電機)

17 日

1. Performance of Smart Failure Insensitive Routing to Enhance
Resource Utilization and Robustness
○Ihsen Aziz Ouedraogo・Islam Mohammad Kamrul・
Eiji Oki (Univ. of Electro-Comm.)
2. データセンタネットワークにおけるフロー数増加に対応した
輻輳制御 ○谷澤佑樹・木村 健・三原大輝・
山本 幹 (関西大)
3. 省電力ルータに与える負荷を考慮したエンド間帯域計測手法
の提案 ○小林大翼・長谷川 剛・村田正幸 (阪大)
4. 非協力的な WiMAX/WiFi 事業者間における適応的しきい値
制御による周波数共用 ○丸山幸香 (阪大)・
河野圭太 (岡山大)・木下和彦・村上孝三 (阪大)

◎16 日研究会終了後、懇親会を予定しておりますので御参加下
さい。

☆NS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6 月 20 日 (木), 21 日 (金) 日大工学部 (郡山) [締切済]
テーマ: コア・メトロシステム, フォトニックネットワー
ク・システム, 光ネットワーク運用管理, 光ネットワーク設
計, トラヒックエンジニアリング, シグナリング, GMPLS,
ドメイン間経路制御, ネットワーク監視, イーサネット, 光
伝達網 (OTN), 高速インタフェース, 光制御 (波長変換・
スイッチング・ルーティング), 光ノード技術, 光クロスコネ
クト (OXC), 光分岐挿入多重 (OADM), 光多重・分離装
置, 光信号処理, 光スイッチ素子, 一般

7 月 17 日 (水)~19 日 (金) アクトシティ浜松 [5 月 6 日
(月)] テーマ: 無線分散ネットワーク, M2M (Machine-
to-Machine), D2D (Device-to-Device), 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

NS 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org

武田知典 (NTT) TEL [0422] 59-7434

栗本 崇 (NTT) TEL [0422] 59-3121

◎最新情報は, NS 研ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注
意下さい。

★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 浅見 徹 副委員長 小林秀承

幹事 堀 賢治・五十嵐弓将 幹事補佐 田坂和之・野村啓仁

5 月 25 日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 浅見 徹 副委員長 小林秀承

幹事 五十嵐弓将・荒井大輔 幹事補佐 野村啓仁・大下裕一

★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 府川和彦 副委員長 大槻知明・樋口健一

幹事 小西 聡・ベンジャブール アナス

幹事補佐 須山 聡・星野正幸・増野 淳・森田基樹

5 月 25 日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 府川和彦 副委員長 村田英一・岡本英二

幹事 小西 聡・ベンジャブール アナス

幹事補佐 星野正幸・増野 淳・森田基樹・岡崎彰浩・三上 学

◎本研究会は IN 研究会と RCS 研究会の併催です。研究会資料
は各研究会ごとに発行されます。

日時 5 月 16 日 (木) 9:20~16:45

17 日 (金) 9:20~16:40

会場 機械振興会館地下 3 階研修 1 号室

議題 ワイヤレスインターネット, マルチホップネットワーク,
メッシュネットワーク, ネットワーク符号化, クロスレイヤ技
術, 無線通信及び一般

16 日午前

RCS-1. 蓄電池残量に基づいたトラフィック集約による無線
LAN-AP スリープ制御方式の評価 ○後藤弘明・

黄 俊翔・秋元 守・飯塚正孝 (NTT)

RCS-2. マルチホップ双方向通信を考慮した無線アクセス優先制御方式 ○松浦芳樹・五十嵐悠一・佐藤弘起・原田 諭・中野 亮・副島達矢・高谷幸宏 (日立)

RCS-3. マルチユーザ検出により衝突解決を行う予約型ランダムアクセス方式 ○旦代智哉・鈴木 博・府川和彦・須山 聡 (東工大)

IN-4. アドホックネットワークにおける標的問題を利用したジオキャスト通信の省電力化方式に関する検討 ○濱本 亮・高野知佐 (広島市大)・会田雅樹 (首都大東京)・石田賢治 (広島市大)

IN-5. センサーネットワークにおけるポテンシャル場を用いたモバイルシンク移動制御手法の提案と実装 ○藤田勇希・豊永慎也・小南大智・村田正幸 (阪大)

IN-6. アプリケーションに応じた遅延特性を設計可能なネットワークキャッシュ制御方式の提案とその評価 ○菊地俊介 (NICT)・中里秀則 (早大)

16 日午後 (13:30~)

共通-7. [招待講演] LTE/LTE-Advanced ヘテロジニアスネットワークにおけるスモールセル設計手法 ○関 宏之・小林崇春・木村 大 (富士通研)

共通-8. [招待講演] 係留気球を用いた災害対応臨時無線中継システム ○藤井輝也・太田喜元・中島潤一・宮島春弥 (ソフトバンクモバイル)

共通-9. [招待講演] 情報通信の耐災害性強化における無線ネットワークの取り組み 井上真杉 (NICT)

共通-10. [招待講演] M2M と通信制御技術 ○藤江良一・大塚 晃・曾我部靖志 (三菱電機)

17 日午前

RCS-1. 仮想伝搬路に基底格子縮小を用いた多値変調用 MIMO 受信機 ○大財秀徳・田野 哲 (岡山大)

RCS-2. マルチユーザ MIMO のためのソート付きブロック対角化 THP ○板倉達哉・田野 哲 (岡山大)

RCS-3. Asymptotically-Optimal Cooperative MIMO Transmissions With No Channel State Information at the Secondary Base Stations ○Oussama Souihli・Yasuyuki Hatakawa・Satoshi Konishi (KDDI R & D Labs.)

IN-4. オープンフローを用いたコンテンツセントリックネットワークアーキテクチャ及びルータの実装 ○大岡 陸 (阪大)・阿多信吾 (阪市大)・小出俊夫・下西英之 (NEC)・村田正幸 (阪大)

IN-5. データセンターに適した 3 次元オンチップ型ネットワーク構造の検討と評価 ○池田崇栄・大下裕一・村田正幸 (阪大)

IN-6. 遺伝的プログラミングによるネットワークサービス応答時間のモデル化 林田龍一・渡部康平・大崎博之 (阪大)

17 日午後

RCS-7. MIMO-OFDM における適応変調・チャネル符号化を用いたときのスループットの限界特性の評価 唐沢 健・海老原徹平 (東京都市大)・川村輝雄・三木信彦 (NTT ドコモ)・○佐和橋 衛 (東京都市大)

RCS-8. 下りリンク OFDMA における TDM ベースの制御情報の 2 次元 MMSE アルゴリズムを用いる判定帰還チャネル推定の特性 岡庭俊介 (東京都市大)・三木信彦・川村輝雄 (NTT ドコモ)・○佐和橋 衛 (東京都市大)

RCS-9. IIR-FIR shift type filter bank that is perfect reconstruc-

tion in the beginning-part of a block signal Yuichi Kida (Ohu Univ.)・○Takuro Kida (Prof EM, Tokyo Inst. of Tech.)

IN-10. 水中音響通信の研究のための廉価かつ柔軟な実験システムの構築 ○邑橋一輝・川原圭博・浅見 徹 (東大)

IN-11. W-LAN を用いたアドホックネットワークにおける通信制御方式について ○的場晃久・花田真樹・金 武完 (東京情報大)

IN-12. 実世界における多属性情報を用いた名前解決方法 ○川原亮一・斎藤 洋 (NTT)

RCS-13. マルチキャリア通信に適した変調方式の一検討 ○平井博昭・相川秀斗 (三菱電機)

RCS-14. 送信ダイバーシチ用タイミング再生方式の検討 ○中村亮介・能田康義・増田進二・平 明德・佐野裕康・石津文雄 (三菱電機)

◎16日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。
☆IN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月20日(木), 21日(金) 福井大文京キャンパス [締切済]
テーマ: データ分析・処理基盤, セキュリティ・プライバシー保護技術, ネットワークコーディング, 信頼性技術, DDoS, 認証/ID管理, 及び一般

7月18日(木), 19日(金) 北大 [5月10日(金)] テーマ: クラウドネットワーク技術, SDN, OpenFlow, プライベートネットワーク (VPN), オーバーレイネットワーク・P2P, ネットワーク構成技術及び一般

8月 休会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmouushikomi.html>

【問合せ先】
IN 研究会幹事及び幹事補佐
E-mail: in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org
堀 賢治 (KDDI 研)
TEL [049] 278-7651, FAX [049] 278-7510
田坂和之 (KDDI 研)
TEL [049] 278-7574, FAX [049] 278-7510

◎IN 研究会ホームページ
<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎なお、原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり、原稿なしでの御発表となります。プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆RCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月20日(木), 21日(金) 北大 [締切済] テーマ: 初めての研究会, 鉄道, 車車間・路車間通信, リソース制御, スケジューリング, 無線通信一般

7月17日(水)~19日(金) アクトシティ浜松 [5月6日(月)] テーマ: 無線分散ネットワーク, M2M (Machine-to-Machine), D2D (Device-to-Device), 一般

8月29日(木), 30日(金) 信州大 [6月10日(月)] テーマ: 移動衛星通信, 放送, 誤り訂正, 無線通信一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmouushikomi.html>

【問合せ先】
星野正幸 (パナソニック)
E-mail: rcs_ac-entry@mail.ieice.org

★ライフインテリジェンスとオフィス情報システム研究会(LOIS)

専門委員長 若原俊彦 副委員長 岡本 学

幹事 杵渕哲也・山元規靖 幹事補佐 茂木 学

5月25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 若原俊彦 副委員長 岡本 学

幹事 山元規靖・茂木 学 幹事補佐 小館亮之

日時 5月16日(木) 10:00~17:50

17日(金) 10:00~16:00

会場 電気通信大学(調布市調布ヶ丘1-5-1. 京王線:調布駅下車, 中央口改札北口出口より徒歩5分. <http://www.uec.ac.jp/about/profile/access/> 高田哲司)

議題 ライフログ活用技術, オフィス情報システム, グループウェアとネットワークサービス, セキュリティ心理学とトラスト, ほか関連テーマ

16日午前 映像コミュニケーション

1. 多地点テレビ会議システムにおけるコヒーレントな過去情景再生 ○青柳滋己・高田敏弘 (NTT)
2. ビデオチャットにおいて擬似的な運動視差付き映像が及ぼす影響の評価 ○川路崇博 (大月短大)・平岡勇作 (和歌山大)・坂本竜基 (Yahoo! JAPAN 研)
3. 手と物体の位置関係を基に把持姿勢を提示する遠隔 MR 協調作業 ○遠藤裕之・多々良 樹・岡田謙一 (慶大)
4. 不快なインタフェースの広告アウェアネスへの応用の検討 ○川崎拓海・西岡 大・齊藤義仰・村山優子 (岩手県立大)

16日午後 コミュニケーション分析 (13:20~)

5. OSS プロジェクトにおけるユーザ用メーリングリストの実態調査 ○伊原彰紀・松本健一 (奈良先端大)
 6. OSS 開発におけるコミッターの協調作業についての一考察 ○林 宏徳・伊原彰紀・門田暁人・松本健一 (奈良先端大)
 7. 共同作業間話者の交替と脳波変動のマルチモーダル対話解析 ○大山勝徳・渡邊博之・金子正人・武内 惇 (日大)
 8. 食材の物々交換における信頼が交換相手の食材に対する安心感に与える影響 ○才野仁史・金井秀明 (北陸先端大)
- 人とセキュリティ
9. リスク認知に基づく標的型メール対策の検討 ○寺田剛陽・鳥居 悟 (富士通研)・安野智子・瀧澤弘和・新 真知 (中大)
 10. 情報セキュリティ第1世代におけるキャリアデザイン事例研究 花田経子 (新島学園短大)
 11. 画像共有サイトにおける不安調査結果に対する一考察 ○山本太郎・関 良明・高橋克巳 (NTT)

ライフログ

LOIS-12. ライフログ活用技術の動向(1)—LOIS 研究会の記録(1)— ○山元規靖・若原俊彦 (福岡工大)

17日午前 2次元コードとネットワーク活用技術

LOIS-1. Web デザイン教育におけるクラウド型グループウェア導入の実践報告 ○古川 隆・檜垣泰彦 (千葉大)

LOIS-2. カラー二次元コードエディタの構成と読み取り特性の検討 サムレットウイット ダムリ・○若原俊彦 (福岡工大)

LOIS-3. QR コードによる視覚障害者支援システムの構築—災害時等での QR コードによる音声支援システム—

○古本啓祐・森井昌克 (神戸大)

LOIS-4. ダークネット観測に対してハニーポットが与える影響(その2) ○横田凌一・大久保 諒 (神戸大)・

曾根直人 (鳴門教大)・森井昌克 (神戸大)

LOIS-5. 仏像の顔画像を対象とした検索法の考察

○杉田 薫・Tzu-Hsuan Huang・横田将生 (福岡工大)

17日午後 ユーザー支援 (14:00~)

6. 迷いやすい人の特徴を考慮した屋内ナビゲーションシステム DoCoKa の開発と評価 ○吉野 孝・奥村賢悟 (和歌山大)

7. 災害コミュニケーション支援に関わる研究の紹介

○村山優子・西岡 大・齊藤義仰 (岩手県立大)

8. 聴覚障害者・児の言語取得を支援するための「状況定義ソフト」の開発 柴田邦臣 (大妻女子大)

9. 多様な板書環境に対応した講義自動収録システム

○新井崇也・宮川直人・市村 哲 (東京工科大)

◆情報処理学会; グループウェアとネットワークサービス研究会, セキュリティ心理学とトラスト研究会連催

◎16日研究会終了後, 意見交換会(懇親会)を予定していますので, 御参加下さい. また, 意見交換会(懇親会)にて2012年 LOIS 研究賞の表彰も予定しております.

☆LOIS 研究会

【問合先】

山元規靖 (福岡工大情報工学部)

〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1

FAX [092] 606-0758

E-mail: nori@fit.ac.jp

★イメージ・メディア・クオリティ研究会 (IMQ)

専門委員長 会津昌夫 副委員長 堀田裕弘・山田光穂

幹事 杉山賢二・中口俊哉 幹事補佐 杉本 修・前田 充

5月25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 山田光穂 副委員長 堀田裕弘・杉山賢二

幹事 中口俊哉・杉本 修 幹事補佐 前田 充・工藤博章

日時 5月17日(金) 13:30~15:10

会場 成蹊大学(武蔵野市吉祥寺北町3-3-1. JR 中央線/東急井の頭線:吉祥寺駅から徒歩15分またはバス5分. <http://www.seikei.ac.jp/gakuen/accessmap/> TEL [0422] 37-3966 杉山賢二)

議題 イメージ・メディア・クオリティ全般

1. 超短視距離での主観画質評価とその符号化への応用 ○杉山賢二・相良直哉・中村康二・古田 渉 (成蹊大)
 2. HDR 画像低 bit 量子化のための階調性能改善 ○清水健史・相良直哉・杉山賢二 (成蹊大)
 3. 電子書籍読書時の視線の動きの分析 ○高比良英朗・石川諒一・菊池 慧・新川達矢・山田光穂 (東海大)
 4. 8 視点レンダリング方式による 3DCG 画像の主観評価による統計的分析 河畑則文・○堀田裕弘 (富山大)
- ◎本プログラムは暫定版です. 詳細は IMQ 研究会の HP 等を御参照下さい.

☆IMQ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月26日(金) 岩手大[未定] テーマ: CG と IMQ 一般

【問合先】

杉山賢二 (成蹊大)

E-mail: sugiyama@st.seikei.ac.jp

◎IMQ 研究専門委員会ホームページ (<http://www.imqa.jp/confcall.html>) も御覧下さい.

★光通信システム研究会 (OCS)

専門委員長 石田 修 副委員長 水落隆司
幹事 平野 章・斎藤恒聡
5月25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事
専門委員長 水落隆司 副委員長 富澤将人
幹事 斎藤恒聡・乾 哲郎

★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 清水健男 副委員長 山田博仁
幹事 小川憲介・植之原裕行 幹事補佐 橋本俊和
5月25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 山田博仁 副委員長 鈴木扇太
幹事 橋本俊和 幹事補佐 中川剛二・荒川太郎

◎本研究会は OCS 研究会と OPE 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 5月17日(金) 13:00~18:00

会場 機械振興会館地下3階研修2号室(OCS), 地下3階6号室(OPE)

議題 光変復調方式, 多値光変復調, コヒーレント光通信, 光増幅・中継技術, 非線形・偏波問題, コア・メトロシステム, 海底伝送システム, 光伝送システム設計・ツール, 一般(OFC報告)

OCS-1. 光ファイバ通信におけるデュオバイナリ伝送とQAM伝送の性能比較 神尾享秀(NICT)

OCS-2. デジタルコヒーレント光伝送向けFFT型非線形モニタリング方式の提案 ○小竹秀明・萬代浩平・菊池信彦(日立)

OCS-3. コヒーレント光周波数分割多重方式におけるPAPR低減による自己位相変調抑制の一検討

○松原 一・海老澤賢史・前田譲治(東京理科大)

4. [招待講演: IEEE Photonics Society Japan Chapter 企画] ミリ波・テラヘルツ波フォトニクスの進展と今後の展望

永妻忠夫(阪大)

OFC/NFOEC 2013 報告

共通-5. [招待講演] OFC/NFOEC2013 報告—基幹伝送関連— 佐野明秀(NTT)

共通-6. [招待講演] OFC/NFOEC2013 報告—光ネットワーク関連— 石田晋哉(NEC Corp. of America)

共通-7. [招待講演] OFC/NFOEC2013 報告—光アクセス関連— 向井宏明(三菱電機)

共通-8. [招待講演] OFC/NFOEC2013 報告—光ファイバ関連— 佐々木雄佑(フジクラ)

共通-9. [招待講演] OFC/NFOEC2013 報告—アクティブモジュール/集積デバイス・シリコンフォトニクス—

八木英樹(住友電工)

共通-10. [招待講演] OFC/NFOEC2013 報告—パッシブモジュール/デバイス関連— 山崎裕史(NTT)

◎13:30~14:20, 地下3階6号室で OPE 研究学生優秀賞表彰を行います。

☆OCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月20日(木), 21日(金) 日大工学部(郡山) [締切済]
テーマ: コア・メトロシステム, フォトニックネットワーク・システム, 光ネットワーク運用管理, 光ネットワーク設計, トラヒックエンジニアリング, シグナリング, GMPLS,

第一種研究会開催案内

ドメイン間経路制御, ネットワーク監視, イーサネット, 光伝達網(OTN), 高速インタフェース, 光制御(波長変換・スイッチング・ルーティング), 光ノード技術, 光クロスコネクタ(OXC), 光分岐挿入多重(OADM), 光多重・分離装置, 光信号処理, 光スイッチ素子, 一般

7月25日(木), 26日(金) すみだ産業会館[5月10日(金)] テーマ: 【光通信機器】 光変復調方式, 多値光変復調, コヒーレント光通信, 非線形・偏波問題, 分散補償デバイス, 光信号処理, 光測定器, 光通信用デジタル信号処理, 光通信計測, 光通信用LSI, 誤り訂正, 一般

8月22日(木), 23日(金) 小樽市民会館[6月7日(金)] テーマ: 光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光線路保守監視・試験技術, 接続・配線技術, 光ファイバ測定技術, 光コネクタ, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光信号処理, 光ファイバ型デバイス, 光測定器, レーザ加工, ハイパワーレーザ光輸送, 光給電, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

斎藤恒聡(古河電工)

TEL [0436] 42-1725, FAX [0436] 42-9340

E-mail: tsune@ch.furukawa.co.jp

◎OCS ホームページ: <http://www.ieice.org/ocs/jpn-new/index.php>

◎OCS 研究会では, 2007年より「光通信システム研究会奨励賞」及び「光通信システム研究会論文賞」を設立しました。毎年9月~翌年8月のOCS研究会に投稿した論文を対象に選考し, 翌年12月の光通信システムシンポジウムにて表彰します。詳しくはOCSホームページを御覧下さい。

☆OPE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月21日(金) 機械振興会館 [締切済] テーマ: アクティブデバイスと集積化技術, 一般(材料デバイスサマーミーティング)

7月18日(木), 19日(金) 稚内総合文化センター [締切済] テーマ: マイクロ波フォトニクス技術, 一般

8月29日(木), 30日(金) サンリフレ函館 テーマ: 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

小川憲介(フジクラ)

〒285-8550 佐倉市六崎1440

TEL [045] 924-5038, FAX [043] 481-1210

E-mail: kenogawa@lab.fujikura.co.jp

植之原裕行(東工大)

〒226-8503 横浜市緑区長津田4259 R2-43

TEL & FAX [045] 924-5038

E-mail: uenohara.h.aa@m.titech.ac.jp

橋本俊和(NTTフォトニクス研究所)

〒243-0198 厚木市森の里宮3-1

TEL [046] 240-2044, FAX [046] 240-2365

E-mail: hashimoto.toshikazu@lab.ntt.co.jp

◎OPE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.or.jp/es/ope/>

◎OPE 研究会では, H18年度より「学生優秀研究賞」を新設し

ました。学生の方の発表の中から特に優れた研究を表彰致しますので、積極的な御投稿をお待ちしています。詳細は研究会HPを御覧下さい。

★情報セキュリティ研究会 (ISEC)

専門委員長 松本 勉 副委員長 田中俊昭・櫻井幸一
幹事 四方順司・伊豆哲也 幹事補佐 岩田 哲
5月25日からの専門委員長、副委員長、幹事、幹事補佐
専門委員長 田中俊昭 副委員長 櫻井幸一・角尾幸保
幹事 伊豆哲也・岩田 哲 幹事補佐 花岡悟一郎

日時 5月23日(木) 12:55~17:35

会場 機械振興会館地下3階研修1号室

議題

- CTRモードとCENCのKCVとの併用 ○伊木一真・岩田 哲(名大)
- IDベース型Timed-Release暗号 ○押切 徹・齊藤泰一(東京電機大)
- サイドチャネル攻撃に関する情報理論的解析(2)
○水野弘章・岩井啓輔・田中秀磨・黒川恭一(防衛大)
- Car2Cloud通信における車内依頼計算の活用 松本 勉・
○鈴木彦太郎・吉岡克成(横浜国大)・前川陽介・
小熊 寿(トヨタIT開発センター)
- New Classes of Public Key Cryptosystems Constructed Based
on Reed-Solomon Codes, K (XII) SE(1)PKC
Masao Kasahara (Waseda Univ.)
- A Consideration on Pairing Inversion Problem of Pairing
Based Cryptography with BN Curve
○Yasuyuki Nogami・Yuki Kono・
Shoichi Akagi (Okayama Univ.)
- 楕円曲線加算公式の改良 ○永井善孝(公立はこだて未来大)・
伊豆哲也(富士通研)・白勢政明(公立はこだて未来大)
- 国際会議ASIACRYPT2012報告 松田隆宏(産総研)
- 〔招待講演〕The Five-Card Trick Can Be Done with Four
Cards (ASIACRYPT 2012より) 水木敬明(東北大)
- 〔招待講演〕Investigating Fundamental Security Require-
ments on Whirlpool: Improved Preimage and Collision Attacks
○Yu Sasaki (NTT)・
Lei Wang (Nanyang Technological Univ.)・
Shuang Wu・Wenling Wu (Chinese Academy of Sciences)

【問合先】

岩田 哲(名大)
TEL [052] 789-5722, FAX [052] 789-5723
E-mail: isec-sec@mail.ieice.org (幹事, 幹事補佐宛)

★安全性研究会 (SSS)

専門委員長 向殿政男 副委員長 平尾裕司
幹事 木村昌臣・鈴木喜久 幹事補佐 佐藤吉信・高橋 聖

日時 5月23日(木) 13:00~17:00

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 交通

- 混合進入方式とその安全性解析手法の初期検討
○藤田雅人・天井 治(電子航法研)

- 海難要因分析に特化したCREAMの開発
三友信夫(海上技術安全研)
- 地点検知デバイスを用いた車上列車位置認識システムの安全
性検証 ○北野隆康・佐々木達也(鉄道総研)
- 信号交差点における車両相互事故の防止支援システムの提案
とシミュレーション評価 ○宮脇剛史・伊藤 誠・
稲垣敏之(筑波大)
- 〔招待講演〕東京都における生活道路交通事故の現状と対策
の提言—第9次交通安全計画の重点課題である自転車事故対策
について— 佐野敏平(キヤットボト)
- 機能安全規格と技術進歩 田代維史(交通安全環境研)・
○中村英夫(日大)

☆SSS研究会今後の予定 []内発表申込締切日

7月25日(木) 日大御茶ノ水キャンパス [5月15日(水)]
テーマ: 機械安全を主として

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

木村昌臣(芝浦工大工学部情報工学科)
TEL & FAX [03] 5859-8507
E-mail: masaomi@shibaura-it.ac.jp

★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 小瀬木 滋 副委員長 浜 真一
幹事 富木淳史・灘井章嗣 幹事補佐 平田和史
5月25日からの専門委員長、副委員長、幹事、幹事補佐
専門委員長 齋藤宏文 副委員長 福島莊之介
幹事 辻 政信・灘井章嗣 幹事補佐 木寺正平

日時 5月24日(金) 13:00~16:10

会場 機械振興会館地下3階研修2号室

議題 リモートセンシング, EW技術及び一般

- 〔特別講演〕無人機の動向 風間茂穂(総合電子)
- アクティブEA(電子攻撃)による電波ステルス技術
小林正明(元三菱電機)
- 複数レーダを用いた目標追尾におけるレーダスケジューリン
グ方式 ○小幡 康・亀田洋志・和泉秀幸(三菱電機)
- 無線周波信号の同定技術と船舶自動識別装置(AIS)への適
用 ○岩本貴司・永野隆文(三菱電機)
- ネットワーク構成推定法 ○河東晴子・寺島美昭・
川島佑毅・平田和史(三菱電機)
- 蛍光灯を用いたプラズマアンテナの実験的検討
○深沢 徹・千葉英利・宮下裕章・小西善彦・内藤皓貴・
山本和男・端山勝博(三菱電機)

◆IEEE AES Society Japan Chapter 共催

☆SANE研究会今後の予定 []内発表申込締切日

6月20日(木), 21日(金) JAXA 筑波宇宙センター〔締切
済〕テーマ: 宇宙応用シンポジウム

7月26日(金) 電子航法研 [5月13日(月)] テーマ: 航
法・交通管制及び一般

8月23日(金) 新潟大ときめいと [6月14日(金)] テー
マ: 環境計測及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

冨木淳史 (JAXA)

TEL [050] 3362-6575

E-mail: tomiki.atsushi@jaxa.jp

灘井章嗣 (NICT)

TEL [042] 327-6496

E-mail: nandai@nict.go.jp

★電子通信エネルギー技術研究会 (EE)

専門委員長 庄山正仁 副委員長 大津 智

幹事 石塚洋一・馬場崎忠利 幹事補佐 山下暢彦

日時 5月24日(金) 13:00~16:45

会場 機械振興会館地下3階1号室

議題 スイッチング電源, 家庭向け情報通信機器のエネルギー技術, 一般

1. 双方向 DC-DC コンバータを用いた電源システムにおけるノードインピーダンスと安定性について ○今村泰隆・梁 時熏・庄山正仁 (九大)
2. EDLC 用高効率 DC-DC コンバータ ○村田 彩・佐藤輝被・西嶋仁浩・鍋島 隆 (大分大)
3. 多重磁気結合非接触給電の電圧伝達特性解析 ○安倍秀明・秋山稔博・入江健一・小原弘士・尾崎 保・辻本豊彦・工藤 均・藪田 明 (パソニック)
4. 電解質膜への SiO₂ の添加と電極触媒層のイオノマーへのスルホン化 SiO₂ の適用が固体高分子燃料電池の発電特性に及ぼす影響 ○内池聡志・長谷川 豊・金子泰隆・武 哲夫 (東京都市大)
5. 改良型 MPPT 技術を用いたオープンエネルギーシステムの開発 石橋義人 (ソニーコンピュータサイエンス研)・○稲森真美子 (慶大)
6. 通信機械室の熱対策と空調電力削減 ○高橋晶子・矢島寛也・丸山雅人・竹内 章・山下暢彦・松本彦彦 (NTT)
7. 福山太陽光発電所の公開発電データを用いたメガソーラ発電所の発電コストの試算 ○宅野和大 (山口大)・岡本昌幸 (宇部高専)・平木英治・田中俊彦 (山口大)

◆電気学会; 家電・民生技術委員会併催, IEEE Power Electronics Society Japan 共催

【問合先】

山下暢彦 (NTT 環境エネルギー研究所)

TEL [0422] 59-4222, FAX [0422] 59-5682

E-mail: yamashita.nobuhiko@lab.ntt.co.jp

★ソフトウェアインタプライズモデリング研究会(SWIM)

専門委員長 堀米 明 副委員長 野地 保

幹事 片岡信弘・黒瀬 晋 幹事補佐 須栗裕樹・坂下善彦

5月25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 野地 保 副委員長 須栗裕樹・黒瀬 晋

幹事 宇田川佳久・荻野 正 幹事補佐 結城 修

日時 5月24日(金) 10:20~17:00

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 ビジネスモデル技術, 一般

セッション1 情報処理技術一般

1. クラウド型教育環境での検索エンジン構築演習
○伊東栄典・殷 成久・中藤哲也・Brendan Flanagan・

第一種研究会開催案内

廣川佐千男 (九大)

SWIM-2. ソースコード検索のためのシーケンスに基づく類似度について 宇田川佳久 (東京工芸大)

3. 文書スタイル再考: 見栄えと意図 ○橋本喜代太 (阪府大)・森田敏生 (総和技研)・武村知子 (一橋大)

午後 セッション2 特別講演 (13:10~)

SWIM-4. [特別講演] インタークラウドビジネスの可能性 (仮題) 加納敏行 (NEC)

セッション3 ビジネスモデル技術

SWIM-5. ビジネスデザイン序説—ベンチマーキング再考—

小松昭英 (APSOM)

SWIM-6. O2O モデルにおけるオンライン情報接触向上化の考察 有野真史

7. 少量データからのマイニングと可視化: 就農希望者アンケート調査データを例として ○岡田 真 (阪府大)・

廣川佐千男 (九大)・橋本喜代太 (阪府大)

SWIM-8. ビジネスモデルを科学する—プロジェクト報告003— 野地 保

セッション4 国際会議報告

9. ACIS 2012 実施報告 ○橋本喜代太 (阪府大)・小野俊之 (日立)

◎13:00~13:10 に SWIM 研究会 2012 年度最優秀論文表彰式を行います。

◆電気学会; 情報システム研究会連催

☆SWIM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月21日(水) 宮城大 [未定] テーマ: インタプライズモデル化, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

片岡信弘 (元東海大)

E-mail: kataoka9@kataoka9.com

★超音波研究会 (US)

専門委員長 橋本研也 副委員長 金井 浩・梅村晋一郎

幹事 三浦 光・美谷周二朗 幹事補佐 山口 匡

5月25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 梅村晋一郎 副委員長 橋本研也・松川真美

幹事 美谷周二朗・山口 匡 幹事補佐 野村英之

日時 5月27日(月) 13:30~17:15

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題

1. 膝軟骨及び半月板の音響特性解析 ○稲垣考宏・井上健太・鈴木昌彦・山口 匡 (千葉大)
2. 付着細胞培養用兼超音波照射実験用音響窓付き細胞培養フラスコの開発 ○岩城咲乃・渡邊晶子・薬袋正恒・西村裕之・竹内真一 (桐蔭横浜大)
3. 脂肪肝・肝炎におけるエコー深部減衰の評価 ○大栗拓真・丸山紀史・山口 匡 (千葉大)
4. 内視鏡-超音波画像重畳システムのためのプローブ屈曲角度検出法 ○小熊 諒・中口俊哉・中村亮一・山口 匡・羽石秀昭 (千葉大)
5. ビームステアリング時における高分解能エコーイメージング及び高精度変位計測のための後処理による横方向の広帯域化

告 13

○炭 親良・荒木 亮・下山 剛・菊永大樹・
酒井未来 (上智大)

6. 空中超音波による非接触型流量計における配管内超音波特性
○塚田圭祐・都築宣嘉・木倉宏成 (東工大)

7. 空中超音波の生体内音波伝搬における FDTD 法を用いた数値
解析 ○平田慎之介・蜂屋弘之 (東工大)

◆日本音響学会；超音波研究委員会，IEEE UFFC Society Japan
Chapter 共催

☆US 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月24日(月) 東大生研〔締切済〕テーマ：医用超音波，ア
コースティックイメージング，一般（日本超音波医学会；基
礎技術研究会，日本音響学会；アコースティックイメージン
グ研究会共催）

7月29日(月)，30日(火) 九大筑紫キャンパス〔未定〕
テーマ：物性，一般（日本レオロジー学会；ナノレオロジー
研究会，日本音響学会；音響化学研究会，音波と物性討論会
共催）

8月 休会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

山口 匡 (千葉大)

TEL [043] 290-3267, FAX [043] 290-3282

E-mail: yamaguchi@faculty.chiba-u.jp

美谷周二朗 (東大)

TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123

E-mail: mitani@iis.u-tokyo.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>

★知能ソフトウェア工学研究会 (KBSE)

専門委員長 松浦佐江子 副委員長 飯島 正

幹事 猿渡卓也・檀山淳雄 幹事補佐 糸野文洋・竹内広宜

5月25日からの専門委員長，副委員長，幹事，幹事補佐

専門委員長 松浦佐江子 副委員長 飯島 正

幹事 糸野文洋・竹内広宜 幹事補佐 後藤隆彰・青木善貴

日時 5月30日(木) 13:20~17:30

31日(金) 10:45~16:10

会場 慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎大会議室 (横浜市中区港北
区日吉4-1-1. 東急東横線/横浜市営地下鉄グリーンライン:
日吉駅下車，徒歩3分. <http://www.keio.ac.jp/ja/access/hiyoshi.html> TEL [045] 566-1619 飯島 正)

議題 一般・学生

30日

1. 議論分解パターンに基づくディペンダビリティケースの作成
実験 山本修一郎 (名大)
2. シーケンス図に基づくディペンダビリティケース作成法の研
究 ○丁 峰・山本修一郎 (名大)
3. A Dependability Assurance Method Based on DFD (Data
Flow Diagram) ○Nada Olayan・Shuichiro Yamamoto・
Vaise Patu・Yutaka Matsuno (Nagoya Univ.)
4. 文献から利用者のスキーマに合わせた情報抽出方法
○本橋正行・丸山 広・中村太一 (東京工科大)
5. Traceability link recovery のための method mining

告 14

○上田健之・小形真平・海谷治彦・海尻賢二 (信州大)

6. 入力保存機能に注目したユーザビリティ評価のための画面遷
移モデル ○早川弘基・小形真平・海谷治彦・
海尻賢二 (信州大)

31日午前

1. ディペンダビリティケースからの用語抽出実験についての考
察 ○松村昌典・山本修一郎 (名大)

2. How to develop assurance cases by combining Security with
D-Case, based on evidence ○Vaise Patu・
Shuichiro Yamamoto (Nagoya Univ.)

31日午後

3. D-Case を利用したゴール分析プロセスの提案
宇都宮浩之 (デソククリエイト)・○山本修一郎・松野 裕 (名大)・
中澤輝幸・山本佳和 (デソククリエイト)

4. ソフトウェアプロセス教育における動機づけプロセスの定式
化と教育改善への応用 ○梅田政信・片峯恵一 (九工大)・
石橋慶一 (福岡工大短大部)・橋本正明・吉田隆一 (九工大)

5. ヒューマンエラーに対する手順書の耐性検査
○永藤直行 (プレシステム)・渡部卓雄 (東工大)

6. メソッドとフィールドの関係を用いたアンチパターン特定手
法 ○渡辺大貴・松浦佐江子 (芝浦工大)

☆KBSE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月25日(木)，26日(金) (開催日変更) 北海道立道民活動
センター「かでの2.7」〔未定〕テーマ：一般

【問合せ先】

松浦佐江子 (芝浦工大)

E-mail: matsuuura@se.shibaura-it.jp

◎最新の情報は KBSE 研究会ホームページで御確認下さい。

<http://www.sayo.se.shibaura-it.ac.jp/kbse/>

★ITS 研究会 (ITS)

専門委員長 羽瀨裕真 副委員長 児島史秀・山里敬也

幹事 高取祐介・和田友孝 幹事補佐 大野光平・羽多野裕之

5月25日からの専門委員長，副委員長，幹事，幹事補佐

委員長 上條俊介 副委員長 山里敬也・永長知孝

幹事 和田友孝・羽多野裕之

幹事補佐 大野光平・橋本尚久・麻生敏正

日時 5月31日(金) 13:00~15:20

会場 関東学院大学関内メディアセンター (横浜市中区太田町
2-23 横浜メディア・ビジネスセンター (YMBC) 8F. JR 関
内駅・横浜市営地下鉄関内駅から徒歩5分，またはみなとみら
い線馬車道駅，日本大通り駅よりそれぞれ徒歩5分. <http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/modules/media7/index.php?id=81>
永長友孝)

議題 ITS コア技術，一般

1. 車両間 VANET のための動的環境下での車群構築・ルーティ
ングアルゴリズム ○中川皓史・杉本千佳・
河野隆二 (横浜国大)
2. マンチェスター符号化スペクトル拡散方式を用いた可視光車
車間通信・測距統合システム 水井 潔 (関東学院大)
3. スマートフォンのセンサ情報を融合した道路形状プローブ方
式の開発—スマートフォンセンサへのカルマンフィルタの適用
— 横田孝義 (鳥取大)
4. 待ち合わせナビの検討 穂積 駿・○永長知孝 (関東学院大)

電子情報通信学会誌 Vol. 96, No. 5, 2013

5. 携帯端末向け WYIWYAS ナビゲーションシステムにおけるリアルタイムシームレスナビゲーションに関する一検討
佐野隼弥・○高取祐介・武尾英哉（神奈川工科大）

【問合先】

高取祐介（神奈川工科大）
E-mail : takatori@ele.kanagawa-it.ac.jp

——北海道支部における開催——

★機構デバイス研究会 (EMD)

専門委員長 長谷川 誠 副委員長 関川純哉・久我宣裕
幹事 服部康弘・阿部宜輝 幹事補佐 上野貴博

日時 5月17日（金） 13:30~16:25
会場 千歳アルカディア・プラザ3階会議室（千歳市柏台南1-3-1. JR南千歳駅北口駅前徒歩1分. http://www.plaza-c.co.jp/access_map.html TEL [0123] 27-6059 長谷川 誠（千歳科技大）

議題

1. リジッド及びフレキシブルプリント配線板銅箔の電磁圧接
相沢友勝（都立産技高専）
2. HPCFの励振条件に対する側圧と接続部の影響
○飯久保忠久・長瀬 亮（千葉工大）・小林 茂（TE ジャパン）
米村正寿・各務 学（豊田中研）
3. Ar 雰囲気中における Ag 及び Ag/SnO₂ 接点間アークの熱力学・輸送特性
○原 拓也・関川純哉（静岡大）
4. 小電力伝達用スリップリングへの潤滑油補給の効果
○澤 孝一郎・北島英毅・上野貴博（日本工大）
山野井 勝（#ボ）
5. 電磁コンタクタにおける Cu 系接点材料の諸特性—Cu と CuCr 接点のアーク継続時間と接触抵抗—
○吉田 清・澤 孝一郎（日本工大）・鈴木健司・高谷高悦（富士電機機器制御）
6. Ag 及び AgSnO₂ 接点表面における開離アーク損傷形状の経時的变化の観察
○長谷川 誠・高橋佳佑・河村大地・平野雄也（千歳科技大）

☆EMD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
7月12日（金） 機械振興会館 [5月13日（月）] テーマ：放電，実装，EMC，一般
8月29日（木），30日（金） サンリフレ函館 テーマ：光部品・電子デバイス実装技術・信頼性，及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

関川純哉（静岡大）
TEL & FAX [053] 478-1618
E-mail : tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp
久我宣裕（横浜国大）
TEL & FAX [045] 339-4279
E-mail : kuga@ynu.ac.jp
服部康弘（住友電装）
TEL [059] 382-8634, FAX [059] 382-8591
E-mail : yasuihiro-hattori@gate.sws.co.jp
阿部宜輝（NTT フォトニクス研究所）
TEL [046] 240-2262, FAX [046] 270-6421

第一種研究会開催案内

E-mail : abe.yoshiteru@lab.ntt.co.jp

◎EMD 研究会に関する最新の情報は，<http://www.ieice.org/es/emd/jpn/>を御参照下さい。

★コンピューテーション研究会 (COMP)

専門委員長 今井桂子 副委員長 伊藤大雄
幹事 全 眞嬉・河村彰星

日時 5月17日（金） 9:00~15:00
18日（土） 9:00~16:00

会場 小樽商科大学大学会館多目的ホール（小樽市緑3-5-21. JR小樽駅から小樽商大線バスに乗り，終点「小樽商大前」で下車. <http://www.otaru-uc.ac.jp/access.html> 加地太一）

議題

- 17日
- COMP-1. P 行列線形相補性問題の新たな部分クラスの提案
福田公明（ETH Zurich）・○クラウド ローレンツ（NII/JST）
宮田洋行（東北大）
- COMP-2. ターミナル数5の成分素シユタイナー木最大化問題に対する近似アルゴリズム
○星加大輝・宮野英次（九工大）
- COMP-3. 動的計画法を用いた有向二値完全系統樹の効率のよい列挙
森戸一貴・○斎藤寿樹・山口一章・増田澄男（神戸大）
- COMP-4. Black-Box Search-to-Decision Reductions
Akinori Kawachi（Tokyo Inst. of Tech.）
Ben Rossman（NII）
○Osamu Watanabe（Tokyo Inst. of Tech.）
- COMP-5. AGPU モデルでの並列ソートアルゴリズムの計算量について
○小池 敦・定兼邦彦・Hoa Vu（NII）

- 18日午前
- COMP-1. Complexity of Counting Output Patterns of Logic Circuits
○Kei Uchizawa（Yamagata Univ.）
Zhenghong Wang（Tohoku Univ.）
Hiroki Morizumi（Shimane Univ.）
Xiao Zhou（Tohoku Univ.）
- COMP-2. A New Framework for Connected Components Labeling of Binary Images
○Tetsuo Asano（JAIST）
Sergey Bereg（UT Dallas）

- 18日午後 特別企画：STOC2013 論文紹介（13:30~）
- COMP-3. Testing Subdivision-Freeness:—Property Testing Meets Structural Graph Theory—
河原林健一（NII）
○吉田悠一（NII/PFI）

- 一般
- COMP-4. On parallel complexity of MapReduce computation
○Koichi Wada（Hosei Univ.）
Taisuke Izumi（Nagoya Inst. of Tech.）
- COMP-5. 回転する地図に対するラベルサイズ最大化
○横須賀佑介・今井桂子（中大）

◎本プログラムは暫定版です。詳細はCOMP研 Web を御確認下さい。

◆情報処理学会；アルゴリズム研究会主催

☆COMP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
6月24日（月） 奈良女子大

【問合先】

全 眞嬉（東北大学院情報科学研究科）

— 東北支部における開催 —

★情報通信マネジメント研究会 (ICM)

専門委員長 高野 誠 副委員長 阿多信吾・登内敏夫
幹事 吉原貴仁・増田 健 幹事補佐 野村祐士
5月25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 高野 誠 副委員長 登内敏夫・木下和彦
幹事 増田 健・野村祐士 幹事補佐 湯本一磨

日時 5月9日(木) 10:30~16:40

10日(金) 9:00~16:50

会場 弘前大学コラボ弘大8階八甲田ホール(弘前市文京町3,
http://www.eit.hirosaki-u.ac.jp/cseciot/location.html TEL
(0172) 39-3632 長瀬智行)

議題 サービス管理, 運用管理技術, セキュリティ管理, 及び一般

9日午前 環境・災害と情報通信 (IPSJ-IOT) (10:30~12:10)

1. イベント会場における消費電力データの計測実験方法における一考察 ○松井加奈絵(慶大)・石原知洋・池上洋行・落合秀也(東大)・砂原秀樹(慶大)
2. 都市のレジリエンス向上を目指したすれ違い通信基盤(SABA)の試作・動作実験 ○妙中雄三(東大)・松井加奈絵(慶大)・山形与志樹(国立環境研)
3. 都市のレジリエンス向上のためのすれ違い通信型情報伝搬の分析手法の一考察 ○松井加奈絵(慶大)・妙中雄三(東大)・山形与志樹(国立環境研)・砂原秀樹(慶大)
4. 水害発生時における災害情報の到達率向上を目的とした情報共通インタフェースの提案 ○廣井 慧(慶大)・妙中雄三(東大)・砂原秀樹(慶大)

マルウェア対策 (IPSJ-CSEC) (10:30~12:10)

5. 制御フロー解析により生成されたグラフ比較による Android マルウェア検出方法の提案 ○岩本一樹・和崎克己(信州大)
6. ユーザの承認によるアプリケーション実行時の Android マルウェア対策 ○加藤 真・松浦佐江子(芝浦工大)
7. マルウェア感染ホストの特定を目的とした DNS 通信の可視化 ○牧田大佑・吉岡克成・松本 勉(横浜国大)
8. Man-in-the-Browser 攻撃を行うマルウェアの安全な動的解析手法 ○瀬川達也(横浜国大)・神園雅紀・星澤裕二(セキアブレイン)・吉岡克成・松本 勉(横浜国大)

9日午後 招待講演1 (ICM) (13:30~15:15)

ICM-9. [招待講演] ISP 網向け通信経路・品質監視システム
○立花篤男・渡里雅史・長谷川輝之・阿野茂浩(KDDI 研)

ICM-10. [招待講演] IP ネットワークにおける情報分析・可視化技術
水口孝則(NTT コミュニケーションズ)

ICM-11. [招待講演] シスコ SDN ソリューションの運用管理アーキテクチャー(仮)
中奥洋志彦(システムズ)

招待講演2 (ICM) (15:30~16:40)

ICM-12. [招待講演] IT システムにおける障害対処迅速化を実現する障害原因解析技術
永井崇之(日立)

ICM-13. [招待講演] Big Data 時代のログ管理ソリューション
山口正徳(伊藤忠テクノソリューションズ)

10日午前 学内 LAN 運用管理 (IPSJ-IOT) (9:25~10:40)

1. トラフィック情報表示システムによる scan 攻撃の可視化
○小刀稱知哉・松井一乃・池部 実・吉田和幸(大分大)
2. 大分大学宛のメール送信サーバの分布 ○松井一乃・小刀稱知哉・金 高一・池部 実・吉田和幸(大分大)
3. 可用性向上を目指した佐賀大学のネットワーク構成変更
江藤博文・大谷 誠・廣友雅徳・松原義継・○只木進一(佐賀大)

センサネットワークに対するセキュリティとトピック削減 (IPSJ-CSEC) (9:00~10:40)

4. センサネットワークの鍵共有に関するシミュレーション評価
○金子 良・岩村恵市(東京理科大)
5. トラフィック削減用ネットワークノードの多段構成と評価
○古田駿介・大高友樹・成田明子(弘前大)
6. 低消費電力と高安全性を両立する新しい LEACH プロトコル
○齊藤壮馬・岩村恵市(東京理科大)
7. 証明書管理ノード方式における証明書収集処理の改良と評価
○網瀬隼介・與坂宜士・長瀬智行(弘前大)
8. WebSocket による終了検知を行う Opengate の開発
○大谷 誠・江藤博文・渡辺健次・只木進一・渡辺義明(佐賀大)

9. XMPP の効率的な EXI 符号化を実現する動的な文法合成方式
○土井裕介・佐藤弓子(東芝)
10. ポイントカードシステムのデータベース開発と評価
岡崎 功(弘前大)

一般講演 (ICM) (10:55~12:10)

- ICM-11. 系の揺らぎを考慮した新しい ICT 資源管理モデルの一考察
須田慎一郎(NEC)
- ICM-12. クラウド基盤における統合監視手法の評価
○河嶋健吾・石田 淳・猪川裕子・下反貴裕・山本恭弘・岡野真一・浦賀雅博(NTT 西日本)
- ICM-13. Hadoop を用いた OSS の実装法に関する一考察
○西尾 学・武 直樹(NTT)

10日午後 認証とプライバシー (IPSJ-IOT) (13:40~14:55)

14. 岡山大学における大規模認証ネットワークの運用と課題(2)
○山井成良・岡山聖彦・大隅淑弘・藤原崇起・河野圭太・稗田 隆(岡山大)
15. 学割サービス実現のための SAML-OpenID ゲートウェイの試作
○中村素典・西村 健・山地一禎(NII)・佐藤周行(東大)・岡部寿男(京大)
16. 国家による個人識別番号とその利用システムのあり方—プライバシーの観点から—
○高木浩光・山口利恵・渡辺 創(産総研)

ヒューマンインタフェース・セキュリティ対策 (IPSJ-CSEC) (15:10~16:50)

17. 人間ロボット判別テストのバリアフリー化のための言語的問技法
○山井成良・岡山聖彦・大隅淑弘・藤原崇起・河野圭太・稗田 隆(岡山大)
18. DDoS 攻撃における space-time encoding の効率化
双紙正和(広島市大)
19. Mutable S-box の評価と改良
○中林起明・齋藤 僚・長瀬智行(弘前大)
20. ストリーム暗号に適した擬似乱数生成器の提案
○長尾安優美・松尾賢志・長瀬智行(弘前大)

◆情報処理学会; インターネットと運用技術研究会, コンピュータセキュリティ研究会連催

◎9日の研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆ICM 研究会

【問合せ先】

ICM 研究会幹事

E-mail : icm-kanji@mail.ieice.org

http://www.ieice.org/~icm/jpn/

——東海支部における開催——

★電子デバイス研究会 (ED)

専門委員長 加地 徹 副委員長 原 直紀

幹事 須原理彦・上田哲三 幹事補佐 葛西誠也・松永高治

★電子部品・材料研究会 (CPM)

専門委員長 竹村泰司 副委員長 高野 泰

幹事 圓佛晃次・阿部克也 幹事補佐 小館淳一・佐藤知正

★シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)

専門委員長 奈良安雄 副委員長 大野裕三

幹事 野村晋太郎・笹子佳孝

日時 5月16日(木) 13:30~17:00

17日(金) 9:30~17:00

会場 静岡大学浜松キャンパス創造科学技術大学院2階会議室
(浜松市中区城北3-5-1. JR浜松駅よりバスまたはタクシー。
http://gsst.shizuoka.ac.jp http://gsst.shizuoka.ac.jp/others/
access.html 池田浩也)

議題 結晶成長、評価及びデバイス(化合物, Si, SiGe, 電子・
光材料)

16日

- 様々な加工処理を施した4H-SiC表面のキャリアライフタイム評価 ○森 祐人・加藤正史・市村正也(名工大)
- 4H-SiC中の深い準位を形成する欠陥構造の同定の試み
○中根浩貴・加藤正史・市村正也(名工大)・
大島 武(原子力機構)
- カーボンマスクを用いたGaIn両極性同時成長プロセスの開発
○藤田陽平・高野 泰・井上 翼・中野貴之(静岡大)
- 中性子半導体検出器の実現に向けたBGaN薄膜の作製と評価
○渥美勝浩・三宅亜紀・三村秀典・井上 翼・青木 徹・
中野貴之(静岡大)
- γ -Al₂O₃/Si基板上のPZT薄膜を用いた超音波トランス
デューサの受信感度測定と音圧マッピング ○西村将人・
尾崎勝弥・赤井大輔・石田 誠(豊橋技科大)・
岡田長也(本多電子)
- 表面窒化によるGaAsN混晶の形成 ○浦上法之・
若原昭浩・関口寛人・岡田 浩(豊橋技科大)
- The dissolution process of Si into Ge melt and SiGe growth
mechanism by X-ray penetration method
○Muthusamy Omprakash・Mukannan Arivanandhan・
R. Aun Kumar・Hiroshi Morii・Tetsu Aoki・
Tadanobu Koyama・Yoshimi Momose・Hiroshi Ikeda・
Hirokazu Tatsuoka(Shizuoka Univ.)・
Yasunori Okano(Osaka Univ.)・
Tetsuo Ozawa(Shizuoka Insti. of Sci. and Tech.)・
Yuko Inatomi(JAXA)・S. Moorth Babu(Anna Univ.)・

Yasuhiro Hayakawa(Shizuoka Univ.)

8. 収束イオンビームを用いたPドープSOI基板に対するGaイ
オン注入とそのゼーベック係数 ○鈴木悠平・
三輪一聡(静岡大)・ファイズ サレ(静岡大/学振)・
下村 勝・石田明広・池田浩也(静岡大)

17日午前

1. Investigation of monodispersed ZnO nanostructures for dye
sensitized solar cells application ○Mani Navaneethan・
Jayaram Archana・Tadanobu Koyama・
Yasuhiro Hayakawa(Shizuoka Univ.)
2. Investigations of mesoporous TiO₂ spheres as active and
scattering layers in dye-sensitized solar cells
○Jayaram Archana・
Mani Navaneethan・Tadanobu Koyama・
Yasuhiro Hayakawa(Shizuoka Univ.)
3. Low cost synthesized carbon materials as a photo cathode for
dye sensitized solar cells ○Rajan Karthikeyan・
Mani Navaneetha・Jayaram Archana・
Mukannan Arivanandhan・
Yasuhiro Hayakawa(Shizuoka Univ.)
4. Surface modified FTO thin films for front electrodes in Dye
sensitized solar cells ○Devinda Liyanage・
Kenji Murakami(Shizuoka Univ.)
5. 電気化学的手法によるInP多孔質構造の光吸収特性と光電変
換 熊崎祐介・神保亮平・谷田部然治・○佐藤威友(北大)
6. Electron-tunneling operation of single-dopant-atom transis-
tors at elevated temperature—Toward room temperature
operation ○Daniel Moraru・Earfan Hamid・
Arup Samanta(Shizuoka Univ.)・Le The Anh(JAIST)・
Takeshi Mizuno(Shizuoka Univ.)・
Hiroshi Mizuta(JAIST/Southampton Univ.)・
Michiharu Tabe(Shizuoka Univ.)
7. 電子的確率共鳴の非侵襲生体信号計測への応用に関する検討
○今井裕理・葛西誠也(北大)

17日午後(13:30~)

8. [招待講演] シリサイド半導体の結晶成長とデバイス応用
鶴殿治彦(茨城大)
9. CMOSイメージセンサ技術を用いたファブリカロー干渉計に
よる非標識バイオセンサ ○小澤 遼・高橋一浩・大山泰生・
二川雅登・太斎文博・石田 誠・澤田和明(豊橋技科大)
10. CuとFeを担持したTiO₂薄膜の光触媒特性の評価
○山田良隆・以西雅章・渥美 剛・白木 遼(静岡大)・
安田洋司・星 陽一(東京工芸大)
11. 高効率水素生成に向けたSiCキャリアライフタイム評価
○三宅景子・安田智成・加藤正史・市村正也(名工大)・
畑山智亮(奈良先端大)・大島 武(原子力機構)
12. LiMn₂O₄薄膜の電池特性の改善 ○野口貴史・丹羽彬夫・
木村将士・柴田智志・以西雅章・富田靖正(静岡大)
13. Improvement of photovoltaic characteristics of B-doped
Czochralski-Silicon by Ge codoping
○Mukannan Arivanandhan(Shizuoka Univ.)・Raira Gotoh・
Kozo Fujiwara(Tohoku Univ.)・
Yasuhiro Hayakawa(Shizuoka Univ.)・
Satoshi Uda(Tohoku Univ.)・
Makoto Konagai(Tokyo Inst. of Tech.)
14. Hydrothermal Synthesis of ZnO Nanowire Network using

Zinc Acetate Dyhydrate for the DSSC Application

○Rangga Winantyo・Kenji Murakami (Shizuoka Univ.)

青木義満 (慶大)

15. 電気化学堆積法による FeS₂ 薄膜作製 ○山崎隆太・市村正也・加藤正史 (名工大)

3. 画像特徴の適応的選択による画像例ベース概念間距離の算出 ○中村和晃・大利綾香・馬場口 登 (阪大)

○16 日の研究会終了後、懇親会を予定しておりますので奮って御参加下さい。

4. カメラネットワークを用いた特定人物検索システム設計のためのシミュレーション ○椋木雅之・岡本大和・美濃導彦 (京大)

☆ED 研究会

24 日午後 テーマセッション (13:15~)

【問合先】

須原理彦 (首都大東京)

5. フレーム間差分法による小腸収縮運動の自動解析

TEL [042] 677-2765, FAX [042] 677-2756

○谷口絢子・健山智子 (立命館大)・古川 顕 (首都大東京)・武 星 (上海交通大)・佐藤滋高 (滋賀医科大)・金崎周造 (武田病院)・陳 延偉 (立命館大)

E-mail: michihiko.suhara@tmu.ac.jp

上田哲三 (パナソニック)

6. オプティカルフローを用いた咀嚼回数のリアルタイム計測 ○宮中 大・千葉優輝・早川吉彦 (北見工大)

TEL [075] 956-8273, FAX [075] 956-9110

E-mail: ueda.tetsuzo@jp.panasonic.com

☆CPM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7. Segmentation of acetabular cartilage from CT data using combined statistical shape modeling of pelvic bone and cartilage

8 月 29 日 (木), 30 日 (金) サンリフレ函館 テーマ: 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

○Pooneh R. Tabrizi・Reza A. Zoroofi (Univ. of Tehran)・Futoshi Yokota (Kobe Univ.)・Toshiyuki Okada (Osaka Univ.)

☆SDM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6 月 18 日 (火) 機械振興会館 [締切済] テーマ: ゲート絶縁薄膜, 容量膜, 機能膜及びメモリ技術 (応用物理学会; シリコンテクノロジー分科会共催)

8. Virtual Slicer: 医用画像の実環境におけるタブレット端末の位置・姿勢に基づく任意断面画像提示インタフェースの開発

○島村 奨・鐘ヶ江資子・上間裕二・稲見昌彦・林田 哲・斎藤英雄・杉本麻樹 (慶大)

★画像工学研究会 (IE)

専門委員長 如澤裕尚 副委員長 藤井俊彰・井口和久
幹事 内藤 整・久保田 彰 幹事補佐 浜本隆之・坂東幸浩
5 月 25 日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
委員長 藤井俊彰 副委員長 高村誠之・浜本隆之
幹事 久保田 彰・市ヶ谷敦郎 幹事補佐 菅野 勝・松尾翔平

9. 内視鏡手術訓練のための訓練者姿勢観測に基づく手術プロセス解析手法の検討 ○丸谷宜史・田川和義・島田伸敬・田中弘美 (立命館大)・来見良誠・小森 優・森川茂廣 (滋賀医科大)

★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 山田敬嗣 副委員長 大町真一郎・柏野邦夫
幹事 飯山将晃・関 真規人 幹事補佐 田中 宏・堀田政二
5 月 25 日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 鷲見和彦 副委員長 柏野邦夫・黄瀬浩一
幹事 田中 宏・堀田政二 幹事補佐 島田敬士・井尻善久

10. 造影 CT 画像を用いた肺血栓塞栓症の検出法
○徳元祥貴・鈴木秀宣・河田佳樹・仁木 登 (徳島大)・杉浦寿彦・田邊信宏・滝口裕一・巽 浩一郎 (千葉大)

★医用画像研究会 (MI)

専門委員長 佐藤嘉伸 副委員長 清水昭伸・森 健策
幹事 河田佳樹・菅 幹生 幹事補佐 原口 亮・北坂孝幸

11. 肝臓の統計形状モデルの構築と脾臓の形態変化による肝硬変症支援診断システムへの応用 ○上谷芽衣・健山智子・小原伸哉・田中英俊・韓 先花 (立命館大)・金崎周造 (武田病院)・古川 顕 (首都大東京)・陳 延偉 (立命館大)

日時 5 月 24 日 (金) 10:00~17:45

25 日 (土) 9:00~17:00

会場 愛知工業大学八草キャンパス 1 号館 3 階 301 室 (メディア視聴覚室), 303 室 (豊田市八草町八千草 1247. JR 名古屋駅より地下鉄東山線にて藤が丘駅へ (約 25 分 290 円). 地下鉄: 藤が丘駅出口すぐのリニモにて八草駅へ (約 15 分 360 円). 八草駅より無料シャトルバス (徒歩で約 10 分). 建物配置図 <http://www.ait.ac.jp/sisetu/index.html> <http://www.ait.ac.jp/access/index.html> TEL [0565] 48-8121 北坂孝幸)

議題 医用画像の計測・認識・理解, 少子高齢化社会の課題

24 日午前 一般セッション

1. Vision Switch の実現に向けた被注視の検出 ○山崎泰幸・福井和広 (筑波大)
2. 人体スケルトンとアピアランスモデル統合による行動理解
○片岡裕雄 (慶大)・岩田健司・佐藤雄隆 (産総研)・

12. 局所濃淡構造解析を用いた 3 次元腹部造影 CT 像からの胆道自動抽出手法 ○古閑楠人・林 雄一郎・廣瀬友昭・小田昌宏・伊神 剛・柳野正人・森 健策 (名大)

25 日午前 テーマセッション

1. カメラ付きトロカールによる腹腔内多眼形状計測システムの開発 大久保卓也・○鈴木 拓・中口俊哉・関根 雅・林 秀樹 (千葉大)

2. 超音波心エコー画像を用いた双方向 DP トラッキングによる心筋運動追跡 ○村上和寿・大山 航・若林哲史・木村文隆 (三重大)・関岡清次 (関岡クリニック)

3. 臓器の標準位置の計算 延原 謙・○井宮 淳 (千葉大)

特別講演セッション

4. [特別講演] 医療における AR 技術の実用展開 正宗 賢 (東大)

25 日午後 社会課題セッション (少子高齢化) (13:15~)

5. [特別招待講演] 長寿社会の課題と可能性 秋山弘子 (東大)
6. [招待講演] 高齢者と共につくる認知機能と生活の質向上のための技術—健康長寿産業の振興を目指して—
大武美保子 (千葉大/ほのほ研)

7. [招待講演] 社会に研究を交差させる方法—社会的偏見を受けやすい対象を調査するための枠組み— 山下直美 (NTT) テーマセッション

8. 荷重積分法を用いた画像中のエッジのパラメトリックな記述 ○後藤秀聡・本谷秀堅 (名工大)

9. 臓器統計モデルの位置合わせにおける尤度分布の空間的連続性の考慮 ○宇戸真弥・本谷秀堅 (名工大)

◎25日16:30~17:00 PRMU賞・MI賞の授賞式を行います。

☆IE研究会

【問合先】

久保田 彰 (中大)

E-mail: ie-kanji2012@mail.ieice.org

☆PRMU研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月10日(月), 11日(火) NTT 武蔵野研究開発センター [締切済] テーマ: 一人称ビジョン, セキュリティとプライバシーの確保, 産学共同研究紹介

【問合先】

PRMU研究会幹事宛

E-mail: prmu-kanji@mail.ieice.org

☆MI研究会

【問合先】

医用画像研究会世話人

E-mail: mi-submit@mail.ieice.org

上記で連絡がつかないとき

北坂孝幸 (愛知工大情報科学部)

TEL [0565] 48-8121 (内線 2423)

FAX [0565] 48-0509

E-mail: kitasaka@aitech.ac.jp

新井秀明・古川元一・酒井翔太・佐藤 孝・坂本秀一・大河正志 (新潟大)

5. 磁界印加時における面発光型半導体レーザーの短波長シフトの研究 ○河野桂子・飯島音浩 (新潟大)・土井康平 (東北学院大)・田平慎一・佐藤 孝・大河正志 (新潟大)

6. 超集束効果を利用したテラヘルツ波の高感度EOサンプリング ○都築 聡・竹嶋大貴・左近知也・木下哲也・永瀬友大・小澤慎平・栗原一嘉・山本晃司 (福井大)・桑島史欣 (福井工大)・古屋 岳・西澤誠治 (福井大)・マイケル バクノフ (エジノゴロ大)・川瀬晃道 (名大)・谷 正彦 (福井大)

7. ナノ光ファイバー端による単一光子源からの高効率集光 ○長南 翔・加藤真也・青木隆朗 (早大)

午後(13:15~)

8. [招待講演] 半導体量子ドットを用いた量子もつれ光子対の生成 ○黒田 隆・間野高明・迫田和彰 (物質・材料研究機構)・中島秀朗・熊野英和・末宗幾夫 (北大)

9. Metal-embedded nanocone structure incorporating an InAs QD for efficient single-photon emission ○Xiangming Liu・Tomoya Asano・Satoru Odashima・Hideaki Nakajima・Hidekazu Kumano・Ikuo Suemune (Hokkaido Univ.)

10. 通信波長帯ピコ秒単一光子量子ビットの量子ドット集合体への転写・再生 ○鈴木一将・小西広一郎 (慶大)・赤羽浩一 (NICT)・早瀬潤子 (慶大)

11. 半導体量子ドットを用いた波長可変レーザーの2波長共振 ○赤羽浩一・山本直克・菅野敦史・稲垣恵三・梅沢俊臣・川西哲也 (NICT)・遠藤 尚・友松泰則・山野井俊雄 (光伸光学)

12. 窒素ドーピング同位体制御化学気相成長で作製したダイヤモンドNVセンターサンプルの光学・スピン特性 ○五味朋寛・富澤周平 (慶大)・渡邊幸志・梅澤 仁・鹿田真一 (産総研)・伊藤公平・早瀬潤子 (慶大)

13. 光捕捉された金ナノ粒子のガラス境界面付近の挙動 ○佐藤 聡・早崎芳夫 (宇都宮大)

14. フェムト秒レーザー誘起現象の2波長同時干渉計測 ○福田真一・早崎芳夫 (宇都宮大)

15. BCB貼付け法によるSi基板上MSM型InGaAs光検出器のGHz応答 ○前北和晃・丸山武男・飯山宏一 (金沢大)

16. 標準CMOSプロセスで作製したアバランシェ光検出器の高速応答特性 ○霜鳥敏之・刑部遼一・丸山武男・飯山宏一 (金沢大)

◆レーザー学会共催

◎お昼休みに懇親会を開催しますので是非御参加下さい。会費: 一般500円。当日受付にてお申し込み下さい。

☆LQE研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月21日(金) 機械振興会館 [締切済] テーマ: アクティブデバイスと集積化技術, 一般 (材料デバイスサマーミーティング)

8月29日(木), 30日(金) サンリフレ函館 テーマ: 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】

—北陸支部における開催—

★レーザー・量子エレクトロニクス研究会 (LQE)

専門委員長 津田裕之 副委員長 松尾慎治

幹事 篠田和典・田中 有

5月25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事

専門委員長 松尾慎治 副委員長 近藤正彦

幹事 田中 有・有賀 博

日時 5月17日(金) 9:00~17:30

会場 金沢大学角間キャンパス自然科学研究科棟 G15 会議室 (金沢市角間町. 金沢駅東口6番乗り場からバス91・93・94・97 金沢大学行き金沢大学自然研前, 金沢大学中央または金沢大学下車. <http://www.kanazawa-u.ac.jp/university/access/index.html> TEL [076] 234-4866 山田 実)

議題 量子光学, 非線形光学, 超高速現象, レーザ基礎, 及び一般

1. An Analysis of the Noise Reduction Effect by Superposition of High Frequency Current in Semiconductor Lasers

○Sazzad Imran・Minoru Yamada (Kanazawa Univ.)

2. レーザーダイオード励起 Yb: YAG レーザーの高効率化

○下條直哉・木村大介・西尾正敏・丸小淳幸・川戸 栄 (福井大)

3. 半導体光増幅器における S/N 比の検討 ○樋口和貴・武内伸仁・山田 実 (金沢大)

4. 半導体レーザーの周波数雑音を用いた物理乱数の生成—発振幅が物理乱数に及ぼす影響に関する考察— ○齊藤高大・

田中 有 (富士通研)

TEL [046] 250-8251, FAX [046] 250-8146

E-mail: yu_tanaka@jp.fujitsu.com

有賀 博 (三菱電機)

TEL [0467] 41-2906, FAX [0467] 41-2519

E-mail: Aruga.Hiroshi@ab.MitsubishiElectric.co.jp

◎LQE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/~lqe/jpn/>

◎LQE 研究会では平成 18 年度より「LQE 奨励賞」を設けました。対象は発表年度の 4 月 1 日時点で 32 歳以下の若手研究者 (学生を含む) です。積極的に御投稿下さい。

★情報理論研究会 (IT)

専門委員長 鎌部 浩 副委員長 大橋正良

幹事 井坂元彦・野村 亮 幹事補佐 古賀弘樹

5 月 25 日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 竹内純一 副委員長 大濱靖匡

幹事 野村 亮・日下卓也 幹事補佐 井坂元彦

日時 5 月 24 日 (金) 10:00~16:00

会場 あわら温泉まつや千千 (あわら市舟津 31-24. JR: 芦原温泉駅よりバスで 10 分. <http://matuyasensen.co.jp/access/> 岩田賢一 (福井大))

議題 記録素子用符号化, 一般

1. Splicing system and Sofic Shift Hiroshi Kamabe (Gifu Univ.)
2. Binary Sequences Generated by A Primitive Polynomial of Odd Characteristic ○Yasuyuki Nogami (Okayama Univ.)・Satoshi Uehara (Univ. of Kitakyushu)・Kazuki Tada (Okayama Univ.)
3. 帯域制限を持つ量子ガウス通信路の Holevo 容量
○焦 勇・相馬正宜・広田 修 (玉川大)
4. マーキング仮定のもとでの確率的な結託耐性符号に対する符号化定理再訪
○古賀弘樹・児矢野和也 (筑波大)

午後 (13:10~)

5. 巡回符号における Shift 限界の高速計算法に関する考察
○戒田高康 (近畿大)・鄭 俊如 (九州女子大)
6. 二次元積符号に対する SISO-OSD のブロックターボ復号の効率化
○日下卓也・菊元貴大 (岡山大)
7. 2 元線形符号の Trapping Redundancy の評価について
○廣友雅徳・渡邊江実日・上原 健 (佐賀大)
8. 畳語分解に基づく文字列の複雑度の提案とその乱数検定への応用
○真矢 滋・山本博資 (東大)
9. 可算無限アルファベットの情報源に対して VF 符号が存在する条件について
○有村光晴 (湘南工科大)・岩田賢一 (福井大)
10. 2 元入力離散無記憶通信路の出力に対する量子化アルゴリズムの SMAWK アルゴリズムを用いた高速化
○岩田賢一・小澤伸也 (福井大)

◆IEEE IT Society Japan Chapter 共催

◎フラッシュメモリ符号化に関するワークショップ併催

☆IT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7 月 25 日 (木), 26 日 (金) 早大西早稲田キャンパス [5 月 13 日 (月)] テーマ: フレッシュマンセッション, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

情報理論研究会幹事, 幹事補佐

E-mail: it-sec@mail.ieice.org

★ME とバイオサイバネティクス研究会 (MBE)

専門委員長 小池康晴 副委員長 中尾光之

幹事 井澤 淳・渡邊高志 幹事補佐 吉村奈津江・中村和浩

5 月 25 日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

委員長 中尾光之 副委員長 神保泰彦

幹事 渡邊高志・小谷 潔 幹事補佐 中村和浩・高山祐三

日時 5 月 24 日 (金) 9:00~17:25

会場 富山県立大学合同棟 2F L205 会議室

議題 ME, 一般

MBE-1. 瞬目群発と単独瞬目を用いたリアルタイム居眠り検出法の開発 内藤千裕・○杉本大樹・高野博史 (富山県立大)・小島祐幸・河村弘之 (現代自動車日本技研)・中村清実 (富山県立大)

MBE-2. タブレット端末を用いた重度障害者のための目入力型意思伝達システムの開発 北川恭平・○山下勝樹・高野博史・中村清実 (富山県立大)

MBE-3. 荷重センサから得られた歩行パターンによる個人識別
○那須圭馬・金 主賢・中島一樹 (富山大)

MBE-4. グレリンは視床下部結節乳頭核ニューロンを脱分極する
○若林祐次・金 主賢・中島一樹 (富山大)

MBE-5. モーションセンサデバイスから得られる深度情報を用いた顔認証の基礎的検討 ○今枝 駿・クーパートッド・塚田 章 (富山高専)

6. 近赤外光の異方向照射に伴う虹彩端陰影変化を用いた生体検知法における判別性能 早崎 渉・○塚本純一・高野博史・中村清実 (富山県立大)

7. 一電極の事象関連電位に基づく脳波バイオメトリクス 唐山英明 (富山県立大)

8. 仮想運転時脳波による個人認証の研究— α - β 波帯分割領域毎の照合性能の違いに関する考察— ○中西 功・福田紘尚・李 仕剛 (鳥取大)

午後 (13:30~)

MBE-9. ストレス環境下における自律神経系応答モデルの検討
○池田和浩・木竜 徹 (新潟大)

MBE-10. 集団事象関連電位の計測とその解析 唐山英明 (富山県立大)

MBE-11. 目蓋による瞳孔の形状変化を考慮した重度障害者のための目入力装置の開発 大藪勇希・○山川雄氣・高野博史・中村清実 (富山県立大)

MBE-12. 医療現場での応用を目的とする支援ロボットの開発—支援ロボットの開発— ○石川史也・チャピ ゲンツイ (富山大)

MBE-13. ニューラルネットワークを用いたリハビリロボットの動作—リハビリロボットの動作— ○宮本祥吉・チャピ ゲンツイ (富山大)

MBE-14. マトリクス電極による表面電極の実用的貼付位置の決定法 ○新井大樹・木竜 徹 (新潟大)

MBE-15. 肩関節の透視 X 線画像における骨輪郭の半自動抽出法 ○鳥 広樹・林 豊彦 (新潟大)・田中 洋・二宮裕樹・乾 浩明・駒井正彦・信原克哉 (信原病院)

MBE-16. 膝関節における成長軟骨の位置・姿勢及び形状の分析
○志賀優太・林 豊彦（新潟大）・渡邊 聡・
古賀良生（新潟医療センター）

MBE-17. アルツハイマー型認知症患者の帯状束における病変の
解析と評価—MR-DTIを用いた神経線維追跡による研究—
○久田祥史・山本詩子・小林哲生（京大）・山崎貴史・
長田 乾（秋田脳研）

◆バイオメトリクス研究会併催。日本生体医工学会；ME とバイ
オサイバネティクス研究会共催

☆MBE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月21日（金）北大〔締切済〕テーマ：ME，一般

7月19日（金），20日（土）徳島大〔5月15日（水）〕テ
マ：ME，一般（NC 研究会併催，日本生体医工学会；ME
とバイオサイバネティクス研究会共催）

【発表申込先】 発表申込システムより電子的に行ってください。

<http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tgid=MBE>

【問合せ先】

中村和浩（秋田脳研）

TEL [018] 833-0115

E-mail : knam@akita-noken.jp

— 関西支部における開催 —

★マルチメディア・仮想環境基礎研究会 (MVE)

専門委員長 柳田康幸 副委員長 小林 稔

幹事 井手一郎・蔵田武志・米澤朋子

幹事補佐 三上 弾・杉本麻樹・酒田信親

5月25日からの専門委員長，副委員長，幹事，幹事補佐

専門委員長 柳田康幸 副委員長 小林 稔

幹事 井手一郎・蔵田武志・杉本麻樹

幹事補佐 三上 弾・酒田信親・上岡玲子

日時 5月17日（金） 10：15～17：20

18日（土） 9：30～12：10

会場 大阪大学基礎工学部国際棟セミナー室 (<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/toyonaka>)

議題 エンタテインメントのためのメディアとリアリティ

17日午前 インタフェース・評価

1. バーチャル空間に挿入可能な三次元スケッチペン

○長坂信吾・浦西友樹・黒田嘉宏・井村誠孝・
大城 理（阪大）

MVE-2. ロボット対話型服装推薦システムにおける，ユーザの
服装コーディネート力向上の検証 ○清水 葵・鈴木 優・
上田博唯（京都産大）

3. 異なる娯楽性を付与したタスクの作業効率比較

○一ノ瀬智浩・上野秀剛（奈良高専）

17日午後 力触覚・温冷覚

MVE-4. Effect of Local Lag Control on QoE in Joint Haptic Drum
Performance ○Mya Sithu・

Yutaka Ishibashi (Nagoya Inst. of Tech.)

MVE-5. 分散仮想環境におけるネットワーク遅延が力覚による
意思伝達に及ぼす影響 ○黄 平国・曾 キ・
石橋 豊（名工大）

6. オノマトベ体感システムの実現に向けた冷温風提示システム
の基礎検討 ○濱村康司・松下光範（関西大）

第一種研究会開催案内

7. [招待講演] 脳が世界を見る—わたしが知らないうちに—

藤田一郎（阪大）

画像

8. オプティカルフロー解析によるモーショングラフィックス映
像の覚醒度評価の一検討 ○関根雅人・小川克彦（慶大）

9. 自撮りパノラマ写真生成のための人物領域抽出

○中川裕太・河野恭之（関西学院大）

MVE-10. 屋外カメラ設置におけるポーズ決定タスクによる複合
現実型ジオラマインタフェースの評価 ○林 将之・

北原 格・亀田能成・大田友一（筑波大）

18日 音・音楽

1. 聴覚フィードバックを用いた歌唱時の音程操作

○井手口裕太・横畑亮輔・井村誠孝・浦西友樹・黒田嘉宏・
大城 理（阪大）

2. タブレットデバイスを用いたコード演奏学習支援アプリケ
ーションの開発とマルチメディアフィードバック効果の検証

○尾本 光・米澤朋子（関西大）

MVE-3. 雑音抑圧法を用いたステレオ型自動カラオケアプリの
開発 ○武田 駿（諏訪東京理科大）・

名取隆廣（東京理科大）・田邊 造（諏訪東京理科大）・

古川利博（東京理科大）

教育

4. 高専生による二輪型及び慣性ロータ型の倒立振り子ロボットの
作製 ○浜崎 淳・繁内宏治・坂本寛和（広島商船高専）

5. エンタテインメント科学とデザイン・エンタテインメント

長嶋洋一（静岡文化芸術大）

◆情報処理学会；EC 研究会連催，VR 学会；SIGAE 協賛

★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 中村直人 副委員長 小西達裕

幹事 國宗永佳・渡辺健次 幹事補佐 西尾典洋・森本容介

日時 5月26日（日） 10：00～16：35

会場 和歌山大学（和歌山市柴谷 930. 南海：和歌山大学前駅か
ら徒歩で約 20 分. 和歌山バス（和歌山大学前駅東口バス停和
歌山大学行き）で約 4 分. 南海：和歌山市駅から和歌山バス
（3・4 番乗り場，和歌山大学行き）で約 20 分. JR：和歌山駅
から和歌山バス（4 番乗り場，和歌山大学行き）で約 30 分.
<http://www.wakayama-u.ac.jp/access.html> TEL [073]
457-8457 曾我真人）

議題 新しいインタラクションを取り入れた学習の分析と支援/
一般

1. 受講生の授業参加意識に着目した授業分析手法における固有
値の算出と比較 ○宇治典貞・横山 宏・
魚井宏高（阪電通大）

2. 受講データに基づいた学習支援モデルの検討 松田 健

3. カウンタ回路の学習支援システムの開発・利用と評価

○出口幸子・高木章宏（近畿大）

4. 仮想マシンを活用したルーティングアップデートの学習シス
テム ○宮本 拓・北澤友基・井口信和（近畿大）

5. 電子教科書における標準機能と ePub 教材による相互運用性
の検証 ○中嶋俊也・篠原 駿・田村恭久（上智大）

午後

6. 運指の誤りの診断とアドバイスを与えるタイピングスキル学
習支援環境 田村拓也（五大オーエー）・曾我真人・

瀧 寛和 (和歌山大)

7. 拡張現実感技術を用いたボルダリング指導システムの開発
多田憲孝 (阪国際大短大部)

8. スキル学習支援のための疑似力覚生起時の脳波周波数分析
○阪上慶二郎・瀬戸勇記・阿児駿平・三浦浩一・
松田憲幸・瀧 寛和 (和歌山大)

9. 映像ベースのコメントシステムを活用した看護技術マニュアル改善プログラム
○真嶋由貴恵・前川泰子 (阪府大)・
馬田 聡 (NTT)・伊津美孝子 (森医療大)

10. Kinect を利用した縄跳び運動認識システムの開発
越智洋司 (近畿大)

11. HTML5 を用いた書く過程再生システムの開発
○岡崎泰久・吉原知奈津・田中久治 (佐賀大)・
渡辺健次 (広島大)

12. 教育での ICT 利活用の効果について—総務省「フェー
チャースクール推進事業」文部科学省「学びのイノベーション」—
○角田佳隆・岡本友尊 (和歌山市教育研)

13. デジタルドームシアターを使った超臨場感教材
○尾久土正己・吉住千亜紀 (和歌山大)

◎研究会終了後、和歌山大学ドームシアター見学を行います。

☆ET 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月22日(土) 南山大名古屋キャンパス〔締切済〕テーマ:
教育・学習支援に対する新展開/一般

7月27日(土) 熊大本大〔5月13日(月)〕テーマ:e-Learn-
ing 新展開/一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

渡辺健次 (広島大)

TEL〔082〕424-7155

E-mail: wtnbk@hiroshima-u.ac.jp

◎原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には、自動
的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は認めていま
せんので御注意下さい。

★マイクロ波研究会 (MW)

専門委員長 大平 孝

副委員長 黒木太司・中津川征士・川上憲司

幹事 加屋野博幸・河合 正 幹事補佐 嶋田浩和・清水隆志

5月25日からの専門委員長、副委員長、幹事、幹事補佐

専門委員長 黒木太司

副委員長 中津川征士・川上憲司・九鬼孝夫

幹事 河合 正・山之内慎吾 幹事補佐 清水隆志・大平昌敬

日時 5月30日(木) 14:30~17:15

31日(金) 9:00~17:45

会場 龍谷大学瀬田キャンパス (大津市瀬田大江町横谷 1-5。

JR: 京都駅から米原方面へ瀬田駅下車, バス約 8 分。 http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/index.html TEL
〔077〕543-7798 石崎俊雄)

議題

30日

1. 高周波整流回路の最適負荷と電力効率の理論式—流通角方
式の導出と活用— 大平 孝 (豊橋技科大)

2. インピーダンス変成器を設けたブリッジ形高周波整流回路に

おける高調波処理時の整流効率 ○細谷鴻平・佐圓恒啓・
伊東健治・別段信一・牧野 滋・廣田哲夫・
野口啓介 (金沢工大)・谷口英司 (三菱電機)

3. ダイオードミキサの出力電力 ○橋本 潤・
伊東健治 (金沢工大)・下沢充弘 (三菱電機)・
水野皓司 (東北大)

4. 寄生成分を考慮した 2.1 GHz 帯 20 W GaN-HEMT F 級増幅器
○中谷圭吾・石崎俊雄 (龍谷大)

5. 導体球と導体線から成るメタマテリアルの外部結合を考慮し
た等価回路 ○久門尚史・吉田敬祐・和田修己 (京大)

31日午前

1. WPT ガイドによる長距離ワイヤレス給電
○粟井都雄 (リュウテック)・澤原裕一 (龍谷大)・
山口和也 (リュウテック)・石崎俊雄 (龍谷大)

2. 3 共振系無線電力伝送システムの電力計算による設計理論の
検討 ○山本輝彦 (龍谷大)・石田哲也・
藤井憲一 (Wave Tech.)・石崎俊雄 (龍谷大)

3. セラミック誘電体共振器を用いた無線電力伝送システムの伝
搬モードの研究 ○西川健太・石崎俊雄 (龍谷大)

4. 移動型無線電力伝送における動的インピーダンス整合回路の
研究 ○三上恵典・北野源太・石崎俊雄 (龍谷大)

5. 放送、通信に用いる 3 周波数帯からの電磁波エネルギー同時
回収の検討 ○北沢祥一・嶋田浩和・花澤理宏・阿野 進・
伴 弘司・小林 聖 (ATR)

6. 電磁波エネルギー回収用高効率レクテナアレーにおける素子
間隔等の検討 ○嶋田浩和・花澤理宏・北沢祥一・
伴 弘司・小林 聖 (ATR)

31日午後 (13:15~)

7. 遮断導波管と平面共振器のハイブリッド共振による小型有極
導波管フィルタの阻止域特性改善 松本孝章・○大平昌敬・
馬 哲旺 (埼玉大)

8. マイクロストリップ結合線路へアピン共振器を用いた低域
通過フィルタの特性改善 ○鶴見純一・馬 哲旺・
大平昌敬 (埼玉大)

9. 基地局用キャビティ型 4 重モード共振器フィルタの研究
○二神 大・役野茂生・石崎俊雄 (龍谷大)

10. Development of Miniaturized RF Passive Devices on Flexible
Substrate ○Young Yun・Jang-Hyeon Jeong・
Sung-Jo Han・Ki-Jun Son (Korea Maritime Univ.)

11. 2 周波高低特性インピーダンススタブのインピーダンス変換
について ○坂上岩太・山岸裕人 (富山大)

12. 方形導波管中に挿入したマイクロストリッププロープの等価
回路と導波管-マイクロストリップ線路変換器への応用
○佐藤 稔・山本広大・川西裕士 (岡山大)

13. キャビティ付きスロットアンテナの励振部の等価回路につい
て ○佐藤建太・米屋壮史・島崎仁司 (京都工繊大)

14. 有機溶媒加熱のための広帯域電磁波照射容器の設計
○中島 陵・長谷川直輝・三谷友彦・篠原真毅・
黒崎陽介 (京大)・近田 司・野崎義裕 (日本化学機械製造)・
渡辺隆司 (京大)

◆IEEE MTT-S Japan Chapter, IEEE MTT-S Kansai Chapter,
IEEE MTT-S Nagoya Chapter 協賛

◎30日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆MW 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月27日(木), 28日(金) 名工大〔締切済〕テーマ:マイ
クロ波信号発生と計測技術/一般

7月18日(木), 19日(金) 稚内総合文化センター〔締切済〕
テーマ: マイクロ波フォトニクス技術, 一般

【問合先】

嶋田浩和 (ATR)
TEL [0774] 95-1541, FAX [0774] 95-1508
E-mail: kamoda@atr.jp
加屋野博幸 (東芝)
TEL [044] 549-2110, FAX [044] 520-1801
E-mail: hiroyuki.kayano@toshiba.co.jp

——中国支部における開催——

★応用音響研究会 (EA)

専門委員長 小野一穂 副委員長 三好正人・岩谷幸雄
幹事 大谷 真・戸上真人 幹事補佐 水町光徳
5月25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 岩谷幸雄 副委員長 三好正人・荻木禎史
幹事 戸上真人・水町光徳 幹事補佐 宮部滋樹

★信号処理研究会 (SIP)

専門委員長 大田恭士 副委員長 澤田 宏・梶川嘉延
幹事 大谷 猛・木下慶介 幹事補佐 西浦敬信
5月25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 澤田 宏 副委員長 梶川嘉延・宝珠山 治
幹事 木下慶介・西浦敬信 幹事補佐 辻川剛範

★音声研究会 (SP)

専門委員長 速水 悟 副委員長 河井 恒
幹事 森 大毅・鈴木基之 幹事補佐 藤本雅清・大谷大和
5月25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 川端 豪 副委員長 河井 恒
幹事 鈴木基之・戸田智基 幹事補佐 大谷大和・大庭隆伸

日時 5月16日(木) 10:30~18:10
17日(金) 9:45~18:30

会場 岡山大学創立五十周年記念館 (<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/kinenkan-index.html>) TEL [086] 251-7057
(会場事務室) 阿部匡伸

議題 電気音響, 信号処理, 音声一般

16日午前 音響信号処理

- 音響信号とマルチセンサー信号を利用したスマートフォンによる自動車の燃費推定 難波祥平・○原直・阿部匡伸(岡山大)
- 時変混合重みに基づくパーミュテーション問題のないクラスタリングベース音源分離 ○伊藤信貴・荒木章子・中谷智広 (NTT)
- 高次局所自己相関に基づくマイクロ波ドップラーセンサ信号からの人検知手法 ○奥谷大介・前野蔵人・平本美智代 (OKI)
- 音声通信による対話を目的としたヘッドマウント型 ANC システム ○山川航平・梶川嘉延 (関西大)

16日午後 スピーチエンハンスメント (招待講演)

- 〔招待講演〕 補助関数型独立ベクトル分析による高速ブラインド音源分離 小野順貴 (NII)

スピーチエンハンスメント(1)

- 雑音・残響指標 NRSR-PDn に基づく雑音・残響下音声認識の予測性能評価 ○福森隆寛・中山雅人・西浦敬信・山下洋一 (立命館大)
- REDIAL を用いた狭帯域音声の帯域復元 ○グエン ドウックズイ・鈴木雅之・峯松信明・広瀬啓吉 (東大)
- Data adaptive pre-filtering with spectral weighting—Application to single channel speech enhancement— ○Md. Khademul Islam Molla・Keikichi Hirose (Univ. of Tokyo)
- PCM 量子化雑音低減のための事例ベース音声強調 ○寺門雅史・間野一則 (芝浦工大)
- スピーチエンハンスメント(2)
- 突発性騒音のための音声強調に用いる4次キュムラントを基にする適応アルゴリズムに関する一検討 ○小野和昌・笹岡直人・伊藤良生 (鳥取大)
- 逆ノッチフィルタを用いた能動騒音制御による音声強調 ○中谷一輝・川村 新・飯國洋二 (阪大)
- スペクトル引き算法における最適位相スペクトル ○村上隆啓 (明大)・篠原知子 (都立産技高専)・石田義久 (明大)

スピーチエンハンスメント(3)

- 一般化 MMSE 振幅スペクトル推定に基づくブラインド音声抽出法のミュージカルノイズ発生量解析 ○中井駿介・金原涼美・宮崎亮一・猿渡 洋・鹿野清宏 (奈良先端大)
- Study on optimal divergence for superresolution-based supervised nonnegative matrix factorization ○Daichi Kitamura・Hiroshi Saruwatari・Kiyohiro Shikano (NAIST)・Kazunobu Kondo・Yu Takahashi (YAMAHA)

17日午前 音声合成・音声再生

- 音声合成のためのサブバンド符号化技術を用いた高速な波形生成 ○西澤信行・加藤恒夫 (KDDI 研)
- 適応フィルタを用いた補聴器の耳閉塞感の軽減 ○春原政浩・綿貫敬介・館野 誠 (リオン)
- 超音波パラメトリックスピーカの2次ボルテラフィルタによる近距離歪補正 ○宝珠山 治 (NEC)・吉野数馬 (東大)・楯岡聖也 (九大)・広瀬勝弘 (電通大)・小山田 晃 (筑波大)

信号処理一般(1)

- ポリフェーズフィルタバンクにおける高速演算手法の検討 ○藤城 玄・市毛弘一 (横浜国大)
- 複数の辞書と正則化を用いた多カーネル適応フィルタ ○石田泰一・田中聡久 (東京農工大)

17日午後 信号処理一般(2)

- EE~法とその収束条件 ○藤井健作・岩松佑輔・松本恵理子 (兵庫県立大)・棟安実治 (関西大)・森本雅和 (兵庫県立大)
- 重み付き共分散の逐次更新によるオンライン独立ベクトル分析 ○谷口 徹 (東芝)・小野順貴 (NII)・河村聡典 (東芝)・嵯峨山茂樹 (東大)
- 空間周波数領域演算を用いた WE-FDTD 法の3次元音場における数値分散の評価 ○中野皓太・中山雅人・西浦敬信・山下洋一 (立命館大)
- 可変ステップサイズを用いた GROUSE 法による高分解能到来方向推定 ○山田慧太・土居勇輝・市毛弘一 (横浜国大)

音声・音響処理信号

10. Adaptive equalization-cancellation model and its application to sound localization in noisy reverberant environments

○Duc Thanh Chau (JAIST)・Junfeng Li (IOA-CAS)・Masato Akagi (JAIST)

11. MTF ベース残響音声回復法におけるエンベロープ・時間微細構造合成の検討

○森田翔太・鶴木祐史・赤木正人 (北陸先端大)

12. 経験的モード分解と変調スペクトルを用いた音声区間検出と雑音除去の同時処理

○金井康昭・森田翔太・鶴木祐史 (北陸先端大)

13. Sparsity-Aware Active Noise Control with the Adaptive Douglas-Rachford Splitting

○Masao Yamagishi・Isao Yamada (Tokyo Inst. of Tech.)

画像処理

14. カーネル法を用いたスパース表現に基づくセキュアな顔認識法

○古川昌和・村木雄一・藤吉正明・貴家仁志 (首都大東京)

15. An overlapped and sheared block-wise low-rank prior for texture characterization and reconstruction

○Shunsuke Ono・Isao Yamada (Tokyo Inst. of Tech.)

16. Detecting Reflection from Single Image Based on Nuclear Norm Minimization

○Katsuhiko Toyokawa・Shunsuke Ono・Masao Yamagishi・Isao Yamada (Tokyo Inst. of Tech.)

17. 可変間引き率重複変換のための最適な prefilter 設計

○小貫真希・田中雄一 (東京農工大)

◆日本音響学会；電気音響研究会，IEEE Signal Processing Society Japan Chapter 共催

☆EA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月14日(金) 機械振興会館 [未定] テーマ：一般

7月18日(木)，19日(金) 北海道医療大 [未定] テーマ：応用(電気)音響，音楽音響，聴覚，一般

8月9日(金)，10日(土) 東北大 [未定] テーマ：音響信号処理，聴覚，一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

戸上真人 (日立中研)

TEL [042] 323-1111, FAX [042] 327-7823

E-mail: masahito.togami.fe@hitachi.com

☆SIP 研究会

【問合先】

木下慶介 (NTT)

TEL [0774] 93-5322, FAX [0774] 93-5158

E-mail: kinoshita.k@lab.ntt.co.jp

☆SP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

6月 新潟大駅南キャンパス「ときめいと」[締切済] テーマ：音声/福祉/デジタル信号処理/聴覚一般 (日本音響学会；聴覚研究会共催)

【問合先】

河井 恒 (KDDI 研)

TEL [044] 278-7432, FAX [049] 278-7510

E-mail: hi-kawai@kddilabs.jp

★信頼性研究会 (R)

専門委員長 渡邊 均 副委員長 木村光宏

幹事 馬渡宏泰・田村信幸

幹事補佐 安里 彰・岡村寛之・マラット ザニケエフ

日時 5月17日(金) 10:15~17:45

会場 グリーンヒルホテル尾道 (尾道市東御所町9-1. JR尾道駅より徒歩2分. <http://www.shimanami-gho.co.jp/access/> TEL [0848] 24-0100 (会場) 岡村寛之)

議題 ソフトウェアの信頼性，信頼性一般

1. 2チームによる2段階ソフトウェアテストに基づくテストスキルレベルと信頼性の評価法に関する考察 ○秦 直道・井上智貴・木村光宏 (法政大)・藤原隆次 (SRATECH Lab.)

2. 2目的関数を考慮したネットワークにおける効率的なバレート解探索に関する考察 ○高橋奈津美 (首都大東京)・秋葉知昭 (千葉工大)・山本久志 (首都大東京)

3. 小修理を伴うブロック取替え問題に対するパラメトリックブートストラップ法の適用 ○齋藤靖洋・土肥 正 (広島大)・Won Young Yun (釜山大)

4. Toward Quantification of System Resiliency based on Markov Models ○Chao Luo・Jungang Guan・Hiroyuki Okamura・Tadashi Dohi (Hiroshima Univ.)

5. A Note on Sensitivity of Transient Solutions of Continuous-Time Markov Chains ○Junjun Zheng・Hiroyuki Okamura・Tadashi Dohi (Hiroshima Univ.)

6. Interval Estimation for Wavelet-based Nonparametric Software Reliability Model via Bootstrapping ○Xiao Xiao・Tadashi Dohi (Hiroshima Univ.)

7. On Change-Point Detection in Software Reliability Models and Its Application to Reliability Assessment ○Shinji Inoue・Shiho Hayashida・Shigeru Yamada (Tottori Univ.)

8. 組込みソフトウェアのインストーラの振舞いを考慮した信頼性評価のためのAIRアプリケーション ○田村慶信・齊下純也 (山口大)・山本詩織・山田 茂 (鳥取大)

9. ランダム期間における作業時刻を考慮した取替方策 ○水谷聡志 (愛知工大)・中川覃夫 (愛知工大)

10. 日本の気象観測値に基づく TOW 算出のための確率分布パラメータ ○外間正浩・澤田 孝 (NTT)

11. [招待講演] An Age-Based Maintenance of Connected-(r, s)-out-of-(m, n): F Systems ○Won Young Yun・Alfonso Julanto Endharta (Pusan National Univ.)

12. クラウドコンピューティングの最適サーバ数 ○中村正治 (金城学院大)・趙 旭峰・中川覃夫 (愛知工大)

13. 中継バッファ方式と同期レプリケーションを併用したサーバシステムの信頼性的考察 ○木村充位 (岐阜市女子短大)・今泉充啓 (愛知学泉大)・中川覃夫 (愛知工大)

14. 分散処理システムにおける最適管理方策 ○今泉充啓 (愛知学泉大)・木村充位 (岐阜市女子短大)

15. [フェロー記念講演] 累積ダメージ・モデルに対する予防保全政策に関する一考察 海生直人 (広島修道大)

◆IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催 日本信頼性学会協賛

◎研究会終了後，「信頼性の過去・現在・未来」をテーマとした懇談会を行いますので，是非御参加下さい。

☆R 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 6月14日(金) 機械振興会館〔締切済〕テーマ：電子・電気機器の信頼性、故障解析、劣化診断、信頼性一般
 7月26日(金) (未定)〔5月15日(水)〕テーマ：信頼性理論、通信ネットワークの信頼性、信頼性一般
 8月29日(木)、30日(金) サンリフレ函館 テーマ：光部品・電子デバイス実装技術・信頼性、及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

田村信幸(法政大)
 TEL [042] 387-6262, FAX [042] 387-6126
 E-mail : tamura@hosei.ac.jp

★ソフトウェア無線研究会 (SR)

専門委員長 眞田幸俊 副委員長 阪口 啓・藤井威生
 幹事 有吉正行・亀田 卓
 幹事補佐 田久 修・石津健太郎・矢野一人

日時 5月23日(木) 13:00~17:50
 24日(金) 9:00~17:20

会場 アステールプラザ(広島市中区加古町4-17. 広島電鉄市役所前駅から徒歩8分. <http://www.cf.city.hiroshima.jp/naka-cs/access/access.html> 高橋 賢(広島市大))

議題 コグニティブ無線ネットワーク、ヘテロジニアスネットワーク、クロスレイヤ無線技術及び一般

23日

1. ホワイトスペーススマートユーティリティネットワーク規格 IEEE802.15.4m 準拠 OFDM 無線通信機の開発
 ○原田博司・児島史秀・Chin Sean Sum・Liru Lu・Mingtuo Zhou (NICT)
2. 1ビットデジタルRF送信器によるアレーアンテナシステム
 ○前島 貴・戸谷一幸(住友電工)・亀田 卓・末松憲治(東北大)

パネルセッション「ホワイトスペースは本当に使えるのか?」

3. [パネル討論] 日本におけるTVホワイトスペース利用
 高田潤一(東工大)
4. [パネル討論] ホワイトスペースにおけるワイヤレス通信の実現可能性、課題
 原田博司(NICT)
5. 講演者調整中
6. [パネル討論] ホワイトスペース利用の夢と現実—実用化に向けた課題—
 梅比良正弘(茨城大)

7. パネル討論

招待講演

8. [招待講演] 広島戦後教育は何を求めたか? 行友公明
 24日午前

1. Hybrid Overlay/Underlay Resource Allocation for Cognitive Radio Networks in User Mobility Environment
 ○Hailan Peng・Takeo Fujii (Univ. of Electro-Comm.)
2. Study on Spatial Spectrum Sharing With Imperfect Channel State Information
 ○Samuli Tiiri・Kenta Umebayashi・Yasuo Suzuki (Tokyo Univ. of Agriculture and Tech.)
3. Geolocation-based Real Time In-band Spectrum Sensing for Cognitive Networks
 ○Bingxuan Zhao・Shigenobu Sasaki (Niigata Univ.)
4. Evaluation of Direct RF Under Sampling Reception with

Lower Sampling Frequency ○Daliso Banda・Osamu Wada・Tuan Thanh Ta・Suguru Kameda・Noriharu Suematsu・Tadashi Takagi・Kazuo Tsubouchi (Tohoku Univ.)

5. [特別講演] TV ホワイトスペースの利用：伝搬・干渉・共存メカニズム—理想と現実・将来展望— 高田潤一(東工大)
 24日午後(13:45~)

6. 端末数を考慮した異種システム間ハンドオーバーの検討
 小林和正・○黄 敏之・三宅裕士(東北大)・山形文啓(釧路高専)・小熊 博(富山高専)・飯塚 昇(ソフバクテレコム/東北大)・亀田 卓・末松憲治・高木 直・坪内和夫(東北大)
7. コグニティブ無線におけるセカンダリ間干渉を考慮した高密度周波数共用手法
 ○小杉臣史・稲毛 契・藤井威生(電通大)

8. Investigation of Interference Suppression Receivers using 3D Ray-Tracing for TV White Space Utilisation in Uplink
 ○Yasunori Futatsugi (NEC)・Mark Beach・Joe McGeehan (Univ. of Bristol)

9. 広帯域離散 OFDM 技術の研究
 ○高草木恵二・長谷川晃朗・柴田達雄(ATR)

10. ISDB-T 地上デジタルテレビ方式における緊急警報放送信号の検出方法
 高橋 賢(広島市大)

11. オーバーラップFFTを用いた無線LAN信号の検出におけるFFTフレームサイズの影響
 ○内田翔也・佐藤顕裕・稲森真美子・眞田幸俊(慶大)・Mohammad Ghavami (ロンドンサウスバンク大)

12. 固定歪成分存在下におけるオーバーラップFFTを用いた信号検出の実験的検討
 ○高井 涼・内田翔也・佐藤顕裕・稲森真美子・眞田幸俊(慶大)

13. 都市部における広域展開型マルチセンサシステムによる電波発射源の位置推定法の提案
 ○佐野健太郎・タン ザ カン(東工大)・阪口 啓(阪大)・荒木純道(東工大)・林 大介・山口敏浩・荒田慎太郎(光電製作所)・高田潤一(東工大)

◎23日研究会終了後、広島市交流文化会館(<https://h-bkk.jp/>)にて懇親会を予定していますので是非御参加下さい。

☆SR研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月17日(水)~19日(金) (予定) アクトシティ浜松〔5月6日(月)〕テーマ：無線分散ネットワーク、M2M (Machine-to-Machine), D2D (Device-to-Device), 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

矢野一人(ATR)
 TEL [0774] 95-1578, FAX [0774] 95-1508
 E-mail : yano@m.ieice.org

◎最新情報はSR研究会のホームページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/cs/sr/jpn/>

★ソフトウェアサイエンス研究会 (SS)

専門委員長 中島 震 副委員長 結縁祥治
幹事 鷺崎弘宜・高田喜朗 幹事補佐 小林隆志

日時 5月 9日(木) 14:30~17:45
10日(金) 9:00~12:15

会場 香川大学幸町キャンパス研究交流棟(高松市幸町1-1. JR
高松駅からバス。または、高松空港からバス。http://www.
kagawa-u.ac.jp/access/saiwai/ 高木智彦)

議題

9日 再利用とプログラミング

1. シーケンス図のパターンに基づくセキュリティ脅威の検出法
○阿部達也・林 晋平・佐伯元司(東工大)
2. Javaを対象とした部品合成による自動プログラミングシステム
○上之蘭和宏(青学大)・古宮誠一(芝浦工大)
3. スライスに基づく凝集度を用いたメソッド抽出支援手法の実験的評価
○山口佳久(阪大)・吉田則裕(奈良先端大)・
後藤 祥・井上克郎(阪大)

開発履歴と支援

4. 構文情報を付加したりポジトリによるメソッド抽出リファクタリングの検出
○藤原賢二・吉田則裕・
飯田 元(奈良先端大)
5. コーディングにおける細粒度作業履歴を用いた手戻り支援ツールの検討
○梅川晃一・井垣 宏(阪大)・
吉田則裕(奈良先端大)・井上克郎(阪大)
6. 修正の分類に基づいたコミット分割手法の提案
○楠 野明・堀田圭佑・肥後芳樹・楠本真二(阪大)

10日 コードクローンと解析

1. ソフトウェアリポジトリにおけるコードクローン作成者・利用者関係分析手法とその適用
○森脇匠哉・井垣 宏・
山中裕樹(阪大)・吉田則裕(奈良先端大)・井上克郎・
楠本真二(阪大)
2. 関数の呼び出し関係の展開を取り入れたコードクローン検出手法の提案
神谷年洋(公立はこだて未来大)
3. ソースコード中に含まれる繰り返しコードの進化に関する調査
○今里文香・佐々木 唯・肥後芳樹・楠本真二(阪大)

品質と測定

4. ソフトウェア品質の第三者評価を目的としたメトリクス基準値導出法の提案
○浦田大地・藤原雄介・平山力地・
濱崎一樹・吉田則裕・飯田 元(奈良先端大)
5. Effects of Organizational Change on Product Metrics and Defects
○Seiji Sato・Hironori Washizaki・
Yoshiaki Fukazawa(Waseda Univ.)・Sakae Inoue・
Hiroyuki Ono・Yoshiiku Hanai・
Mikihiko Yamamoto(Fujitsu)
6. 小規模プログラムにおけるコメント行数とフォールト潜在性の関係に関する調査
阿萬裕久(愛媛大)

☆SS研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月 25日(木), 26日(金) 北海道立道民活動センターか
でる2.7[未定] テーマ:一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

[問合先]

鷺崎弘宜(早大)

TEL & FAX [03] 5286-3272

E-mail: washizaki@waseda.jp

◎最新の情報はSIGSS研究会ホームページで御確認下さい。

http://www.washi.cs.waseda.ac.jp/sigss/

★リコンフィギャラブルシステム研究会 (RECONF)

専門委員長 安永守利 副委員長 京 昭倫・渡邊 実
幹事 渡邊誠也・山田 裕 幹事補佐 山口佳樹
5月 25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 弘中哲夫 副委員長 渡邊 実・本村真人
幹事 山田 裕・山口佳樹 幹事補佐 谷川一哉

日時 5月 20日(月) 14:00~18:00
21日(火) 9:00~17:00

会場 高知県立県民文化ホール(高知市本町4-3-30. 土佐電鉄
路面電車「はりまや橋」乗り換え(約20分) 県庁前下車, 徒
歩5分. http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~hall/access.
html TEL [088] 824-5321(会場) 密山幸男)

議題 リコンフィギャラブルシステム, 一般

20日 招待講演

1. [招待講演] 佐野健太郎(東北大)
FPGA 応用(1)
2. An FPGA Acceleration of a Phylogenetic Tree Reconstruction Algorithm
○Henry Block・
Tsutomu Maruyama(Univ. of Tsukuba)
3. 複数データストリームの帯域向上のための圧縮ハードウェアの実装と評価
○上野知洋・高野芳彰・佐野健太郎・
山本 悟(東北大)
4. FPGAを用いたショートリードマッピングの高速化
○曾我部陽光・丸山 勉(筑波大)

リコンフィギャラブルアーキテクチャ/デバイス(1)

5. 動的再構成プロセッサの高速化
○片桐 徹・
天野英晴(慶大)
6. ECC技術を用いたディペンダブル細粒度再構成型デバイスの提案
○吉田雄揮・高木健太郎・谷川一哉・
弘中哲夫(広島市大)・石黒 隆・下舞賢一(太陽誘電)
7. 120°C環境下での光再構成試験
○森脇 烈・
渡邊 実(静岡大)・荻原昭文(神戸高専)

21日午前 開発環境と性能評価

1. 高速シリアル通信を用いたFPGAベースASICエミュレータの設計と評価
○宇田貴重・久我守弘・尼崎太樹・
飯田全広・末吉敏則(熊本大)
2. 低消費電力アクセラレータCMAの演算終了時間における投機的データ収集機構の実装
○宇野理恵・小崎信明・
伊澤麻衣・津坂章仁・宮島敬明・天野英晴(慶大)
3. 高位合成系を用いた三次元ステンシル計算における性能モデルの検証
○土肥慶亮・中村芳大・柴田裕一郎・
小栗 清(長崎大)

リコンフィギャラブルアーキテクチャ/デバイス(2)

4. 故障耐性をもつFPGA-IPコアの提案
○尼崎太樹・
井上万輝・趙 謙・飯田全広・久我守弘・末吉敏則(熊本大)
5. Kintex-7 FPGA上のPhysical Unclonable Functionの特性評価
○堀 洋平・片下敏宏・古原和邦(産総研)
6. 信頼性可変混合粒度再構成可能アーキテクチャの評価
○郡浦宏明・Dawood Alnajjar(阪大)・

密山幸男 (高知工科大)・越智裕之・今川隆司 (京大)・

野田真一・若林一敏 (NEC)・橋本昌宜・尾上孝雄 (阪大)

21 日午後 画像/音声処理 (13:25~)

7. FPGA による動画像からのリアルタイム特徴抽出と異常動作検出
○浜崎 薫・土肥慶亮・柴田裕一郎・小栗 清 (長崎大)

8. FPGA を用いたオプティカルフローの高速計算
○田邊 優・丸山 勉 (筑波大)

9. FPGA を用いた音信号モーフィングとそのユーザインターフェースについて 落合 優・○山口佳樹・児玉祐悦 (筑波大)
FPGA 応用 (2)

10. TCA ノードにおけるランタイムバイナリアクセラレーションの検討と実装
○宮島敬明 (慶大)・デビッド トーマス (イバリア)・天野英晴 (慶大)

11. 格子法に基づく三次元流体計算におけるメモリバンド幅と演算回路のトレードオフについて
○藤浪健太・山口佳樹・児玉祐悦 (筑波大)

招待講演

12. [招待講演] 村岡道明 (高知大)

◎本プログラムは暫定版です。最新情報は RECONF 研究会の HP 等を御参照下さい。

◎懇親会

20 日 19:00 以降に懇親会を計画しています。

会費は一般 6,000 円, 学生 4,000 円です。参加希望の方は次のフォームにて幹事 (山口) 宛にお申し込み下さい。

[RECONF 懇親会申込フォーム]

題目: 2013 年 5 月 20 日 RECONF (研) 懇親会申込み

宛先: reconf201305@lila.cs.tsukuba.ac.jp

本文: ・名前: (一般・学生: 一方を削除), ・所属: , ・E-mail:

所属ごとにとまとめて御登録頂けましたら助かります。名前, 所属, Email は全員分登録願います。5 月 13 日 (月) 17:00 までにお申し込み下さい。

【問合先】

山口佳樹 (筑波大システム情報系情報工学域)

E-mail: reconf201305@lila.cs.tsukuba.ac.jp

★マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会(EMM)

専門委員長 馬場口 登 副委員長 西村 明・新見道治

幹事 青木直史・日置尋久 幹事補佐 鶴木祐史・川村正樹

5 月 25 日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐

専門委員長 越前 功 副委員長 新見道治・西村竜一

幹事 鶴木祐史・川村正樹 幹事補佐 栗林 稔・小嶋徹也

日時 5 月 24 日 (金) 13:00~19:30

25 日 (土) 9:00~12:00

会場 高知県教育会館高知城ホール (高知市丸ノ内 2-1-10. 電停 (高知城前) から徒歩 10 分. <http://www.kochijiyohall.jp/> TEL [088] 822-2035 (会場) 西村 明 (東京情報大))

議題 ポスターセッション, 一般

24 日 チュートリアル講演

1. [チュートリアル講演] 情報ハイディングの深化と価値向上—ハイディング応用の最前線— 越前 功 (NII)

ポスターセッション

2. 電子透かし統一基準に準拠した攻撃ツールの作成

第一種研究会開催案内

岩村恵市・○玉井裕太 (東京理科大)

3. 編集順序を保証するコンテンツ編集アプリケーションの開発

○小倉圭司・佐野達彦・稲村勝樹・岩村恵市 (東京理科大)

4. Wet Paper 符号に対する IST 法の導入とその問題点に関する検討
○山本隆博・川村正樹 (山口大)

5. Optimal Tracing Algorithm for Fingerprinting Code under Averaging Attack Minoru Kuribayashi (Kobe Univ.)

6. A Recommendation System for Anonymous Fingerprinting of Text Posted on Social Networks

○HoangQuoc Nguyen-Son (SOKENDAI)・

Hiroshi Yoshiura (Univ. of Electro-Comm.)・

Noboru Sonehara・Isao Echizen (NII)

7. Study on digital watermarking for speech signal based on LSFs modification
○Shengbei Wang・

Masashi Unokii (JAIST)

8. レビューに基づいた映画ポスターの色彩変更によるユーザの期待度と満足度への影響
八木祐太・○梶山朋子・

大内紀知 (青学大)

25 日 チュートリアル講演

1. [チュートリアル講演] 画像を対象とした情報ハイディング—現在・過去・未来— 新見道治 (九工大)

一般講演

2. 2D 画像へのデプスマップの埋め込み

○海野 浩 (神奈川工科大)・高嶋洋一 (NTT)・

上平員丈 (神奈川工科大)

3. 標準 QR コードと互換性を有するカラーコード

○菊池真徳・藤吉正明・貴家仁志 (首都大東京)

チュートリアル講演 (11:10~12:00)

4. [チュートリアル講演] EMM 研究における音響分野の基礎—ハイディングからエンリッチメントへ—

西村 明 (東京情報大)

◎24 日研究会終了後 (17:30~19:30), 懇親会を予定していますので御参加下さい。懇親会の中で 2012 年度 EMM 研究会優秀研究賞, EMM 研究会学生研究賞の贈呈とポスタ賞の発表を行います。

九州支部における開催

★VLSI 設計技術研究会 (VLD)

専門委員長 山田晃久 副委員長 池田 誠

幹事 竹中 崇・中武繁寿

5 月 25 日からの専門委員長, 副委員長, 幹事

専門委員長 池田 誠 副委員長 澁谷利行

幹事 中武繁寿・峯岸孝行

日時 5 月 16 日 (木) 9:00~16:50

会場 北九州国際会議場 11 会議室 (北九州市小倉北区浅野 3-9-30. <http://www.convention-a.jp/access/> TEL [093] 695-3729 高島康裕 (北九州市大))

議題 システム設計及び一般

物理設計

VLD-1. 幾何学計画法による性能駆動 SRAM マクロ合成手法

○張 宇・中武繁寿 (北九州市大)

VLD-2. 束データ方式による非同同期回路を対象としたシミュレーションとシーケンスペアによるフロアプラン

告 27

手法 飯塚 成・○齋藤 寛 (会津大)
VLD-3. 連結性を考慮した完全並走配線最長化手法
山崎浩治・○小平行秀 (会津大)

検証・デバック技術

4. プログラム可能な素子を利用したゲートレベル回路の自動デバック手法 ○大島浩資・城 怜史・松本剛史 (東大)・藤田昌宏 (東大/CREST)
5. プログラム可能な素子を利用した大規模回路の自動修復手法 ○城 怜史・松本剛史 (東大)・藤田昌宏 (東大/CREST)
6. マイクロアーキテクチャのCTL演繹体系を用いた検証 ○山田雄二・富岡涼太・高橋隆一 (広島市大)

午後 招待講演

VLD-7. [招待講演] Coding the objects in place and route CAD
Yoji Kajitani (JAIST)

設計手法

- VLD-8. 薄膜 BOX-SOI を用いた超低電圧向けレベルシフト回路の検討 ○中村昌平・宇佐美公良 (芝浦工大)
 - VLD-9. セレクタ論理を利用した線形補間演算器設計と評価 ○塩 雅史・柳澤政生・戸川 望 (早大)
 - VLD-10. ループパイプライン化における開始間隔短縮のためのデータ依存緩和技術 ○日下部真吾・瀬戸謙修 (東京都市大)
- #### システム設計技術
- VLD-11. スキャンシグネチャを用いたストリーム暗号 Trivium へのスキャンベース攻撃手法 ○藤代美佳・柳澤政生・戸川 望 (早大)
 - VLD-12. RDR アーキテクチャを対象とした時間及び面積オーバーヘッドのないフォールトセキュア高位合成手法 ○川村一志・柳澤政生・戸川 望 (早大)
 - VLD-13. コヒーレントキャッシュを用いた SoC のシステム設計技法 ○吉田浩章・伴野 充 (FLA)・森高晃大・中島康彦 (奈良先端大)

◆情報処理学会；システム LSI 設計技術研究会連催

【問合先】

竹中 崇 (NEC)
TEL [044] 431-7194
E-mail: takenaka@aj.jp.nec.com
◎VLD 研究会ホームページも御覧下さい。
<http://www.ieice.org/~vld/>

★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 宇野 亨 副委員長 菊間信良
幹事 石井 望・高橋 徹 幹事補佐 道下尚文
5月25日からの専門委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補佐
専門委員長 新井宏之 副委員長 長 敬三
幹事 高橋 徹・榊原久二男 幹事補佐 道下尚文

日時 5月16日(木) 13:00~17:40
17日(金) 9:25~16:30

会場 別府国際コンベンションセンタービーコンプラザ小会議室
31 (別府市山の手町 12-1. JR 別府駅から徒歩 15 分. <http://www.b-conplaza.jp/access/index.htm> TEL [0977] 26-7111
(会場) 楠 敦志 (大分大))

議題

16日

1. An Example of Antenna Design Using Multi-level Particle

- Swarm Optimization ○Tuan Hung Nguyen・Hisashi Morishita (National Defense Academy)・Yoshio Koyanagi (Panasonic Mobile Comm.)・Kazuhiro Izui・Shinji Nishiwaki (Kyoto Univ.)
2. L 形プローブを用いた円偏波円形導波管アンテナとその広帯域化 ○福迫 武・野口直也・山浦真悟 (熊本大)
 3. 折り返し逆 L 形アンテナの最大比帯域幅 ○野口啓介・別段信一・牧野 滋・廣田哲夫・伊東健治 (金沢工大)
 4. FDTD 法におけるインピーダンス境界を用いた簡易型吸収境界条件について ○有馬卓司・宇野 亨 (東京農工大)
 5. OpenACC を用いた GPU による各種 FDTD 法の高速度評価 ○園田 潤・小関勇気 (仙台高専)・佐藤源之 (東北大)
 6. 広帯域の負の透磁率構造の開発 ○青木雄太・榊山祐次郎・宇野 亨・有馬卓司 (東京農工大)
 7. [チュートリアル講演] 直交励振モードを活用した機能アンテナ ○西山英輔・豊田一彦・牛嶋 優・Md. Azad Hossain (佐賀大)
 8. [IEEE AP-S Fukuoka Chapter 特別講演] 安浦のモード整合法—計算電磁気学の一つの規範— (口頭発表) 奥野洋一 (熊本大)

17日午前

1. 無線 LAN ベースの MIMO 伝送を利用した干渉信号検出法 ○川原理彰・西森健太郎・堅岡良知 (新潟大)・平栗健史 (日本工大)・牧野秀夫 (新潟大)
2. Broadband Block Diagonalization Method for Multiuser MIMO System—A Time-Domain Approach— ○Tetsuki Taniguchi・Yoshio Karasawa (Univ. of Electro-Comm.)
3. PI アダプティブアレーにおける信号環境と拘束ベクトル—到来波環境及び素子特性と拘束ベクトルとの関係— ○藤元美俊 (福井大)・堀 智・田端隆伸 (小島大)・堀 俊和 (福井大)
4. カテーテルの位置推定法の検討—第 2 報— ○河崎浩之・田口光雄 (長崎大)
5. 列車内無線 LAN の伝搬特性 ○須郷剛裕・林 昌孝・前山利幸 (拓殖大)・今田諭志・鈴木信雄・渡辺伸吾 (KDDI 研)

17日午後

6. L プローブにより給電される円形 MSA を素子とする直線偏波ラジアルライン MSA アレーアンテナの設計法 ○木村雄樹・齊藤作義・木村雄一 (埼玉大)
7. 12×16 素子二層構造並列給電導波管スロットアレーアンテナ ○伊藤智史・戸村 崇・張 ビョウ・広川二郎・安藤 真 (東工大)
8. 64x64- and 32x32-slot array antennas using double-layer hollow-waveguide corporate-feed in the 120 GHz band ○Dongjin Kim・Jiro Hirokawa・Makoto Ando (Tokyo Inst. of Tech.)・Jun Takeuchi・Akihiko Hirata (NTT)
9. 深いバックローブチルトを有する基地局アンテナ ○山口 良・太田喜元・表 英毅・杉田祐祐・藤井輝也 (ソフトバンクモバイル)
10. 干渉低減のために方向性結合器を付加した 2 重無線電力伝送 ○西本研悟 (三菱電機)・人見健三郎 (三菱電機エンジニアリング)・大島 毅・深沢 徹・宮下裕章 (三菱電機)・高橋良幸・阿久澤好幸 (三菱電機エンジニアリング)

11. 大規模集積化に向けた縦積みディファレンシャルモードレクテナの構成パラメータの検討 ○松永 樹・西山英輔・豊田一彦(佐賀大)

12. シート状導波路を用いた走行中給電システムの高効率化 米山直樹・○新井宏之(横浜国大)

13. 2個の受信アンテナを用いた無線電力伝送システム—第2報— ○峰 一平・田口光雄(長崎大)

◆IEEE AP-S Fukuoka Chapter 共催

◎16日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆A・P研究会今後の予定 []内発表申込締切日

5月31日(金) 松山市総合コミュニティセンター〔締切済〕
テーマ：無線設備・アンテナシステム測定技術

6月13日(木) 機械振興会館〔締切済〕テーマ：電波伝搬、一般

7月25日(木), 26日(金) サン・リフレ函館〔5月10日(金)〕
テーマ：衛星通信, 一般

8月29日(木), 30日(金) ヴェルクよこすか〔6月10日(月)〕
テーマ：メタマテリアル, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

高橋 徹(三菱電機)

E-mail: ap_ac-secretary@mail.ieice.org

★知的環境とセンサネットワーク研究会 (ASN)

専門委員長 大槻知明 副委員長 渡辺 尚・張 兵

幹事 山本高至・猿渡俊介

幹事補佐 関屋大雄・門田和也・山本 淳

日時 5月16日(木) 9:25~18:20

17日(金) 9:00~16:00

会場 熊本大学(熊本市中央区黒髪2-39-1. <http://www.kumamoto-u.ac.jp/campusjohou/access>)

議題 フレッシュマンセッション及び一般

16日午前 ASN1 理論(9:25~10:40)

ASN-1. 無線分散ネットワークのトラヒック理論的アプローチ—シングルユーザ/マルチユーザ MIMO を用いた無線ネットワークの性能解析— ○岡田 啓・楠本博則・小林健太郎・片山正昭(名大)

ASN-2. 直線状マルチホップネットワークに生じるダイナミクスと解析 ○関屋大雄・眞田耕輔・史 進・阪田史郎(千葉大)

ASN-3. 演算子組込み方式によるストリーム分析システム 川島英之(筑波大)

ASN2 実験(10:50~12:30)

ASN-4. 人物の姿勢情報を用いた加速度・角速度センサの所持位置と向きの推定 進藤康孝・○鏡 慎吾・橋本浩一(東北大)

ASN-5. PLAS:アレーセンサを用いたパッシブ位置推定 ○洪 志勲・大槻知明(慶大)

ASN-6. 漂流ブイと無線センサネットワークを用いた赤潮モニタリングシステムの開発 ○芝田 浩・三宅央朗・浜崎 淳・徳田太郎(広島商船高専)・松山幸彦(西海水研)

ASN-7. 無線LANにおけるオーバヒアリングを用いた冗長トラヒック削減方式 横瀬広明・新田幸司・○大坐島 智・

加藤聰彦(電通大)

16日午後 基調講演1(13:30~14:05)

ASN-8. [基調講演] アドホックネットワークから知的環境へ 松井 進(阪工大)

ASN3 一般(14:20~16:25)

ASN-9. AISを用いた複合イベント処理の効率化 ○西村直孝・川島英之・北川博之(筑波大)

ASN-10. 可視光PWM通信を用いた太陽電池監視システムの開発 ○飯島洋祐・鹿野文久(小山高専)

ASN-11. Hybrid Negative Surveys:プライバシ保護に配慮したユーザの地理的分布推計手法 ○皆川昇子・中澤 仁・徳田英幸(慶大)

ASN-12. T-Ring:センサデータの時間的特殊性に着目した多次元データ分散管理システム ○寺山淳基・中澤 仁・徳田英幸(慶大)

ASN-13. Virtual Networked Sensing とその応用 ○中澤 仁・米澤拓郎・伊藤友隆・徳田英幸(慶大)

ポスターセッション(16:40~18:20)

ASN-14. [ポスター講演] ユーザ参加型環境センシングにおける状態依存型プライバシ保護手法 ○青木俊介・岩井将行・瀬崎 薫(東大)

ASN-15. [ポスター講演] 優先制御を用いた無線LANと無線センサネットワークの共存方式 ○井上文博・守倉正博・山本高至(京大)・布 房夫・杉山隆利(NTT)

ASN-16. [ポスター講演] マイクロ波電力伝送を用いて駆動する単一无線LAN 端末の給電・通信スケジューリングの実験 ○山下翔太・井元則克・市原卓哉・山本高至・守倉正博・篠原真毅(京大)

ASN-17. [ポスター講演] 高信頼マルチキャスト方式を用いた多数無線センサネットワークの遅延特性改善 ○西岡 良・小川浩平・守倉正博・山本高至(京大)

ASN-18. [ポスター講演] 周波数割当を用いた多次元情報収集手法 ○坂井駿太・遠藤朋実・藤井成生(電通大)

ASN-19. [ポスター講演] 大規模メッシュネットワークにおける複数の巡回エージェントを連携させた端末接続情報管理方式 ○山野辺史久・ドンメロ エマニユエル・井上孝重・塩川茂樹(神奈川工科大)

ASN-20. [ポスター講演] カメラによるカラー手袋を装着した手指形状認識手法 ○菅谷隆浩・屋宜宣孝・加藤正樹・鈴木孝幸・西村広光・田中 博(神奈川工科大)

ASN-21. [ポスター講演] 無線ネットワークにおける圧縮センシングを用いたリンク品質情報共有手法による構築経路の性能評価 ○須崎修平・岡田 啓・小林健太郎・片山正昭(名大)

ASN-22. [ポスター講演] スマートフォンを用いたデッドレコニングにおける照度センサを用いた推定位置補正 ○村上洋平・大槻知明(慶大)

ASN-23. [ポスター講演] 自律分散クラスタリングとP2P オーバレイネットワークに基づくMANETの実験的評価 ○中原翔馬・大田知行・角田良明(広島市大)

ASN-24. [ポスター講演] Bluetooth MANET を用いた P2P オーバレイネットワークとクラスタリングの実装 ○菊地香里・大田知行・角田良明(広島市大)

ASN-25. [ポスター講演] 対人関係におけるつながり感予測モデルの検証 ○山口 啓(豊橋技科大)・吉田 学・今田美幸・金 順暎・松尾真人(NTT)・上原秀幸(豊橋技科大)

- ASN-26. [ポスター講演] 気球を用いたアドホックネットワーク“スカイメッシュ”におけるチャンネル割り当て手法の性能評価 ○森 敦史・岡田 啓・小林健太郎・片山正昭(名大)・間瀬憲一(新潟大)
- ASN-27. [ポスター講演] 水耕栽培のための光ファイバセンサネットワーク ○菅野光博・久米川宣一・渡辺一弘・篠宮紀彦(創価大)
- ASN-28. [ポスター講演] 生活支援を目的としたセンサネットワークとロボットの統合管理システムの構築 ○市川純子・近 哲也・渡辺一弘・篠宮紀彦(創価大)
- ASN-29. [ポスター講演] 無線 LAN における NAV 期間と Backoff の制御による端末側からの過剰トラフィック抑制手法 ○速水竜之介・大坐島 智・加藤聰彦(電通大)
- ASN-30. [ポスター講演] 災害映像モニタリングシステムにおける動画送信レート制御法の提案 ○松田裕介・間瀬憲一(新潟大)
- ASN-31. [ポスター講演] 固定端末のセンサデータ収集方式における輻輳制御の最適パラメータに関する検討 ○沖村光一郎・間瀬憲一(新潟大)
- ASN-32. [ポスター講演] 確率的状態遷移モデルを用いた家電の消費電力変動予測 ○黒瀬祐平・川嶋宏彰・加藤丈和・松山隆司(京大)
- ASN-33. [ポスター講演] 車々間通信による渋滞緩和制御における異種 RF 併用の効果 ○稲船喬志・森野博章(芝浦工大)
- ASN-34. [ポスター講演] 商品カテゴリコードと EPCIS の連携システム ○横石雄大・三次 仁・中村 修・村井 純(慶大)
- ASN-35. [ポスター講演] 異種アンテナ混在アドホックネットワークにおける Head-of-Line ブロッキング問題を解決するためのメディアアクセス制御手法 ○山川太一・宮路祐一・上原秀幸(豊橋技科大)
36. [ポスター講演] 動画像と加速度データを用いた行動類似度評価システム MimicMotion 右田尚人・服部祐一・田中翔太・井上創造(九工大)
37. [ポスター講演] 入院病棟における患者センサと環境センサからの看護師の入室の認識 林田興祐・戸田隆道・井上創造(九工大)・野原康伸・中島直樹(九大)
38. [ポスター講演] ベッドセンサによる生体信号の分離手法に向けて 廣中 遼・西田 健・井上創造(九工大)
39. [ポスター講演] Synchrometer: ライフログを利用した他者との生活スタイルのシンクロ度合判定手法 勝治宏基・米澤拓郎・中澤 仁・徳田英幸(慶大)
40. [ポスター講演] 動的かつ不定形な対象に投影するプロジェクトマッピング手法の提案 興野悠太郎・小川正幹・米澤拓郎・中澤 仁・徳田英幸(慶大)
- 16 日午前 (UBI) インタラクティブシステム (10:50~12:30)
41. Cooking Attendant: 重量と ID を用いたインタラクティブレシピシステム 佐藤彩夏(東大)・暦本純一(東大/ソニ-コンピュータイニシエツクス研)
42. conteXinger: 日常のコンテキストを取り込み歌う VOCAL-OID 西村綾乃・椎尾一郎(お茶の水女子大)
43. ラッキーなう: 時間と場所情報に注目した公共ディスプレイとのインタラクションモデルとその応用 小川正幹(慶大)・マルコ ユルム(オカル大)・米澤拓郎・中澤 仁・徳田英幸(慶大)
44. Vasque: 覗き込む動作を利用しプライバシーに配慮したビデオコミュニケーションシステム 辻田 眸・川内見作(東大)・暦本純一(東大/ソニ-コンピュータイニシエツクス研)
- 16 日午後 (UBI) センシング基盤・応用 (14:20~16:25)
45. 端末及びユーザ特性を考慮する参加型環境センシングのデータ校正手法 青木俊介・劉 広大・岩井将行・瀬崎 薫(東大)
46. ライフログセンシングのための分散ストレージシステム 名生貴昭・安田充志・安積卓也・西尾信彦(立命館大)
47. マルチドメイン行動情報の効率的な取り扱いに向けて 土井裕介・大内一成(東芝)
48. 「情報サブプリメント」を実現するための取り組みについて 寺田 努(神戸大)
49. チームの動機づけにおける個人の貢献度の可視化に関する一検討 西山勇毅・米澤拓郎・中澤 仁・徳田英幸(慶大)
- 17 日午前 ASN4 一般 (9:00~10:15)
- ASN-1. Ad-Hoc ネットワークとセンサーネットワークを用いた安全・安心な街作りについて ○不破 泰・鈴木彦文・D.K. Asano(信州大)・小松 満・竹下祐二(岡山大)・澤田和明・二川雅登(豊橋技科大)
- ASN-2. 無線マルチホップネットワークにおいてフレーム衝突と難聴問題を軽減する指向性 MAC プロトコル ○岡澤徹郎・馬 ジン・満足 亮・茂木 翔・関屋大雄(千葉大)
- ASN-3. ワイヤレスセンサネットワークにおけるマルチドメイン環境を考慮したネットワークアクセス認証の実装と評価 ○関口貴久・金子晋文・寺岡文男(慶大)
- ASN5 シミュレーション・一般 (10:25~11:40)
- ASN-4. 数万端末競合環境を実現する ENTERPRICE M2M ネットワークの研究 ○山本高至・守倉正博(京大)
- ASN-5. 無線物理量への情報変換を用いた無線センサネットワーク ○藤井成生・太田真衣・遠藤朋実(電通大)
- ASN-6. 無線メッシュネットワークにおけるネットワーク・経路次元符号化を用いた情報広告手法の特性評価 ○菅尾悠貴・岡田 啓・小林健太郎・片山正昭(名大)
- 17 日午後 基調講演 2 (13:30~14:05)
- ASN-7. [基調講演] ASN 社会の実現にむけて R & D ですべきこと 佐藤良明(NTT)
- ASN6 シミュレーション (14:20~16:00)
- ASN-8. 無線センサネットワークにおける複数リングによる情報共有手法の提案と評価 田辺智行・○若宮直紀・村田正幸(阪大)
- ASN-9. 多数の基地局・中継局連携による無線 LAN 技術の課題 ○猿渡俊介・渡辺 尚(静岡大)
- ASN-10. 局所無線同報サービスに向けた無線資源空間再利用に関する一検討 ○門 洋一・平石邦彦・リム アズマンオスマン・丹 康雄(北陸先端大)
- ASN-11. シミュレータによる災害検知のための発電ノードを最低限にする広域・長期 WSN 運用手法 ○岩井将行(東京電機大)・汪 少哲・瀬崎 薫(東大)
- 17 日午前 (UBI) 位置情報・行動認識 (10:25~12:05)
12. 歩行者アッドレコニングによる屋内位置推定モデル更新手法の提案 谷内大祐・前川卓也(阪大)
13. 広場通過を考慮した屋内ナビゲーションの手法検討 ファン ズイ フォック・宮島智大・枇榔晃裕・安積卓也・西尾信彦(立命館大)
14. 屋内細粒度行動認識のための Wi-Fi 標本の自動管理機構

藤井陽光・坂口拓嗣・安積卓也・西尾信彦（立命館大）

15. 照度センサを用いた住環境行動パターンの抽出の基礎検討
有賀玲子・浦 哲也・定方 徹・小林 稔（NTT）
◎17日13：10～13：30に表彰式を行います。

◆情報処理学会；ユビキタスコンピューティングシステム研究会
連催

☆ASN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月17日（水）～19日（金）アクトシティ浜松〔5月6日（月）〕
テーマ：無線分散ネットワーク，M2M（Machine-to-Machine），D2D（Device-to-Device），一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

関屋大雄（千葉大），門田和也（日立），山本 淳（NTT）

E-mail：asn-sec@mail.ieice.org

★光ファイバ応用技術研究会（OFT）

専門委員長 富田 茂

幹事 伊藤文彦・椎野雅人 幹事補佐 山田裕介・今村勝徳

5月25日からの専門委員長，幹事，幹事補佐

専門委員長 富田 茂

幹事 泉田 史・大塚健一郎 幹事補佐 山田裕介・大村真樹

日時 5月23日（木）14：00～17：35

24日（金）9：30～11：10

会場 まりんぴあ宮古（宮古島市平良下里108-11. 宮古空港から
タクシー15分. TEL〔0980〕72-9566）

議題

23日

- 試験光アポダイゼーションと非線形効果抑圧法を用いた200
波高密度多重FDM-OTDR ○飯田裕之・戸毛邦弘・
伊藤文彦（NTT）
- 複屈折ファイバ・ファブリ・ペロ・エタロンを用いたコヒー
レント光源に対する可変偏波依存損失補償 ○後藤将人・
立田光廣（千葉大）
- ピスマスペース高調波モード同期ファイバレーザによる光周
波数コムブロック生成 ○福地 裕・平田孝志（東京理科大）
- マッハツェンダ変調器を用いた12.5GHz繰り返し1μm帯ピ
コ秒パルス列の生成とその応用 ○松本 稜・
西 竜司（青学大）・諸橋 功・山本直克・坂本高秀・
菅野敦史・川西哲也・関根徳彦・寶迫 巖（NICT）・
外林秀之（青学大/NICT）
- オールプラスチックフェルールの開発
○大村真樹（住友電工）・石田英敏・
前嶋宏芳（光ネットワーク技研）・部 龍彦（日本通信電材）・
大塚健一郎・佐野知巳（住友電工）
- 間欠接着型光ファイバテープを実装した超細径高密度光ケー
ブルの検討 ○山田裕介・角田大祐・中根久彰・浜口真弥・
柴田征彦・清末周助・白木和之（NTT）
- 既存遠隔収容装置への光配線追加方法の検討
佐藤教之（NTT）
- 10G-EPON 高度化のためのハイブリッドラマン増幅の検討
加島宜雄（芝浦工大）

24日

- 〔招待講演〕 OFC/NFOEC 2013 報告—光ファイバ関連—

第一種研究会開催案内

土田幸寛（古河電工）

- 広帯域空気コアフォトニックバンドギャップファイバの設計
○松原一樹・千葉将貴・齊藤晋聖・小柴正則（北大）・
松尾昌一郎（フジラ）

- 大コア光ファイバを用いたパワー伝送技術についての検討

○馬 麟・辻川恭三・半澤信智・山本文彦（NTT）

- 200μm コートファイバの耐マイクロバンド特性向上

○鯉江 彰・佐島由恵・大里 健・村田 暁・
岡田直樹（フジラ）

◎23日研究会終了後，懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆OFT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月22日（木），23日（金）小樽市民会館〔6月7日（金）〕

テーマ：光ファイバケーブル・コード，通信用光ファイバ，
光ファイバ線路構成部品，光線路保守監視・試験技術，接
続・配線技術，光ファイバ測定技術，光コネクタ，ホーリー
ファイバ，機能性光ファイバ，光信号処理，光ファイバ型デ
バイス，光測定器，レーザ加工，ハイパワーレーザ光輸送，
光給電，一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

今村勝徳（古河電工）

TEL〔0436〕42-1728，FAX〔0436〕42-9340

E-mail：imamura.katsunori@furukawa.co.jp

◎OFT 研究会では，2011年1月より「奨励賞」，「学生奨励賞」
を新設しました。一般講演の中から選定しますので，積極的な
御投稿をお願い致します。選奨規定については，OFT ホーム
ページを参照下さい。

<http://www.ieice.org/cs/oft/jpn/>

★モバイルネットワークとアプリケーション研究会(MoNA)

専門委員長 井上真杉 副委員長 森野博章

幹事 北形 元・金子晋文

幹事補佐 小林基成・上坂大輔・大和田泰伯

日時 5月23日（木）9：30～18：25

24日（金）9：20～18：30

会場 石垣市民会館中ホール（石垣市浜崎町1-1-2. <http://www.city.ishigaki.okinawa.jp/400000/410000/410400/city-hall/siori-new/botom.pdf> TEL〔0980〕82-1515, 1516）

議題 モバイルアプリケーション，ユビキタスサービス，モバイル分散クラウド，モバイルアドホックネットワーク，センサネットワーク，モバイルネットワーク及び一般

23日午前 MoNA-1

MoNA-1. 多次元データの変化検知を目的とした Compressive Sensing を用いた制御方式の復元率に関する検討

古澤宏樹（電通大）

MoNA-2. ガウス過程回帰モデルを用いたスペクトル基底に基づく多重音解析方式の提案

鍵本哲宏（電通大）

MoNA-2（奨励講演）

MoNA-3. 〔奨励講演〕 機械学習を用いた脳波による不快音検出

○今若卓也・上岡英史（芝浦工大）

MoNA-4. Measurement Results of 802.11a WiFi Signal Attenuation Under Different Rain Conditions

○Jane Louie Fresco Zamora・Shigeru Kashihara・

Suguru Yamaguchi (NAIST)

MoNA-5. [奨励講演] SPDY アクセラレータによる高速 Web
アクセス手法の評価 ○峯木 巖・渋谷恵美・上村郷志・
長谷川輝之 (KDDI 研)

23 日午後 DPS-1 (社会・応用システム) (13:05~)

6. CalDAV を軸としたカレンダーの共有を支援するシステムの提
案 ○村田裕哉・乃村能成・谷口秀夫 (岡山大)
7. 地域コミュニティ活動と連携した被災情報提供システムの開
発 ○黒島理礼 (山口大)・吉木大司・森 信彰・
松本佳昭 (山口県産技センター)・亀川 誠・
藤川昌浩 (デジタル・マスター)・松野浩嗣 (山口大)
8. プログラム演習における複雑度を用いたトークンベースの不
正コピー検出手法 ○岩本舞熊・小島俊輔 (熊本高専)・
中嶋卓雄 (東海大)
9. ICPV (Information Control Platform in Vehicle) システムの
開発とその考察 ○魯 文心・井手口哲夫・奥田隆史・
田 学軍 (愛知県立大)

MBL-1 (センサネットワーク)

10. 太陽エネルギーを利用した無線センサネットワークにおける中
継器導入による低発電量下でのノード稼働率の向上
○石谷直也・小林健太郎・岡田 啓・片山正昭 (名大)
11. 農業疎密無線センサネットワークにおける Data MULE 型
データ通信を利用するハイブリッドエナジーハーベスティング
センサノードの開発と評価 ○中野達彦・中西恒夫 (九大)・
田頭茂明 (関西大)・荒川 豊 (奈良先端大)・
福田 晃 (九大)
12. ユーザ参加型センシングにおけるゲーミフィケーションに基
づくインセンティブ機構の提案 ○上山芳隆・玉井森彦・
安本慶一 (奈良先端大)
13. 国際会議 PerCom2013 参加報告 水本旭洋 (奈良先端大)

DPS-2 (P2P とセンシング)

14. 隣人ピア受信状況を考慮したモバイル端末間協調ライブスト
リーミング ○畠山 翔・酒田良樹・高山和幸・遠藤 伶・
重野 寛 (慶大)
15. 構造化 P2P ネットワークにおけるコンテンツの人気度を考
慮したショートカットリンクの生成方法とその評価
○成茂優季・安倍広多・石橋勇人・松浦敏雄 (阪市大)
16. 居室行動のセンシングに基づく独居高齢者を対象とした見守
りシステムの提案 ○津田麻衣・玉井森彦・
安本慶一 (奈良先端大)
17. 構造物モニタリング用センサネットワークの効率的な運用手
法 ○勝島悠太 (電通大)・羽田明生 (鉄道総研)・
土屋隆司 (電通大/鉄道総研)

24 日午前 MoNA-3

- MoNA-1. アプリケーションログとオントロジーを用いた気の
利くアプリケーション起動法 ○羽角太地・
上岡英史 (芝浦工大)
- MoNA-2. ONE シミュレータと Scenargie の DTN のための性
能比較 ○金田 茂 (Space-Time Engineering/阪大)・
前野 誉 (スペースタイムエンジニアリング)・高井峰生 (UCLA/阪大)・
樫原 茂 (奈良先端大)・山口弘純・東野輝夫 (阪大)
- MoNA-3. re-GPS: Repositioning with Move-out Estimation in
Minimization of Drive Tests ○Haruki Izumikawa・
Keizo Sugiyama (KDDI Labs.)

MBL-2 (通信, 参加報告)

4. OFDM 協調通信を用いるマルチホップマルチキャスト方式

○内藤克浩・森 香津夫・小林英雄 (三重大)

5. Android プラットフォーム上でのネットワークコーディング
を用いたアドホックブロードキャスト 林 直秀 (立命館大)
 6. 照度情報を用いたセンサネットワークデバイスのグルーピン
グ手法の開発 ○間部文彰・内藤克浩・森 香津夫・
小林英雄 (三重大)
 - 24 日午後 DPS-3 (無線ネットワークとデバイス) (13:10~)
 7. 無線リンクの高負荷状態におけるアプリケーションレベル通
信遅延低減方式の評価実験
○西川由明・大芝 崇・金友大・中島一彰 (NEC)
 8. OLSR における迂回路構築法に関する一検討 ○湯川陽平・
吉廣卓哉 (和歌山大)
 9. 無線アドホック通信の並行性を向上する片方向 FEC 通信手
法 ○中川雄太・松垣博章 (東京電機大)
 10. 電磁誘導入力デバイスの接近検出による Web ブラウジング
の応答時間短縮方式 ○川本亜紀子・中島一彰 (NEC)
- MBL-3 (移動通信, 位置情報)
11. ストリーミングアプリケーションのトラフィック特性と周期
的切断が与える影響の解析 ○寺田雅徳・金子晋文・
寺岡文男 (慶大)
 12. NtMobile を拡張したネットワークモビリティの提案と実装
○廣瀬達也・鈴木秀和 (名城大)・内藤克浩 (三重大)・
渡邊 晃 (名城大)
 13. Place API の統合 ○荒川 豊 (奈良先端大)・
Scheffler Tatjana (ボツダム大)・Baumann Stephan・
Dengel Andreas (ドイツ人工知能研究センター)
 14. 要求頻度の変化に対応する車々間通信による適応的位置依存
情報配信手法の提案 ○中村暢宏・新美雄也・
石原 進 (静岡大)

MoNA-4

- MoNA-15. IEEE802.15.4 等を FOMA/LTE 網に効率的に収容
し且つ十分なセキュリティを提供する制御方式
興水 敬 (NTT ドコモ)
- MoNA-16. モバイルコアネットワークにおける通信制御コスト
削減のための端末集約手法 ○櫻井 駿・長谷川 剛・
若宮直紀 (阪大)・岩井孝法 (NEC)
- MoNA-17. 3G モバイル回線のパケット転送遅延モデル
川口銀河 (NTT)
- MoNA-18. モバイルルータのための IEEE802.16m の省電力化
の検討 小川将克 (上智大)

◆情報処理学会; マルチメディア通信と分散処理研究会, モバイ
ルコンピューティングとユビキタス通信研究会連催

◎23 日 10:30~10:40 に MoNA 研究会の表彰式を行います。
また, 23 日研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参
加下さい。

【問合せ先】

MoNA 研究会幹事団

E-mail: momuc-sec-contact@mail.ieice.org

★非線形問題研究会 (NLP)

専門委員長 上田哲史 副委員長 池口 徹
幹事 高坂拓司・神野健哉 幹事補佐 坪根 正・木村貴幸

日時 5月27日(月), 28日(火)

会場 福岡大学中央図書館多目的ホール

議題 一般

◎開催プログラムはNLP研究会のHP等を御参照下さい。

★ヒューマンコミュニケーション基礎研究会 (HCS)

専門委員長 渡辺昌洋 副委員長 伊藤京子・松田昌史
幹事 井上智雄・渡邊伸行
幹事補佐 林 勇吾・小森政嗣・田中貴紘

★ヒューマン情報処理研究会 (HIP)

専門委員長 金子寛彦 副委員長 安藤英由樹・石井雅博
幹事 梅村浩之・洪井 進
幹事補佐 和田有史・清河幸子・齋藤晴美

日時 5月30日(木) 10:00~17:15

31日(金) 9:30~16:40

会場 沖縄産業支援センター(那覇市字小禄1831-1. <http://www.okinawa-sangyoushien.co.jp/>)

議題 コミュニケーション支援及びヒューマン情報処理一般

30日午前 HCS(1) (10:00~11:40)

HCS-1. 経営日本語教育における「実践知」獲得モデルの概念
沢 恒雄(遊工研)

HCS-2. 単純な表情描画による感情表出が人の利他行動に与える
影響 ○竹内 力・寺田和憲・伊藤 昭(岐阜大)

HCS-3. 映画ポスターとレビュー色彩化の比較による作品の印象
とユーザ評価の関係性 八木祐太・○梶山朋子・
大内紀知(青学大)・越前 功(NII)

HCS-4. アシスタントエージェントがSNS上の投稿内容に及ぼ
す効果 ○大沼美由紀・木村 敦・佐々木寛紀・
武川直樹(東京電機大)

30日午後 HCS(2) (13:10~15:15)

HCS-5. 協調学習者間の話者交替と脳波変動の時空間アータマイ
ニング ○大山勝徳・渡邊博之・金子正人・武内 惇(日大)

HCS-6. 行為駆動型構図決定ルール生成のための予備的研究—シ
ネマ技法の工学的応用を目指して—
○小野寺祐貴(芝浦工大)・島崎太一(野村総研)・
杉本 徹・榎津秀次(芝浦工大)

HCS-7. “あくび伝染”時の脳活動の時間的遷移
○久保賢太(名大/JST)・岡ノ谷一夫(東大/JST)・
川合伸幸(名大/JST)

HCS-8. 歩行において他者の頭部方向が回避行動に及ぼす効果
○上田俊哉・北崎充晃(豊橋技科大)

HCS-9. 幼児コンテンツ制作支援のための語彙検索システムの提
案とその評価 ○小林哲生・南 泰浩(NTT)

HI(1) (13:10~15:15)

10. 大人数対象の調査サービスサイトの提案
○伊藤 公(長岡技科大)・山本吉伸(産総研)

11. 用例評価におけるモチベーション維持支援手法の提案と評価
○吉野 孝・狩野 翔・福島 拓(和歌山大)

12. 視線計測装置のための遠方を見ることによるユーザキャリブ
レーション手法 ○長松 隆・植木達彦・鎌原淳三(神戸大)

13. 学習者の積極的な授業参加支援のための挙手動作の計測
○河辺隆司・茂野裕介・山本倫也(関西学院大)・
渡辺富夫(岡山県立大)

14. 機器操作圧力を計測するシステムの開発と評価
村上 舜(筑波大)

HCS(3) (15:35~17:15)

HCS-15. 共感による表情模倣と意図的な表情模倣における表情
表出の違い ○大西佳太郎・内野早基・小森政嗣(阪電通大)

HCS-16. 二者間の日常会話における自己語りの分析手法の検討
○服部文香・佐々木玲仁(九大)

HCS-17. 協調タスクにおいて親近性が信頼度に与える影響
○勅使宏武・寺田和憲・伊藤 昭(岐阜大)

HCS-18. 二者間対面対話における食事の偏在に応じたコミュニ
ケーションの差異の分析 ○檜垣雄也・古川大智・
井上智雄(筑波大)

HIP(1) (15:35~16:50)

HIP-19. ユーザの嗜好が生理心理計測による感情状態推定に及
ぼす影響 ○阪本清美・坂下誠司(パソニック)・山下久仁子・
岡田 明(阪市大)

HIP-20. 真珠評定に見る熟練者と非熟練者の違い
○谿 雄祐・永井岳大・鯉田孝和・北崎充晃・
中内茂樹(豊橋技科大)

HIP-21. 視線位置及び注意位置の輝度と瞳孔径変動の関係
○金子寛彦・伊波 慧・田中 翼(東工大)・阪本清美・
坂下誠司(パソニック)

31日午前 HCS(4) (9:30~11:35)

HCS-1. 映画のショット解析によって導出される情報に基づく日
常的イベント映像自動生成—構図情報決定のために Kinect セ
ンサーを利用した行為認識— ○野田佑帆(芝浦工大)・
古川智裕(日本総研)・杉本 徹・榎津秀次(芝浦工大)

HCS-2. 組織の危機対応における電子メール活用の可能性—東日
本大震災におけるA社の事例を通して— ○佐藤 剛・
浜屋祐子(グロービス大)

HCS-3. 原子力災害関連ツイートと天災関連ツイートにおける感
情語表出頻度の周期的変動 ○前田和甫(阪電通大)・
三浦麻子(関西学院大)・小森政嗣(阪電通大)

HCS-4. 調査者の在/不在によってユーザのふるまいはどう変わ
るのか?—家族内のコミュニケーションとICT利用実態の調
査— ○片桐有理佳・中谷桃子・大野健彦(NTT)

HCS-5. 携帯型遠隔操作アンドロイドのためのアニメーション効
果の付加による感情伝達 ○鶴田 悠・堀 磨伊也・
吉村宏紀・岩井儀雄(鳥取大)

HI(2) (9:30~11:35)

6. 障害支援技術としての携帯情報端末アプリの分類の試み—発
達障害のある人への支援を中心として—
岡 耕平(滋慶医療科学大)

7. 振動提示条件が肘伸展錯覚に及ぼす影響
○梅沢侑実(早大)・土井幸輝(特総研)・
藤本浩志(早大)

8. お辞儀動作の定量的分析—インタビュアーの振る舞いが挨拶
行動に与える影響— ○白井芳奈・鈴木紀子・
阪田真己子(同志社大)

9. PC作業中の割り込みによる作業復帰時間の分析
田中貴紘(東京農工大)・
Niels A. Taatgen(Univ. of Groningen)・青木和昭

藤田欣也 (東京農工大)

- 10. 中間ブラウザ mother による家族間 SNS の提案
中茂陸裕 (NTT)

31 日午後 HCS (5) (13:00~14:40)

- HCS-11. 対話を成立させる要素とは?—「対話の場」をめぐる
大学と企業の協働実践—
○木ノ下智恵子・
内田みや子 (阪大)・鰐川 彰・
河村めぐみ (アサヒグループホールディングス)

- HCS-12. 漫才と相声のタイミング構造の分析—芸能身体文化の
日中比較—
○趙 曼・鈴木紀子・阪田真己子 (同志社大)

- HCS-13. ラジオにおけるオープンコミュニケーションの構造
○大島 優・鈴木紀子・阪田真己子 (同志社大)

- HCS-14. 食器が議論中の飲食物摂取量と議論内容に及ぼす効果
○玉木智英・木村 敦・武川直樹 (東京電機大)

HIP (2) (13:00~14:40)

- HIP-15. 視覚刺激における動き情報は輝度変化よりも高速な回避行動に寄与する
○伊本拓磨・寺田和憲・
伊藤 昭 (岐阜大)

- HIP-16. Interactive Recipe Search Interface using Spoken
Dialogue Agent for Tablet Devices
○XIN XU・
Tsuneo Kato (KDDI R & D Labs)

- HIP-17. 画像合成・切替を用いた腹腔鏡手術トレーニングシステム
安藤英由樹 (阪大)

- HIP-18. 発達障害者のコミュニケーションにおけるリズム調整
○川崎真弘 (筑波大)・北城圭一 (理研)・深尾憲二朗・
村井俊哉 (京大)・山口陽子 (理研)・船曳康子 (京大)

HCS (6) (15:00~16:40)

- HCS-19. 対話エージェントとの共同タスク遂行時の身体操作実装の効果
森 裕子・○神田智子 (阪工大)

- HCS-20. 発話、視線、頷き行動の参与者間のタイミングと心的状態・意図の関係の分析—会話場を協力的に進める参与者の振舞いに着目して—
○徳永弘子・武川直樹・
木村 敦 (東京電機大)

- HCS-21. Visbye : ユーザ中心の仮想ディスプレイとその地図における応用例
○柳田拓人 (静岡大)・岡嶋克典 (横浜国大)・
三村秀典 (静岡大)

- HCS-22. 2 者間における非言語行動と場の活性化認知との関連
○仲嶺 真 (筑波大)・大坊郁夫 (東京未来大)

HI (3) (15:00~16:40)

- 23. スマートホン利用における環境がインタラクションに及ぼす影響
○大野健彦・片桐有理佳・嵯峨田良江・
中谷桃子 (NTT)

- 24. シニアはどのように ICT サービスを受け入れるか—サービス導入時におけるサポートの役割—
○中谷桃子・
大野健彦 (NTT)

- 25. 画像と音からのオフィス割り込み許容度の推定可能性
青木和昭・佐藤茂樹・田中貴紘・藤田欣也 (東京農工大)

- 26. 音声提示は視覚障害者の高度文章理解速度を改善するか
南谷和範 (大学入試センター)

◆ヒューマンインタフェース学会; コミュニケーション支援専門研究委員会連催

☆HCS 研究会

【問合先】

井上智雄 (筑波大)

E-mail : inoue@slis.tsukuba.ac.jp

◎最新情報は、HCS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/hcs/>

☆HIP 研究会

【問合先】

清河幸子 (名大)

E-mail : kiyokawa.sachiko@b.mbox.nagoya-u.ac.jp

◎最新情報は、HIP 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.or.jp/hip/>

— 今後の予定 —

★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 西井 淳・副委員長 古川徹生

幹事 小澤誠一・宮下真信 幹事補佐 佐藤直行・木村聡貴

5月25日からの専門委員長、副委員長、幹事、幹事補佐

専門委員長 古川徹生 副委員長 小池康晴

幹事 宮下真信・林 勲 幹事補佐 木村聡貴・山崎 匡

☆NC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月19日 (金), 20 (土) 徳島大 [5月15日 (水)] テーマ:

ME, 一般 (MBE 研究会併催, 日本神経回路学会, IEEE

CIS-Japan 共催)

【発表申込先】 発表申込システムより電子的に行ってください。

<http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tgid=NC>

【問合先】

木村聡貴 (NTT)

TEL [046] 240-3681

E-mail : kimura.toshitaka@lab.ntt.co.jp



◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●平成 25 年度第 1 回医療情報通信技術研究会

委員長 井家上哲史 (明大)

期日 平成 25 年 5 月 15 日 (水)

会場 情報通信研究機構本館 4 階国際会議室 (<http://www.nict.go.jp/about/hq.html>)

テーマ 「医療情報通信技術一般」

参加費 一般 4,000 円 (講演資料代を含む), 学生無料 (講演資料代は別途 2,000 円)

プログラム <http://www.ieice.org/~mict/>に掲載されます。

参加方法 事前参加登録は不要です。御参加を希望される方は、当日、会場受付にお越し下さい。

【問合先】 幹事

金 ミンソク (東工大)

E-mail : mict-sec@mail.ieice.org

主催 医療情報通信技術時限研究専門委員会

●第 5 回情報ネットワーク科学研究会 (NetSci)

委員長 会田雅樹 (首都大東京)

副委員長 中村 元 (KDDI)・成瀬 誠 (NICT)・
巳波弘佳 (関西学院大)

日時 平成 25 年 5 月 24 日 (金) 13:00~18:00

会場 首都大学東京秋葉原キャンパス会議室 DE (秋葉原ダイビル 12 階)

参加費 1,000 円

プログラム

1. 環境データによる雑音誘起位相同期のためのパラメータ設定法の検討 安田裕之・長谷川幹雄 (東京理科大)
2. 近接作用に基づいた自律分散クラスタリングにおける消費電力量とデータ転送効率の評価 濱本 亮・高野知佐 (広島市大)・会田雅樹 (首都大東京)・石田賢治 (広島市大)
3. 平均自由行程を用いた DTN におけるメッセージ伝播のモデル化 杉山浩平・久保 健・田上敦士 (KDDI 研)
4. [招待講演] 熱の異常輸送をめぐって 齊藤圭司 (慶大)
5. [招待講演] 階層化動的ネットワークシステムの制御: グローバル制御の実現に向けて 原 辰次 (東大)
6. [招待講演] 携帯電話の通信トラヒックに現れる次数特性と相互関係について 小頭秀行 (KDDI 研)

◎最新情報や今後の研究会の予定等は情報ネットワーク科学時限研究専門委員会の WEB サイト <http://www.ieice.org/~netsci/> を御参照下さい。

【問合先】

井上 武 (JST ERATO)・久保 健 (KDDI 研)

村山立人 (NTT)・作元雄輔 (首都大東京)

E-mail : netsci-admin@mail.ieice.org

主催 情報ネットワーク科学時限研究専門委員会

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●情報ネットワーク科学研究会・複雑コミュニケーションサイエンス研究会合同ワークショップ

第 2 回 情報ネットワーク科学 (NetSci) ワークショップ

委員長 会田雅樹 (首都大東京)

副委員長 中村 元 (KDDI)・成瀬 誠 (NICT)・
巳波弘佳 (関西学院大)

第 2 回 複雑コミュニケーションサイエンス (CCS) ワークショップ

委員長 岡本英二 (名工大)

副委員長 田中久陽 (電通大)・長谷川幹雄 (東京理科大)

開催趣旨

情報通信技術は、私たちの生活や社会を支える最重要技術としてめざましい発展を遂げてきました。それにつれて、大規模化かつ複雑化する情報通信技術の研究開発を支える学術的基盤の適応限界が広い範囲で意識されはじめ、これらの限界を超えた新たな基盤構築の必要性が世界的に認識されるようになってきました。そこで、このような問題意識を共有する、通信ソサイエティ「情報ネットワーク科学時限研究専門委員会 (NetSci)」と基礎・境界ソサイエティ「非線形理論とその応用」サブソサイエティ (NOLTA)「複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会 (CCS)」が、横断的で学際的な議論の場を持つべく、合同でワークショップを開催致します。

一般講演を各々の研究専門委員会で募集致します。奮って御投稿、御参加を御検討頂けましたら幸いです。

期日 平成 25 年 8 月 9 日 (金), 10 日 (土)

会場 しんしのつ温泉たつぷの湯 (石狩郡新篠津村)

講演申込締切 6 月 14 日 (金) (NetSci, CCS ともに)

◎講演申込に必要な情報や連絡先など詳細については、投稿先の研究会のホームページに掲載しておりますので御参照下さい。

NetSci : <http://www.ieice.org/~netsci/>

CCS : <http://www.ieice.org/~ccs/>

【問合先】

NetSci : 井上 武 (JST ERATO)・久保 健 (KDDI 研)・
作元雄輔 (首都大東京)・村山立人 (NTT)

E-mail : netsci-admin@mail.ieice.org

CCS : 長谷川幹雄 (東京理科大)・岡田 啓 (名大)・

青野真士 (理研)・関屋大雄 (千葉大)・中尾裕也 (東工大)

E-mail : ccs-kanji@mail.ieice.org

主催 情報ネットワーク科学時限研究専門委員会, 複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会

● 2013年ソサイエティ大会開催案内 ●

期 日 2013年9月17日(火)~20日(金)

会 場 福岡工業大学(福岡市)

電子情報通信学会ソサイエティ大会の講演申込み登録・原稿送付については、インターネットによる講演申込み・PDFによる原稿送信となっています。

募集期間

2013年4月26日(金)~7月3日(水) 17:00(厳守)

2013年ソサイエティ大会ホームページ

http://www.toyoag.co.jp/ieice/S_top/s_top.html

(1) 講演申込みについて

「インターネット講演申込登録の交付期間」

「講演申込登録の修正・取消」

「論文集 PDF 原稿の送信期限」については、全て上記の期間となります。

(2) 講演機器について

講演機器はPCプロジェクターです。PCは御持参下さいませようお願いします。

(3) 原稿の提出について

原稿提出期限内に原稿を頂けない場合は、講演申込み登録されている場合でも講演申込みを取り下げたものと致しますので御注意下さい。

(4) 講演申込み Web 登録上のごお願い

講演申込み締切日とその2~3日前は回線が大変混雑して、アクセスに大変時間が掛かります。スムーズな登録のため余裕を持って早めの登録をして頂くようお願い申し上げます。

(5) 非会員の方も講演登録ができます。

講演参加費(本会会員:不課税, 本会会員外:消費税込)

講演参加費につきましては、DVD論文集(全講演収録・参加章)のほか聴講参加費が含まれますので、聴講申込みは必要ありません。(発行日:9月初旬)

7月下旬に講演者の方に講演参加費の請求書を発送致しますので、請求書到着後、振込みを行って下さい。

一般セッション

名誉員・正員 : 10,000円(講演発表料+DVD)

学生会員 : 3,000円(講演発表料+DVD)

非会員・社会人 : 20,000円(講演発表料+DVD)

非会員・学生 : 6,000円(講演発表料+DVD)

シンポジウムセッション

名誉員・正員 : 11,000円(講演発表料+DVD)

学生会員 : 3,500円(講演発表料+DVD)

非会員・社会人 : 22,000円(講演発表料+DVD)

非会員・学生 : 6,500円(講演発表料+DVD)

*電気学会, 照明学会, 映像情報メディア学会, 情報処理学会の会員, 本会と協定を締結した海外の学会は会員扱いとなります。

[講演申込みの流れ]

(1) 論文集原稿(PDF)の電子投稿について

学会 Web 上の「講演申込手順」に従って申込み登録を行い、正しく登録が受け付けられますと最後に、「受付番号」・「登録内容にアクセスするためのパスワード」等が記入された「登録受理票」が表示されますので、申込者で必ずプリントアウトして保管して下さい。また、登録完了時点で入力項目のために「E-mail」が申込者に送付されます。必ず内容の確認を行って下さい。講演申込み受付期間内は受付番号とパスワードにより登録データの修正・取消が可能です。詳細は「講演申込内容の確認・修正」、「講演申込内容の取消要領」に従って下さい。論文集原稿の投稿は、トップメニューにある「PDF原稿送信」から「受付番号」・「パスワード」を使って論文集原稿をPDFファイルで送信して下さい。(PDF原稿はメール添付での申込みはできません。)

(2) ソサイエティ大会聴講参加・冊子講演論文集申込み案内等については、2013年7,8月号会告にて御案内致します。

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内

電子情報通信学会 大会担当

TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659

E-mail : taikai@ieice.org

情報・システムソサイエティ, ヒューマンコミュニケーショングループにつきましては、鳥取大学(鳥取)においてFIT2013を開催致します。開催案内は下記を御覧下さい。

<http://info.ipsj.or.jp/event/fit/fit2013/>



平成 25 年度春季 先端オープン講座開講 — 御案内と受講者募集 —

本講座は、平成 24 年度から年 1 回の開講となり、平成 25 年度は、この春季講座開講のみとなりますので、御注意をお願い致します。

本講座は、電子情報通信分野における若手技術者から中堅技術者まで、また基礎的事項の理解から専門的事項、最新動向の理解・習得まで、幅広いニーズに応える講座として、既に 6,000 人を越える受講者実績となっています。

また、継続的な教育・能力開発 CPD (Continuing Professional Development) の実行が技術者に強く求められる時代となってきました。本講座は、まさにこのような時代の要請を先取りするものとなっています。現在本会の CPD トライアルが開始されたこともあり、Aa, Cs, Cp, D, F コースは 15 ポイント、A 回コースは 30 ポイントの CPD ポイント獲得となりますので、この機会に是非、CPD 会員に登録され、積極的に活用して下さい。詳細はこちら <http://www.ieice.org/jpn/cpd/cpdtry.html>

本講座のねらいと特徴

- ・技術者・研究者個人のスキルアップ及び企業における職域転換に伴う再教育
- ・基礎から専門分野まで幅広く対応
- ・基礎分野における基本的概念の理解と技術の体系的習得
- ・専門分野における関連技術の最新動向の習得
- ・学会活動の一環としての低廉な受講料と各分野第一級の講師陣による直接指導
- ・技術者の継続的な教育・能力開発として位置付けられる CPD との連携

詳細はこちら <http://www.ieice.org/jpn/cpd/cpdtry.html>

I 講座実施内容

◇以下の 6 コースから御選択できます。Aa コースは A コースの一部 (6 講義) を受講するコースです。開催日は全て土曜日です

- A. 情報通信ネットワーク技術 (5 回で 10 講義分 6 月 8 日～ (6 月 22 日休講))
- Aa. インターネット, モバイル, NGN における情報通信技術 (A コース後半 3 回で 6 講義分 6 月 29 日～)
- Cs. 実例で学ぶソフトウェア開発 (2 回で 5 講義分 6 月 8 日, 15 日)
- Cp. 実例で学ぶプロジェクトマネジメント (2 回で 5 講義分 6 月 29 日, 7 月 6 日)
- D. 情報通信プロトコル技術 (2 回で 5 講義分 7 月 6 日, 13 日)
- F. 情報通信セキュリティ技術 (5 回で 5 講義分 6 月 8 日～)

専門分野別推薦コース表 (H25 春季)

コース名	主要受講対象 (コース選択の参考)				
	教育/企画/コンサル	営業/SE	ハード設計	ソフト開発	サービス/保守
A. 情報通信ネットワーク技術	◎	◎	◎	◎	◎
Aa. インターネット, モバイル, NGN における情報通信技術	◎	◎	◎	◎	◎
Cs. 実例で学ぶソフトウェア開発	○	○	○	◎	◎
Cp. 実例で学ぶプロジェクトマネジメント	○	○	○	◎	◎
D. 情報通信プロトコル技術	○	○	◎	◎	◎
F. 情報通信セキュリティ技術	◎	◎	○	◎	◎

注) ◎印: 特にお勧め, ○印: お勧め

- 所定のカリキュラムを受講された方には、学会から修了証書を授与します。
- 受講形態として「個人受講」と「団体受講」があります。団体受講の場合は、何人かのメンバーが分担して受講も可能です。なお、団体受講の場合には、修了証書は発行されません。
- 受講申込で取得した個人情報につきましては、本会教育関連の DM 発送、受講者の動向及び傾向の調査に利用致します。
- 各コース共、受講者が定員に満たない場合は、講座を中止することがあります。
- 講師都合、災害等のやむを得ない理由で、日時を変更または休講することがあります。休講する場合は、講座を受講したものと取り扱わせて頂き、後日の開講は致しませんので御了承下さい。

II 実施期日と申込み方法

カリキュラムの詳細は先端オープン講座ホームページ (<http://www.ieice.org/jpn/event/education.html>) から御覧の上、申込みできます。以下にカリキュラム概要を示します。また C コース専用ホームページ (<http://www.sentanopen.net/>)

期 日 平成 25 年 6 月 8 日・15 日・29 日, 7 月 6 日・13 日各土曜日 (ただし, 6 月 22 日休講), A コースは 6 月 8 日～5 回, Aa コースは 6 月 29 日～3 回, Cs コースは 6 月 8 日, 15 日, Cp コースは 6 月 29 日, 7 月 6 日, D コースは 7 月 6 日, 13 日, F コースは 6 月 8 日～5 回

時 間 午後 9 時～16 時 (17 時) (ただし, F コースは 13 時～16 時)

会 場 機械振興会館 (港区芝公園 3-5-8) 交通 地下鉄日比谷線神谷町駅下車 徒歩 10 分

定 員 各コース共 50 名 (早めにお申込み下さい。申込先着順により、満員になり次第締切ります)

締 切 日 定員に余裕がある場合は、5 月 27 日 (月) まで受付

申込方法 下記の受講申込書に必要事項を記入の上、お申込み下さい。(なお、WWW ホームページからも申込みできます)

申 込 先 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 一般社団法人電子情報通信学会 会員サービス部

先端オープン講座担当 TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659

受講券と受講料 申込先着順に受講券をお送りします。受講券がお手元に届き次第、下記の受講料をお払込み下さい。

個人受講	区 分	A コース		Aa, Cs, Cp, D, F コース		●講義テキスト代金, 消費税を含む ●学生員及び高等学校教員は、受講料割引の特典があります。お問い合わせ下さい。
		初受講	2 回目以降	初受講	2 回目以降	
	会 員	50,000 円	40,000 円	30,000 円	25,000 円	
	維持員に所属する非会員	60,000 円	50,000 円	35,000 円	30,000 円	
	非 会 員	70,000 円	60,000 円	40,000 円	35,000 円	
	団 体 受 講	70,000 円	60,000 円	40,000 円	35,000 円	

(注) Aa, Cs, Cp, D コースを前半・後半 2 コースの組合せ受講の場合、A コースの受講料となりますので両方に印をお付け下さい。

- ・本会会員は会員優待制度 (受講料割引の特典) で受講できます。
- ・本講座受講が初めての場合は、「初受講」料金、これまでに本講座の受講経験のある場合は、「2 回目以降」料金になります。
- ・非会員の個人受講の方で、本会に入会を希望される方は、受講料を会員扱いとします。(詳細は連絡先にお問合せ下さい)
- ・映像情報メディア学会・応用物理学会・照明学会・情報処理学会・電気学会・土木学会等の個人会員の方の受講料は本会会員扱いとします。情報処理推進機構 (IPA) 利用登録団体及び、情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ), (社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) の企業会員に属する方の個人受講の受講料は、維持員に所属する非会員の扱いとします。

先端オープン講座 受講申込書

(講義のポイントを絞るための参考としますので、差し支えない範囲でできるだけ記入して下さい。)

1	ふりがな 受講者(代表者)氏名	2	年齢 歳
3	受講券の送り先(○印記入 自宅・勤務先) 〒 受講者(代表者)の勤務先名 TEL		
4	個人・団体受講, 希望 コース(○印で囲む)	個人受講 A: 通信ネット	Aa: インターネット
	団体受講	Cs: ソフト	Cp: PM
		D: プロトコル	F: セキュリティ
4	講座受講回数	1. 初回 2. 2回目以上	
	会員・非会員の別 (○印で囲む)	1. 正員 2. 学生員 (所属学会:) (会員番号:)	3. 維持員に所属する非 会員
		4. 非会員	5. 高校教員
5	本講座を何で知ったか (○で囲む, 複数可)	1. 本会誌 2. ポスター 3. 雑誌・新聞 4. 受講生からの紹介 5. 上司等からの紹介 6. WWW 7. その他 ()	
6	参加の動機 (○で囲む, 複数可)	1. 上司等からの奨め 2. 業務上の必要性 3. 専門的技術の蓄積・向上 4. 一般的技術の蓄積・向上 5. 教養の醸成 6. その他 ()	
7	これまでの主な業務名		
8	主な専門分野 (○で囲む, 複数可)	1. 教育/企画/コンサル 2. 営業 3. SE 4. ハード設計 5. ソフト開発 6. サービス/保守 7. その他 ()	

(注) Aa, Cs, Cp, D コースを前半・後半2コースの組合せ受講の場合, A コースの受講料となりますので両方に印をお付け下さい。

..... 切 取 線

III 平成 25 年度春季講座のカリキュラム概要

カリキュラム詳細は, WWW ホームページで御覧になれます. (<http://www.ieice.org/jpn/event/education.html>)

C コース専用ホームページ (<http://www.sentanopen.net/>)

各コース

(敬称略)

●A. 情報通信ネットワーク技術

6月8日から開講

●Aa. インターネット, モバイル, NGN における情報通信技術 (A コース後半3回)

6月29日から開講

-
- (6月8日 9:00~12:00) 情報ネットワークの概論 (通信網構成, トラヒック設計, 交換方式, QoS, ほか)
上山 憲昭 (N T T)
- (6月8日 13:00~16:00) IP 通信技術 (IPv4, IPv6, IP パケット, インターネットセキュリティ, ほか)
萱島 信 (日 立)
- (6月15日 9:00~12:00) 無線通信技術 (電波伝搬の基本特性, 変復調技術, ソフトウェア無線技術, ほか)
関 智弘 (N T T)
- (6月15日 13:00~16:00) 光ファイバ通信技術 (光アクセス技術, 光伝送技術, DWDM 伝送システム, ほか)
森田 逸郎 (K D D I 研)
-
- (6月29日 9:00~12:00) インターネットの通信技術(1) (LAN/WAN 技術, TCP/IP, TCP の性能, ほか)
山口 実靖 (工 学 院 大)
- (6月29日 13:00~16:00) インターネットの通信技術(2) (IP ルーティング, ルータ, トラヒック解析, ほか)
宮川 晋 (NTT コミュニケーションズ)
- (7月6日 9:00~12:00) モバイル通信技術(1) (無線アクセス技術, 無線 LAN, Bluetooth, ZigBee)
榎木勘四郎 (K D D I 研)
- (7月6日 13:00~16:00) モバイル通信技術(2) (IMT-2000, モバイルインターネット, 次世代方式, ほか)
田村 基 (NTT ドコモ)
- (7月13日 9:00~12:00) 次世代ネットワーク (NGN) の通信技術 (SIP, IP 電話 IPTV, IMS, ほか)
中村 秀文 (NTT ソフト)
- (7月13日 13:00~16:00) 特別講義「情報通信ネットワークにおける新次世代技術の動向」(SDN, Open-Flow, データセンタネットワーク, ほか)
岩田 淳 (N E C)

(敬称略)

●Cs. 実例で学ぶソフトウェア開発

(6月8日, 15日9:00~16:00)

講師: 駒谷 昇一 (NTT データ)

- (6月8日 9:00~12:00) ソフトウェア開発方法の概要 (ソフトウェア開発とプログラム作成の違い, ほか)
- (6月8日 13:00~16:00) 開発提案の作成方法 (システム受注の流れ, システム提案書/開発計画書の構成, ほか)
- (6月15日 9:00~12:00) プログラム設計の進め方 (外部設計工程の進め方, 例示する「外部設計書」のレビューを体験, ほか)
- (6月15日 13:00~16:00) プログラム試験の進め方 (単体テスト/結合テスト/総合テストの進め方, ほか) 運用保守の進め方

(敬称略)

●Cp. 実例で学ぶプロジェクトマネジメント

(6月29日, 7月6日9:00~17:00)

- (6月29日 9:00~12:00) プロジェクトマネジメントの概要 (システム開発工程とプロジェクトプロセス, QCD視点によるプロジェクトマネジメント, ほか) 大森久美子 (N T T)
- (6月29日 13:00~14:50) 要件定義の概要と動向~発注者と開発者で意識ずれのないシステム設計を行うために~ (要件定義の目的, 機能要件と非機能要件, 発注者と受注者の合意形成とは, ほか) 柏木 雅之 (富 士 通)
- (6月29日 15:00~17:00) 開発の見積り手法 (見積りとは, 見積り対象, 見積り精度の向上, COCOMO等具体的な見積り手法, ほか) 菊地奈穂美 (O K I)
- (7月6日 9:00~12:00) ソフトウェアの品質管理 (PMOの活動範囲, 開発プロジェクトにおける品質管理, 運用・保守における品質管理, ほか) 草場 圭三 (日 立)
- (7月6日 13:00~16:00) プロジェクトのリスクマネジメント (リスクとは, PMBOKの概要, システム開発における実際のリスク, ほか) 香村 求 (システム SWAT)

(敬称略)

●D. 情報通信プロトコル技術

(7月6日, 13日9:00~16:00)

- (7月6日 9:00~12:00) TCP/IPプロトコル (OSI参照モデル, IP, TCP) 加藤 聡彦 (電 通 大)
- (7月6日 13:00~16:00) LANのプロトコル (イーサネット, VLAN, 無線LAN) 奥野 通貴 (日 立)
- (7月13日 9:00~12:00) アプリケーション層プロトコル (DNS, HTTP, メール) 石井 秀治 (N I C T)
- (7月13日 13:00~16:00) モバイルネットワークのプロトコル (モバイルBB, IMS) 松本 徹也 (NTTドコモ)

(敬称略)

●F. 情報通信セキュリティ技術

6月8日から開講 (13:00~16:00)

1. セキュリティ概論 (セキュリティの必要性, セキュリティとプライバシー, ほか) 稲村 雄 (オメガセキュリティ)
2. モバイルセキュリティ技術 (携帯電話 (3G, LTE), 無線LAN, Mobile Wimax, ほか) 清本 晋作 (KDDI研)
3. インターネットのセキュリティ技術 (Radius, VPN (IPSec), SPF/SenderID, DNSsec, ほか) 吉田 徳太郎 (N T T)
4. サイバーセキュリティ (ネットワークアタックの概要 (CVEなど), ファイアウォール, ほか) 寺田 真敏 (日 立)
5. アプリケーションセキュリティ (暗号メール, Webセキュリティ, セキュアOS, 著作権管理技術, ほか) 小川 一人 (NHK技研)

●………… 支 部 大 会 ……………●

——平成 25 年度電気関係学会

東北支部連合大会——

期 日 平成 25 年 8 月 22 日 (木), 23 日 (金)
8 月 22 日 (木) 午前: 一般講演, 製品カタログ展示会
午後: 一般講演, 製品カタログ展示会,
特別講演会
夜: 懇親会
8 月 23 日 (金) 午前: 一般講演, 製品カタログ展示会
午後: 一般講演, 製品カタログ展示会
会 場 会津大学 (会津若松市一箕町鶴賀字上居合 90)
講演内容 各専門分野で最近行った研究の発表, 各専門分野で最近行った工事報告, 現場実験報告, 新製品の紹介等.
・講演者は主催学会会員に限ります (入会手続き中を含む).
・講演時間は 1 件 15 分以内 (討論時間を含む) とします.
・使用言語は, 日本語または英語のこと.
・発表用のプロジェクトを各講演室に準備しますが, PC は各自御準備下さい.

Student Session について

1. 目的及び趣旨: 電気・情報系に学ぶ学生・大学院生の国際性の育成とプレゼンテーション技術の向上のため英語により予稿を準備し, 発表にあたっては学生同士で切磋琢磨し合うセッションを設ける.
2. 参加資格: 高専生及び大学生・大学院生 (後期課程含む)
3. 原稿: 英文による A4 判 1 枚 (通常の予稿と同じ)
4. 発表方法及び使用言語: 英語による発表とする.
5. テーマ: 連合大会を構成する全てとし, 特定しない.
6. 申込方法: 大会 HP 上にある通常の論文申し込み方法と同時に申し込み, 要項の下にある「Student Session を希望します」というボタンをクリックし, 所属・学年等を記入して下さい.

申込方法

1. 講演申し込み及び論文投稿をインターネットで行います.
大会 HP: <http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/>
Web 上の説明に従って, 申込みを行って下さい. 詳しくは「申し込み要項」を御覧下さい. (5 月中旬頃から投稿を受付予定です.)
 2. プログラムについて 7 月中旬頃にプログラム (案) を上記 HP に掲載致しますので, 講演者と参加者の方々各自御参照下さい. 表彰についても HP から必要な書類をダウンロードして下さい.
 3. 講演原稿執筆の際には「予稿の書き方」をよく読んで下さい.
 4. 講演筆頭著者としての申込件数は, 1 名 2 件までとします. ただし連名による申込みに制限はありません. また, 内容が著しく不適当と思われる場合は講演を制限する場合があります.
 5. 講演申込金は 1 件につき 4,000 円とします. (参加費, 論文集代を含みます.)
- 申込・原稿締切日: 6 月 14 日 (金) 必着厳守 (申込と原稿を同時締切とします).
- 参加 (聴講) 費: 一般参加者 (座長を含む) 1,000 円, 学生無料

論文集: 発表者には, 大会当日受付にて配布します. 大会当日販売も行いますが, 郵送を希望される場合は, 連合事務局までお申込み下さい. (1 部 3,000 円, 郵送料別)

特別講演会: 日時 8 月 22 日 (木) 15:30~17:00

会場 会津大学講堂

講師・演題 未定

懇親会: 日時 8 月 22 日 (木) 17:30~19:30 (予定)

会場 会津若松ワシントンホテル (会津若松市白虎町 201)

会費 一般: 5,000 円, 学生: 3,000 円 (予定)

※大会の詳細につきましては, HP に掲載致しますので, そちらを御参照下さい.

主 催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・日本音響学会・映像情報メディア学会・情報処理学会・電気設備学会各東北支部, IEEE SENDAI SECTION

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 ……●

——関西支部——

●電気四学会関西支部日帰り見学会

「音羽電機工業(株)雷テクノロジーセンター」

音羽電機工業(株)様は 2008 年に試験や研究の施設として雷テクノロジーセンターを開設されました. このセンターでは, 雷対策製品や雷の発生の仕組みなどを学ぶことができ, 雷を擬似体験することで, 余り知られていない雷の世界に触れることができます. 今回の見学会では, 音羽電機工業(株)様の御厚意により, この雷テクノロジーセンターを見学させて頂くこととなりました. 是非, 奮って御参加下さいませようお願い申し上げます.

見学先 「音羽電機工業(株)雷テクノロジーセンター」

日 時 平成 25 年 6 月 4 日 (火) 14:00~16:40

集合時刻 13:50 (時間厳守, 晴雨不問)

集合場所 JR 尼崎駅 改札口集合

行 程 13:50 JR 尼崎駅 改札口集合 (徒歩にて移動)

14:00 音羽電機工業(株)雷テクノロジーセンター

館内見学 (120 分), 雷講習会 (30 分)

16:40 JR 尼崎駅 解散

参加費 無料

定 員 40 名 (申込み先着順, 定員になり次第, 締め切らせて頂きます.)

申込方法 電気学会関西支部の HP (<http://www2.iee.or.jp/ver2/kansai/>) の申し込みフォームからお申込み下さい. はがき, FAX または E-mail からもお申込み頂けます. 所属, 氏名, 連絡先を御記入の上, 下記の申込先に御連絡下さい. なお, 同業者の方の見学は御辞退頂きます. (お知らせ頂きました個人情報は, 行事の運営に必要な場合のみに使用します.)

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25

中央電気倶楽部内 関西電気関連学会事務センター

TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534

denki4g@ares.eonet.ne.jp

主 催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会各関西支部

共 催 電気学会中国支部・電気学会四国支部

— 本 会 が 協 賛 等 の も の —

(※は参加費割引あり)

第76回ロボット工学セミナー「ロボットに利用できるコンピュータビジョン技術最前線：基礎から応用まで」(※)

期 日 平成25年5月16日(木)

会 場 東京大学武田先端知ビル(東京都文京区)

問合先 日本ロボット学会事務局 担当 水谷

TEL [03] 3812-7594, FAX [03] 3812-4628

seminar@rsj.or.jp <http://www.rsj.or.jp/seminar>

見学会：九州地方における再生可能エネルギー技術「メガソーラー・地熱・バイオマス・風力の各発電所およびバイオマス水素製造所の視察」(※)

期 日 平成25年5月16日(木), 17日(金)

見学先 メガソーラー発電所/バイオマス水素製造/バイオマス発電所/地熱発電所/風力発電所

問合先 日本機械学会動力エネルギーシステム部門 川崎

FAX [03] 5360-3508 kawasaki@jsme.or.jp

第49回真空技術基礎講習会(※)

期 日 平成25年5月21日(火)~24日(金)

会 場 大阪府立産業技術総合研究所(和泉市)

問合先 大阪府技術協会 担当 山中(大阪府立産業技術総合研究所内)

TEL [0725] 53-2329, FAX [0725] 53-2332

yamanaka@dantai.tri-osaka.jp

<http://www.vacuum-jp.org/>

ロボティクス・メカトロニクス講演会2013—社会に浸透するロボティクス・メカトロニクス—

期 日 平成25年5月22日(水)~25日(土)

会 場 つくば国際会議場(つくば市)

問合先 日本機械学会総合企画グループ 熊谷

TEL [03] 5360-3505, FAX [03] 5360-3509

kumagai@jsme.or.jp

「技研公開2013」(NHK放送技術研究所一般公開)

期 日 平成25年5月30日(木)~6月2日(日)

会 場 NHK放送技術研究所(東京都世田谷区)

問合先 NHK放送技術研究所

TEL [03] 5494-1125, FAX [03] 5494-3125

<http://www.nhk.or.jp/str/>

温度計測基礎講座(※)

期 日 平成25年5月31日(金)

会 場 大田区産業プラザPiO(東京都大田区)

問合先 計測自動制御学会部門協議会担当

TEL [03] 3814-4121 bumon@sice.or.jp

日本人間工学会第54回大会(※)

期 日 平成25年6月1日(土), 2日(日)

会 場 日本大学生産工学部(習志野市)

問合先 日本人間工学会 同大会事務局

鳥居塚 崇(日本大学生産工学部)

TEL [047] 474-2615, FAX [047] 474-2619

info@jes2013.jp <http://jes2013.jp/>

センシング技術応用セミナー「ビッグデータとセンシング」(※)

期 日 平成25年6月14日(金)

会 場 鳥津製作所関西支社(大阪市)

問合先 センシング技術応用研究会(大阪府立産業技術総合研究所内) TEL [0725] 51-2534, FAX [0725] 51-2597

ssstj@dantai.tri-osaka.jp

<http://tri-osaka.jp/dantai/ssstj/>

第55回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」(※)

期 日 平成25年7月9日(火)~11日(木)

会 場 東京理科大学森戸記念館(東京都新宿区)

問合先 日本表面科学会

TEL [03] 3812-0266, FAX [03] 3812-2897

shomu@sss.jp <http://www.sss.jp>

「2013 TECHNO-FRONTIER 技術シンポジウム」(※)

第28回2013スイッチング電源技術シンポジウム

第21回2013バッテリー技術シンポジウム

第13回2013熱設計・対策技術シンポジウム

第27回2013EMC・ノイズ対策技術シンポジウム

第4回2013環境発電開発者会議

期 日 平成25年7月17日(水)~19日(金)

会 場 東京ビッグサイト(東京都江東区)

問合先 日本能率協会 同シンポジウム事務局

TEL [03] 3434-0587, FAX [03] 3434-8076

tech-con@jma.or.jp

第32回日本医用画像工学会大会

期 日 平成25年8月1日(木)~3日(土)

会 場 日本科学未来館(東京都江東区), 他

問合先 日本医用画像工学会事務局(クワンタム内)

TEL [03] 5684-1636, FAX [03] 5684-1650

jamit@quantum-inc.jp <http://www.jamit.jp/>

平成25年電気学会産業応用部門大会

期 日 平成25年8月28日(水)~30日(金)

会 場 山口大学吉田キャンパス(山口市)

問合先 電気学会事業サービス課 奈良

TEL [03] 3221-7313, FAX [03] 3221-3704

nara@iee.or.jp

第29回ファジィシステムシンポジウム(FSS2013)—ファジィ・ルネサンスにむけて—(※)

期 日 平成25年9月9日(月)~11日(水)

会 場 大阪国際大学(枚方市)

問合先 日本知能情報ファジィ学会事務局(ファジィシステム研究所内) TEL [0948] 24-3355, FAX [0948] 24-3356

soft@flsi.cird.or.jp <http://www.j-soft.org>

センサエキスポジャパン2013

期 日 平成25年9月25日(水)~27日(金)

会 場 東京ビッグサイト(東京都江東区)

問合先 フジサンケイビジネスアイ営業・事業本部 担当 橋本

TEL [03] 3273-6180, FAX [03] 3241-4999

ken.hashimoto@sankei.co.jp

<http://www.sensorexpojapan.com>

全国高等専門学校第24回プログラミングコンテスト
期日 平成25年10月13日(日), 14日(月)
会場 旭川市民文化会館(旭川市)
問合せ先 旭川工業高等専門学校電気情報工学科 小山貴夫
TEL [0166] 55-8021 p24-office@asahikawa-nct.ac.jp

インターオプト2013
期日 平成25年10月16日(水)~18日(金)
会場 パシフィコ横浜(横浜市)
問合せ先 光産業技術振興協会
TEL [03] 5225-6431, FAX [03] 5225-6435
http://www.oitda.or.jp

●…………… 国 際 会 議 ……………●

光メモリ国際シンポジウム2013 (ISOM'13)
期日 2013年8月18日(日)~22日(木)
会場 Songdo Global Academic Complex of Yonsei University,
Incheon, Korea
問合せ先 ISOM事務局(アドスリー内) 担当 木村
TEL [03] 5925-2913, FAX [03] 5925-2913
secretary@isom.jp

IEEE Region 10 Humanitarian Technology Conference 2013
期日 2013年8月26日(月)~29日(木)
会場 東北大学川内北キャンパス(仙台市)
問合せ先 西原明法(東京工業大学社会理工学研究所)
TEL [03] 5734-3232, FAX [03] 5734-2560
aki@cradle.titech.ac.jp www.nh.cradle.titech.ac.jp

9th International Conference on Optics-photonics Design &
Fabrication (ODF'14)
期日 2014年2月12日(水)~14日(金)
会場 板橋文化会館(東京都板橋区)
問合せ先 林 剛志(ODF'14運営事務局 プロアクティブ内)
TEL [03] 3669-6161, FAX [03] 3669-6162
odf14@pac.ne.jp

第28回国際コンピュータ支援放射線医学・外科学会議
(CARS2014)
期日 2014年6月25日(水)~28日(土)
会場 福岡国際会議場(福岡市)
問合せ先 同会議会長 橋爪 誠(九州大学大学院医学研究院)
TEL [092] 642-6223, FAX [092] 642-6224

The seventh International Symposium on Surface Science
(ISSS-7)
期日 2014年11月2日(日)~6日(木)
会場 鳥根県立産業交流会館(くびきメッセ)(松江市)
問合せ先 日本表面科学会
TEL [03] 3812-0266, FAX [03] 3812-2897
http://www.sssj.org/iss7

●…………… 受賞候補者募集等 ……………●

——第11回新機械振興賞——

対象 独創性、革新性及び経済性に優れた機械工業技術に係る研究開発及びその成果の実用化により、新製品の製造、製品の品質・性能の改善または生産の合理化に顕著な業績を上げたと認められる企業等及び研究開発担当者とする。
ただし、当該研究開発は、おおむね過去3年以内に成立したものに限る。
表彰 特に優秀と認められるものについて経済産業大臣賞及び中小企業庁長官賞の授与を申請する。その他の受賞者に対し、会長名の賞状を贈呈。
賞金 経済産業大臣賞：80万円、中小企業庁長官賞：50万円
機械振興協会会長賞：30万円
推薦期間 平成25年4月1日(月)~5月13日(月) 必着
問合せ先 機械振興協会技術研究所 新機械振興賞担当
TEL [042] 475-1168, FAX [042] 474-1980
prize@tri.jspmi.or.jp http://www.jspmi.or.jp/tri/prize/

——高柳記念賞——

対象
(1) 高柳記念賞
次の条件を満たし、人格的にも優れた我が国を代表する指導的立場の人。
・電子工学、情報通信工学及び放送工学などの分野で、独創的かつ特に優れた成果のあった人
・同分野で、技術や産業の発展、研究者の人材育成などに多大な貢献をした人
(2) 高柳記念奨励賞
電子工学、情報通信工学及び放送工学などの分野で将来性ある研究成果をあげ、技術の発展や産業に貢献した人で、次世代を担うに相応しい人。年齢は概ね50歳以下とする。
表彰
(1) 高柳記念賞 1件(表彰盾・副賞 100万円)
(2) 高柳記念奨励賞 2件(表彰盾・副賞 各50万円)
提出期日 平成25年5月31日(金) 必着
問合せ先 高柳記念財団事務局
TEL [03] 3239-1207, FAX [03] 3262-3028
tkinenz@oak.ocn.ne.jp
http://www.koueki.jp/disclosure/ta/takayanagi/

——キャノン財団第5回(2013年)研究助成——

●研究助成プログラム「産業基盤の創生」
情報・通信, エレクトロニクス, 機械・精密, オプティクス・フォトンクス, 応用化学, 応用物理, ナノテクノロジー・材料などの既存の分野だけでなく、医工連携などの融合分野や新興分野における新たな挑戦的な研究に助成。
助成金：新規採択総額約2億円、1件当たり2,000万円以下。

●研究助成プログラム「理想の追求」

大きなイノベーションを起こすことが期待される、先駆的
的に独創性のある分野融合型研究プロジェクトに助成。
2013年募集課題は「海」に関する研究。

助成金：新規採択総額約1億円。1件当たり5,000万円程度。

応募期間 「産業基盤の創生」

平成25年6月3日(月)～28日(金)15時

「理想の追求」

平成25年6月3日(月)～7月12日(金)15時

問合せ キヤノン財団 <http://www.canon-foundation.jp>

する者についても、推薦することができます。

受付期間 平成25年6月12日(水)～14日(金)(必着)

その他 推薦書等は、所定の様式を使用して下さい。なお、推薦書等はHPよりダウンロードすることができます。

問合せ 日本学術振興会総務部 研究者養成課「日本学術振興会育志賞」担当

TEL [03] 3263-0912, FAX [03] 3222-1986

<http://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/index.html>

——宇宙科学振興会研究者支援——

——第4回(平成25年度)日本学術振興会 育志賞——

趣 旨 日本学術振興会は、天皇陛下の御即位20年に当たり、社会的に厳しい経済環境の中で、勉学や研究に励んでいる若手研究者を支援・奨励するための事業の資として、平成21年11月に御下賜金を賜りました。

このような陛下のお気持ちを受けて、本会では、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士課程学生を顕彰することを目的として、平成22年度に「日本学術振興会 育志賞」を創設しました。

対象分野 人文・社会科学及び自然科学にわたる全分野

受賞 受賞数は16名程度とし、受賞者には、賞状、賞牌及び副賞として学業奨励金110万円を贈呈。

対象者 平成25年4月1日現在34歳未満であり、次に該当する者であって、平成25年5月1日において我が国の大学院博士後期課程に在学している者

- ・大学院における学業成績が優秀であり、豊かな人間性を備え、意欲的かつ主体的に勉学及び研究活動に取り組んでいる大学院生であって、当該大学長から推薦された者
- また、海外からの留学生で大学院博士後期課程に在学

●国際学会出席旅費の支援

支援対象 宇宙理学(地上観測を除く)及び宇宙工学(宇宙航空工学を含む)に関する独創的・先端的な研究活動を行っている若手研究者(当該年度4月2日で35歳以下)またはシニアの研究者(当該年度4月2日で63歳以上かつ定年退職した者)で、国際研究集会で論文発表または主要な役割などが原則として確定している者。

助成金額 約10～25万円程度/件、10件程度/年

受付時期 随時受け付けます。(7月1日以降の出発者:5月15日まで。選考は年3回)

●国際学会開催の支援

助成対象 国内の学術団体(研究所、大学等)で、宇宙理学(地上観測を除く)及び宇宙工学(宇宙航空工学を含む)に関する国際学会、国際研究集会の国内開催を主催しようとする団体。

助成金額 30～50万円程度/件、3～5件程度/年

受付時期 随時受け付けます。申請書の提出は会議開催の3か月以上前とする。

問合せ 宇宙科学振興会事務局 TEL [042] 751-1126

admin@spss.or.jp <http://www.spss.or.jp>

電子情報通信レクチャーシリーズ新刊 会員特価販売のご案内

<第27回配本>

C-14

電子デバイス

4月中旬発行

(社)電子情報通信学会 編/和保孝夫 著

(株)コロナ社 発行

B5判/198頁/定価3,360円/会員特価3,100円(税・送料込)

半導体を用いた電子デバイスは、パソコン、携帯端末などの情報処理/通信機器の心臓部に使われ、その基本性能と機能を決めてきた。本書では、この電子デバイスに関して材料から動作原理、集積回路への応用までわかりやすく説明する。

<主要目次>

序論/モデルデバイス/半導体におけるキャリアの挙動/pn接合/
MOSFET/BJT/CMOS論理回路/メモリ/まとめと今後の展望

◆申込方法◆ ご氏名、送付先の会社名、学校名、ご住所、電話番号を明記の上、FAXまたはe-mail(書式自由、会員特価販売分と記入)にて、直接コロナ社にお申込み下さい。

◆注文先◆ 〒112-0011 東京都文京区千石4-46-10
(株)コロナ社内「電子情報通信レクチャーシリーズ」係
TEL 03-3941-3131(代) FAX 03-3941-3137 e-mail: gyomu@coronasha.co.jp

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問 合 先：電子情報通信学会編集出版部
TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●埼玉工業大学

公募人員 工学部情報システム学科 専任講師 1名
専門分野 電気機器、電動機応用、電気自動車、電力工学、スマートグリッド、パワーエレクトロニクスなど
着任時期 平成25年10月1日以降できるだけ早い時期
応募締切 平成25年5月20日(月)必着
問 合 先 情報システム学科教授 吉澤浩和
yoshiz_h@sit.ac.jp

●首都大学東京

公募人員 大学院システムデザイン研究科情報通信システム学域 助教1名
専門分野 計算機工学
応募資格 博士の学位を持つ方(取得見込み含む)
着任時期 平成25年9月1日以降のできるだけ早い時期
応募締切 平成25年5月24日(金)必着
問 合 先 情報通信システム学域教授 阿保 真
TEL [042] 585-8415, abo@tmu.ac.jp
詳 細 www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/tmu.html

●岩手県立大学

公募人員 准教授または講師・助教1名
専門分野 情報システムデザイン方法論、ソーシャルメディア応用、地理情報システム、社会調査手法など社会情報システムに関連する教育研究分野
応募締切 平成25年5月31日(金)必着
問 合 先 TEL [019] 694-2500
soft-jimu@ml.iwate-pu.ac.jp

●岩手県立大学

公募人員 准教授または講師・助教1名
専門分野 ビッグデータ、センサデータベース、ライフログ、Eコマースなどデータベースシステムに関連する教育研究分野
応募締切 平成25年5月31日(金)必着
問 合 先 TEL [019] 694-2500
soft-jimu@ml.iwate-pu.ac.jp

●群馬大学

公募人員 理工学研究院電子情報部門 教授または准教授1名
専門分野 情報科学・情報工学の主要分野
担当予定 理工学部電子情報理工学科及び理工学府理工学専攻での教育・研究指導
着任時期 平成25年12月1日以降できるだけ早い時期

応募締切 平成25年5月31日(金)必着
問 合 先 理工学研究院電子情報部門長、教授 太田直哉
TEL [0277] 30-1842, ohta@cs.gunma-u.ac.jp
詳 細 http://www.ei.st.gunma-u.ac.jp/recruit

●福岡工業大学

公募人員 教授、准教授または助教1名
専門分野 電子工学関連分野(回路系、制御系、組込み系、電子情報等の科目)
着任時期 平成25年10月1日(できるだけ早い時期)
応募締切 平成25年5月31日(金)必着
問 合 先 電子情報工学科 田中秀司, s-tanaka@fit.ac.jp
TEL [092] 606-3570 (ダイヤルイン)
詳 細 応募資格提出書類などは、下記URLを参照して下さい
http://www.fit.ac.jp/daigaku/koubo/kyoin_kobo/index

●大阪工業大学

公募人員 工学部電気電子システム工学科 講師、准教授、特任講師または特任准教授いずれか1名
専門分野 実践的なハードウェアまたは回路設計に関する研究分野
着任時期 平成26年4月1日
応募締切 平成25年6月10日(月)必着
問 合 先 学科長 森實俊充, morizane@ee.oit.ac.jp
提 出 先 学長室企画課
採用に関する詳細は下記を御覧下さい
http://www.oit.ac.jp/www-ee/saiyo/saiyo2014.html

●明星大学

公募人員 理工学部総合理工学科(電気電子工学系) 助教または准教授1名
専門分野 電気電子分野におけるデバイス、物性、材料、ナノ、バイオなど
担当科目 電磁気、電気回路、電子回路、半導体・電気電子材料の関連科目
着任時期 平成26年4月1日
応募締切 平成25年6月10日(月)必着
問 合 先 総合理工学科電気電子工学系代表 嶋 好博
詳 細 http://www.meisei-u.ac.jp/recruit/index.html

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL: <http://www.ieice.org/jpn/koukoku/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 7月号掲載分 平成25年5月24日(金)必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載しております。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の求人が全て御覧になれます。

URL: <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

——平成 25 年度会費お払込みのお願い——

平成 25 年度（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）の会費（追加サイエティ代等含む）のお払込みをお願いしておりますが、4 月中旬で入金の確認がとれない方につきましては、4 月末に再度振込用紙をお送りしておりますのでお支払いをお願い致します。

なお、本年 5 月末日までにお支払いの確認がとれない場合は 7 月号から会誌の送付及び論文誌の閲覧が停止してしまいますので、お早めのお支払いをお願い致します。

※法人会員（維持員・特殊員）の御請求は平成 25 年 4 月末にお送りしております。

——転勤・転居及び学生員申請の届出について——

住所変更及び所属変更等の内容を本会 Web サイト上「会員サービス→マイページ」より御連絡下さい。※最初にマイページ専用のパスワード登録が必要となります。

書面（E-mail, FAX, 郵送）でも承りますので、「会員番号、氏名、変更内容（住所）、連絡先電話番号」を明記の上、事務局会員サービス部会員課宛てに御連絡下さい。

毎月 1 日までに御連絡を頂いたものは翌月号の発送から変更となります。

なお、転居先不明等で長期にわたり届出がありませんと、停止していた間の会誌等をお送りできない場合もありますので、お早めに御連絡下さいませようお願い致します。

また、4 月以降大学院等への進学で学生員の継続を希望される方は、Web サイト上「会員サービス→学生員申請」より御申請下さい。

書面（E-mail, FAX, 郵送）でも承りますので、「学生員申請」と明記し、「会員番号、氏名、学校（院）名、博士・修士課程別、修了予定年月」を御連絡下さい。

E-mail : kaiin@ieice.org, FAX [03] 3433-6659

——平成 25 年 5 月号及び 6 月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

（基礎・境界サイエティ）

5 月号 [英文] Networked Control Systems : Theories & Applications

6 月号 [和文] 周波数発生・制御デバイスの新展開特集

6 月号 [英文] Discrete Mathematics and Its Applications
・ Circuit, System and Computer Technologies

（通信サイエティ）

6 月号 [和文] 震災復興や新興国の近未来に役立つ情報ネットワーク技術特集

6 月号 [英文] Heterogeneous Networks for Future Cellular Systems

（エレクトロニクスサイエティ）

5 月号 [英文] Fundamentals and Applications of Advanced Semiconductor Devices

6 月号 [和文] エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術の進展

6 月号 [英文] Analog Circuits and Related SoC Integration Technologies

（情報・システムサイエティ）

5 月号 [和文] データ工学と情報マネジメント特集

5 月号 [英文] Data Engineering and Information Management

6 月号 [和文] インターネット技術とその応用特集

6 月号 [英文] Formal Approach

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は、会員限定β版での公開後 3 か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ（トップページ）→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



—Special Section on Communication
Sciences and Engineering—

We are pleased to announce the Special Section of the IEICE's journal, "Nonlinear Theory and Its Applications, IEICE," to be published in April, 2014. The major part of this issue will focus on recent progress in communications and networks from scientific viewpoints. The topics are currently presented and discussed at the conferences sponsored by the technical committee on Complex Communication Sciences (CCS), which was launched in April 2011 under the NOLTA sub-society of the IEICE. The topics of interest within the scope of this Special Section include, but are not limited to,

- Fundamental (Scientific) theories for communication systems and networks :
 - Chaos, Nonlinear Dynamics, Oscillators, Synchronization, and Complex Networks ;
 - Bio-Inspired Information and Communication Technology (ICT), ICT-Inspired Biology, and Neural Networks ;
 - Distributed Algorithms, Self-Organization, Control and Optimization ;
 - Communication Theory, Coding Theory, and Theory and Techniques for Random Number Generators.
- Modeling and applications in communications systems and networks :
 - Sciences in Network Modeling, Mobility Modeling, Routing, Medium Access Control (MAC), and Physical Layer (PHY) ;
 - Distributed Networks, Ad hoc Networks, and Sensor Networks ;
 - Optical Communication, and Laser ;
 - Wireless Communications, Cognitive Radio, Resource Allocation, and Antenna and Propagation.

Papers submitted to this SS will be peer-reviewed handled by the editorial committee of the SS. The deadline for the paper submission is July 10, 2013. Prospective authors are requested to carefully follow the submission process :

- (1) Prepare the manuscript according to the guidelines described on the web page :
<http://www.nolta.ieice.org/data/authors.html>.
The LATEX style file and template file may be downloaded from the web page. Papers do not usually exceed 30 pages of an A4-sized PDF file.
- (2) Submit manuscripts through the IEICE paper submission system at :
https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx
Authors should choose "[Special-NC] Communications Sciences and Engineering" as a "Journal/Section". Do not choose "[Regular-EN]".
- (3) Send "Copyright Transfer and Page Charge Agreement" and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" by E-mail, FAX or postal mail to :

Hiraku Okada,
EcoTopia Science Institute, Nagoya University
C3-1 (631), Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya-shi,
Aichi-ken 464-8603, Japan
E-mail : ccs-ss-secretary2013@mail.ieice.org
Fax : +81-52-789-3173 (please attach a cover sheet indicating the sender's name)

The article charges up to 30 pages :

One of the authors is a member of IEICE : 60,000 JPY
Otherwise : 65,000 JPY

Please send "Copyright Transfer and Article Charge Agreement" and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" by July 10, 2013. We cannot start the review process without these documents, even if we receive the manuscript. For additional guidelines on manuscript preparation, please visit :

<http://www.nolta.ieice.org/data/authors.html>

Please note that if accepted, authors are requested to pay for the article charges covering partial costs of publications. These page charge cannot be waived.

[IMPORTANT NOTICE]

Both members and nonmembers of IEICE are invited to submit manuscripts. However, we recommend that authors unaffiliated with IEICE apply for membership :

<http://www.ieice.org/eng/member/OM-appli.html>

Editorial Committee of the Special Section

- Guest Editor :
Mikio Hasegawa (Tokyo University of Science)
- Guest Associate Editors :
Masashi Aono (RIKEN)
Sergio Callegari (University of Bologna)
Song-Ju Kim (RIKEN, Korea)
Francis Lau (Hong Kong Polytechnic University)
Kenji Leibnitz (National Institute of Information and Communications Technology)
Jinhu Lu (RMIT University)
Hiroya Nakao (Tokyo Institute of Technology)
Eiji Okamoto (Nagoya Institute of Technology)
Hisao-Aki Tanaka (The University of Electro-Communications)
- Yasuhiro Tsubo (RIKEN)
- Editors of NOLTA, IEICE :
Jürgen Kurths (Potsdam Institute for Climate Impact Research)
Ljiljana Trajkovic (Simon Fraser University)
- Associate Editors of NOLTA, IEICE :
Isao Tokuda (Ritsumeikan University)
Hiroyuki Torikai (Osaka University)
Michael Tse (Hong Kong Polytechnic University)
- Advisory :
Takashi Hisakado (Kyoto University)
- Secretaries of the Special Section :
Hiraku Okada (Nagoya University)
Hiroo Sekiya (Chiba University)

——人とエージェントのインタラクション特集 (和文論文誌 A) 論文募集——

人とエージェントのインタラクション特集編集委員会

電子情報通信学会和文論文誌 A の特集 (平成 26 年 6 月号) として「人とエージェントのインタラクション」を企画しました。本論文誌平成 24 年 1 月号において「人とエージェントのインタラクション」特集を企画したところ、多数の御投稿を頂きました。このことから、今回再度同じテーマによる特集を企画し、人工知能、ロボティクス、認知科学、社会心理学など、様々な分野における HAI (Human-Agent Interaction) の最新の研究論文を広く募集し、HAI の分野とともに様々な分野をより発展できればと考えております。

エージェントやロボットが身近な存在になりつつある現在、人間-エージェント間にどのようなインタラクションを設計・実装すべきかという新しい工学的課題への挑戦を目指す HAI (Human-Agent Interaction) と呼ばれる研究分野が生まれています。人の生活の場に共存するエージェントやロボットはどうあるべきか、情報提示や協同作業、コミュニケーションや日常生活の支援などの実現をどのようにしていくか等、研究すべき課題も多様性を増しています。HAI の分野と関連分野を進展させるべく、HAI 特集論文への積極的な投稿をお待ちしています。

1. 対象分野

理論的研究から実証的研究、応用システムの開発まで、HAI に関する様々な研究を広く募集します。具体的には以下のようなテーマが考えられますが、これに限定されるものではありません。

- ・エージェント/ロボットによるヒューマンインタフェース
- ・エージェント/ロボットによる対話インタフェース
- ・エージェント/ロボットを介した人間同士のコミュニケーション、ネットワークコミュニケーション
- ・エージェント/ロボットの身体性、人やエージェントによる身体的なインタラクション
- ・人とインタラクションを行うエージェント/ロボットの設計・実装方法
- ・エージェント/ロボットのアビオランス、表情、ジェスチャーの設計
- ・HAI の要素技術開発 (ユーザ状態の推定/学習, エージェントの適応/学習, エージェントの音声合成/認識等)
- ・人間とエージェント/ロボットの相互適応
- ・人間とエージェントの関係性
- ・HAI における認知科学, 社会心理学, 発達心理学
- ・HAI の応用事例など

2. 編集方針

HAI は発展途上の新しい研究分野であることから、この分野の研究を刺激し、発展させる先導的な研究成果を採録するために、前回に引き続き、信頼性よりも新規性・有効性に重点を置いた編集方針を採ります。すなわち、新規性・有効性に関しては、(1)当該論文が提案・解明しようとする具体的内容、(2)(1)が HAI の発展に対し、従来研究にないどのような新たな貢献をするのか、という研究の位置付けに関する著者自身の主張点が明確に示されていることを求めます。一方、信頼性に関しては、上のような主張点の妥当性を判断できる根拠が何らかの客観性の下に示されていれば、実験結果の一般性や十分性は厳しく求めません。

論文特集原稿募集

3. 論文の執筆と取扱い

通常の論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは 2 ページ程度で最大で 4 ページとします。詳細は「和文誌投稿のしおり」(http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_mokuji.html) を御覧ください。なお、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

4. 論文投稿締切日 平成 25 年 8 月 20 日 (火) 厳守

5. 投稿方法

投稿は原則、電子投稿とします。https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

送付先:

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
FAX [03] 3433-6616, E-mail : wabun-a@ieice.org
※郵送時は、封筒に「人とエージェントのインタラクション」と朱記して下さい。

6. 問合せ先

湯浅将英 湘南工科大学工学部コンピュータ応用学科
TEL [0466] 30-0215
E-mail : yuasa@sc.shonan-it.ac.jp

7. 特集編集委員会

委員長 岡 夏樹 (京都工繊大)
副委員長 竹内勇剛 (静岡大)
編集幹事 田中貴紘 (東京農工大), 中西英之 (阪大), 湯浅将英 (湘南工科大)
編集委員 石井 裕 (岡山県立大), 尾関基行 (京都工繊大), 片上大輔 (東京工芸大), 加納政芳 (中京大), 菊池英明 (早大), 久野義徳 (埼玉大), 小松孝徳 (信州大), 寺田和憲 (岐阜大), 堂坂浩二 (秋田県立大), 中村剛士 (名工大), 西山高史 (パナソニック電工), 前田陽一郎 (福井大), 村川賀彦 (富士通研)

8. 付記

- *本特集に論文を投稿する場合、著者のうち少なくとも 1 名は電子情報通信学会の会員である必要があります。
- *採録論文数が多い場合には、一部次月以降に掲載される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

——エレクトロニクス分野における シミュレーション技術の進展特集 (和文論文誌 C) 論文募集——

エレクトロニクス分野における
シミュレーション技術の進展特集編集委員会

電子工学 (エレクトロニクス) は現代社会を支える根幹技術の一つであり、その重要性については議論を待つまでもありません。それを支える共通的な基盤技術としてシミュレーション技術があり、独創的なアイデアを容易に検証し、付加価値の高い成果へと効率良く結実させるためにも、シミュレーション技術に関する研究開発が必要不可欠となっています。そこで今回、「シミュレーション」というエレクトロニクス分野の共通的なテーマに関する最先端の研究成果を世に広め、技術立国日本の将来に資するべく、「エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術の

進展特集」(平成 26 年 5 月号)の発行を企画致しました。対象分野は、各種エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術、理論、その高速化技術、マルチフィジックスシミュレーション技術、シミュレーション技術の産業、教育応用など全般としていきますので、皆様からの積極的な御投稿を期待しております。

1. 対象分野

電子工学一般(電磁波/光/熱/流体/物性など)のシミュレーション全般が対象で、トピックスを以下に示しますが、これらに限定するものではありません。

- ・エレクトロニクスシミュレーションの技術、理論
- ・エレクトロニクスシミュレーションの高速化技術、理論
- ・マルチフィジックス(複合)シミュレーション
- ・エレクトロニクスシミュレーションの産業、教育への応用

2. 論文の執筆と取扱い

通常の和文論文誌と同様とし、論文は刷り上がりページ数 8 ページ程度、ショートノートは 2 ページ程度とします。執筆の詳細は「電子情報通信学会和文論文誌投稿のしおり(エレクトロニクスソサイティ)」を御参照下さい。(http://www.ieice.org/jpn/shiori/es_mokuji.html)

なお、査読後の再提出期間(通常は 60 日)を短縮する場合がありますことをあらかじめ御了承下さい。

3. 論文投稿締切日:平成 25 年 8 月 19 日(月) 厳守

4. 投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法で送付して下さい。

【注意】

登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール(Notification registration completion)が送付されます。メール内に記載の URL にアクセスし、「電子投稿(ファイルアップロード)」から必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。封筒には特集名を朱記して下さい。

送付先:一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内

FAX [03] 3433-6616

E-mail:wabun-c@ieice.org

5. 問合せ先

平田晃正 名古屋工業大学大学院情報工学専攻

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

TEL & FAX [052] 735-7916

E-mail:ahirata@nitech.ac.jp

6. 特集編集委員会

委員長 柏 達也(北見工大)

幹事 藤代博記(東京理科大)、平田晃正(名工大)

編集委員 大久保 寛(首都大東京)、木村秀明(NTT)、塩見英久(阪大)、須賀良介(青学大)、須原理彦(首

都大東京)、田口健治(北見工大)、千葉英利(三菱電機)、日景 隆(北大)、平野拓一(東工大)

——フォーマルアプローチ小特集

(英文論文誌 D) 論文募集——

フォーマルアプローチ小特集編集委員会

フォーマルアプローチ(形式手法・形式技法・形式理論)は、情報システムや組込みシステムの設計開発における信頼性向上の鍵となる重要な基盤です。これまで、設計対象のモデル化、要求分析と仕様記述、コード自動生成、テストと検証、保守と再利用などに関する技術と理論的知見を生み出してきました。近年の情報技術の進展に伴う対象領域の拡大に伴い、フォーマルアプローチは従来にも増して多様な分野で用いられるようになり、ますます発展しています。本小特集は、情報システムや組込みシステムの設計・運用におけるフォーマルアプローチについて、基礎理論から応用まで、幅広い研究を対象にしています。個別の対象領域に特化したケーススタディから、分野横断的な手法や理論まで、様々な方面から、フォーマルアプローチ研究に携わる若手研究者を奨励するとともに、この分野の研究が更に発展することを目指しております。奮って御投稿下さいませよう御案内申し上げます。

1. 対象分野

主な対象は以下のとおりですが、これに限らず、「情報システムや組込みシステム及びそれを取り巻く環境を定式化した上で、そのシステムの振舞いの解析や性質の導出を厳密に行い、設計・運用に関わる種々の問題の解決を図る」ことを目指した論文を広く募集します。

- ・基礎理論:システムの構造や振舞いの形式記述・検証に関する基礎理論
- ・形式技法:ソフトウェアやハードウェアを形式的に記述・検証するための技法
- ・形式ツール:モデル検査器や定理証明器など、形式手法に基づくツール
- ・応用:情報システムや組込みシステムへの形式手法の適用事例

2. 論文の執筆と取扱い

論文(一般論文)、レター、及びサーベイ論文を募集します。投稿規程等は電子情報通信学会の英文誌の規程と同じです。以下の規程を御参照下さい。“The Information for Authors”(IEICE Transactions on Information and Systems) http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html

3. 主なスケジュール

論文投稿締切 平成 25 年 7 月 17 日(水) 23:59 JST

第一回判定通知予定 平成 25 年 9 月 12 日(木)

修正締切 平成 25 年 11 月 12 日(火)

最終判定通知予定 平成 25 年 12 月 20 日(金)

発行予定 平成 26 年 5 月号

4. 投稿方法

本小特集では、電子投稿のみを受け付けます。

ステップ 1:論文を下記の Web page から投稿して下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体(TeX/Word)、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx

投稿の際には以下の項目を選択して下さい。

“Type of Section (Issue)/Transactions” から “[Special ED] Formal Approach”

データ登録時点で論文原稿のアップロードができない場合、「郵送による投稿」を選択して登録を一旦完了させて下さい。論文原稿のアップロードは、登録後に送付される電子メールに記載の URL にアクセスして行って下さい。

ステップ2：仮登録後に作成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”に記入、署名し、論文投稿締切日までに下記問合せ先まで電子メールまたは郵便にてお送り下さい（電子メールが望ましいです）。

郵送の場合、封筒に『フォーマルアプローチ小特集』と記載して下さい。

5. 小特集編集委員会

委員長 磯部祥尚（産総研）

幹事 岡野浩三（阪大）、河辺義信（愛知工大）、土屋達弘（阪大）

委員 青木利晃（北陸先端大）、石川冬樹（NII）、來間啓伸（日立）、小林孝一（北陸先端大）、寺内多智弘（名大）、中村正樹（富山県立大）、蓮尾一郎（東大）

6. 問合せ先

本小特集のホームページ：

（和文）<http://staff.aist.go.jp/y-isobe/FA/index-j.html>

（英文）<http://staff.aist.go.jp/y-isobe/FA/>

磯部祥尚

〒305-8568 つくば市梅園 1-1-1 中央第2

産業技術総合研究所セキュアシステム研究部門

FAX [(029) 861-5285]

E-mail : fa-submit-ml@aist.go.jp

7. 注意事項

- ※論文が採録となった場合、掲載料（論文別刷代金を含む）をお支払い頂くことになります。
- ※投稿に際し、著者のうち少なくとも1名は、本学会員でなければなりません。
- ※投稿資格を満たさない著者からの御投稿は受け付けません。入会の案内は <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html> を御覧下さい。

——サイバーワールド特集

（和文論文誌 D）論文募集——

サイバーワールド特集編集委員会

誰でも、いつでも使える情報通信技術（ICT）の急速な普及により、ソーシャルメディアやオンラインショッピングなどの新たなビジネスや社会活動の枠組みが提示されるまでに至り、もはやサイバーワールドは誰も疑うことのない実体として存在しています。パソコン、スマートフォン、タブレット端末のみならず、テレビまでインターネットに接続され、ネットゲーム、ネット商取引、研究教育のサイバーインフラストラクチャ、電子政府等々といったシステムが個別に整備される段階を経て、最近では、スマートエネルギー、スマートシティ等実生活を快適に、また環境に優しいサステイナブルな社会を実現しようと、新しいネット社会が着々と構築されつつあります。一方で、サイバーテロやサイバーアタックなど国境を越えた脅威からの攻撃にさらされる社会になりました。

論文特集原稿募集

本特集（平成26年5月号）では、CG、VR等の映像生成技術、ヒューマンインタフェース技術、暗号等のセキュリティ技術、電子タグ、省電力、広帯域など新しい観点のアーキテクチャ技術、ネットワーク技術といったサイバーワールドを形成する基礎技術から、遠隔教育、ネットゲーム、ソーシャルメディア、Webサービス、あるいはそのビジネス展開といったサイバーワールド上で特定目的を達成するための応用技術まで、幅広い分野から論文を募集します。ネット社会の利便性を高め、またこれを前提にした新しいライフスタイルを人々が安心して享受するためには、ICTのみならず周辺技術、関連する知見、制度までを結集し、サイバーワールドを確固たるものとしなければなりません。ICTの発展をサイバーワールドの観点から統一的に俯瞰し、ビジネス展開も視野に入れつつ、関連分野を協調的に横断する新たな動向や相互関係、その将来を論じ、サイバーワールド研究の学際的な展望を得ることを本特集の目的とします。今後のサイバーワールドを利用者にとって真に豊かなものとする上で有効な議論を期待します。奮って御投稿下さい。

1. 対象分野

以下に示す分野を原則対象としますが、これに限らず広くサイバーワールドに関する論文の積極的な御投稿をお待ちしております。一般論文として投稿される論文で特に基礎技術に関するものについては、サイバーワールドへの応用やサイバーワールドを利用したビジネス展開といった視点での考察を含めた投稿を募集します。

また一般論文に加え、ソフトウェア・ハードウェアを問わず、企業や大学・官公庁研究機関において開発や商品化がなされたシステム及びコンテンツに関する成果をまとめたシステム開発論文や、最新の成果を簡明に記した研究速報や個々の技術分野における新しい問題を提案し、問題意識の高揚と研究の活性化を狙った問題提起等のレターの投稿も積極的に受け付けます。

- ・（基礎） Computer Graphics, Virtual Reality, Mixed Reality, Augmented Reality
- ・（基礎） サイバーワールド構築のためのアーキテクチャ、フレームワーク
- ・（基礎） サイバーワールドにおけるセキュリティ技術、規約、心理的影響、法制度との関係
- ・（基礎/応用） シミュレーション、可視化、可聴化、映像・音声の相乗効果、検索技術とデータマイニング
- ・（基礎/応用） エージェント、ロボット、インタラクション、コミュニケーション
- ・（応用） 遠隔教育、ネットワークゲーム、医療応用、デジタルホーム、ITSなど、サイバーワールドの応用一般
- ・（応用） 金融、流通、製造など、Web上のサイバーワールドサービスやビジネスの創出
- ・（応用） ケータイ、センサなどを用いたサイバーワールドのシステム設計とケーススタディ
- ・（応用） ソーシャルメディア等サイバーワールドを利用・応用したシステム及びコンテンツの開発

2. 論文の執筆と取扱い

- ・通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がりを8ページ以内とします。詳細は「和文論文誌投稿のしおり」を御参照下さい。

http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html

- ・査読後の再提出期間が短縮される場合があること、また採録論文数が多い場合には、一般論文として掲載される場合があ

ることをあらかじめ御了承下さい。

3. 投稿締切日 平成 25 年 7 月 30 日 (火) 厳守

4. 投稿方法

(1) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

(2) 郵送

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト・著作権譲渡書・編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに、学会事務局に到着するように郵送して下さい。

送付先:

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

FAX [03] 3433-6616, E-mail : wabun-d1@ieice.org

※郵送の際は、封筒に「サイバーワールド論文特集」を朱記して下さい。

5. 特集編集委員会

委員長 原崎秀信 (NEC)

副委員長 山崎俊彦 (東大)

幹事 久保田 彰 (中大), 石川彰夫 (NICT)

委員 井原雅行 (NTT), 加藤博一 (奈良先端大), 竹内勇剛 (静岡大), 羽鳥好律 (東工大), 米倉達広 (茨城大), 岡本秀輔 (成蹊大), 宮崎慎也 (中京大), 橋本直己 (電通大)

6. 問合せ先

原崎秀信 NEC 中央研究所

TEL [044] 431-7729, FAX [044] 431-7508

E-mail : Harasaki@bq.jp.nec.com

本会発行新刊案内

IT 社会を支える ULSI 素子はどうなっているの？

新版 ULSI デバイス・プロセス技術

菅野卓雄 監修・伊藤隆司 編著
A5 判上製 定価 5,880 円(税込)

ULSI は高度情報化社会を支えるハードウェアの基幹要素あるいはそれ自体機能システムとして私たちの生活の隅々にまで入り込んでいる。情報処理速度あるいは記憶容量の飛躍的な増大要求に応えるために、ULSI を構成する技術要素は高度化・多様化し、材料としては化合物半導体、有機半導体あるいは炭素系材料等の取り込みが始まっている。本書は、シリコン集積回路技術の更なる発展及びそれを基盤とする新しい電子デバイスの将来展開を念頭に置き、ULSI デバイス・プロセスの研究開発に携わる研究者・技術者あるいは今後様々な形で関わるであろう大学院生を対象として、ULSI の基礎から体系的に理解できるように配慮し、初版本を全面的に改定し執筆されている。

《内容目次》 ULSI 概要／バイポーラデバイスの動作機構／MOS デバイスの動作機構／ULSI デバイス構造／微細加工／材料とプロセス／信頼性と検査／ULSI の新展開

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail : kaiin@ieice.org

正員、学生員等の個人会員の方の注文を承ります。2 割引・送本費 500 円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 **電子情報通信学会**

論文特集論文募集カレンダー

◎基礎・境界ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
学生論文特集	・25年5月7日(火) ・和文誌 A 26年2月号	栗原正純：電気通信大学 E-mail：kurihara@uec.ac.jp	2月号	A分冊 2～4月号
イメージメディアクオリティ小特集	・25年5月31日(金) ・英文誌 A 26年2月号	中口俊哉：千葉大学大学院工学研究科 TEL [043] 290-3296, FAX [043] 290-3296 E-mail：nakaguchi@faculty.chiba-u.jp	3月号	A分冊 3～5月号 EA分冊 3～5月号
アナログ回路技術小特集	・25年5月29日(水) ・英文誌 A 26年3月号	関屋大雄：千葉大学大学院融合科学研究科 TEL [043] 290-3258, FAX [043] 290-3258 E-mail：sekiya@faculty.chiba-u.jp	3月号	A分冊 3～5月号 EA分冊 3～5月号
音響学の発展を支える信号処理技術小特集	・25年7月12日(金) ・和文誌 A 26年4月号	水町光徳：九州工業大学大学院工学研究院電気電子工学専攻 E-mail：mizumach@ecs.kyutech.ac.jp	4月号	A分冊 4～6月号
Special Section on Communication Sciences and Engineering	・25年7月10日(火) ・NOLTA 26年4月号	Hiraku Okada：EcoTopia Science Institute, Nagoya University FAX [052] 789-3173 E-mail：ccs-ss-secretary2013@mail.ieice.org	5月号	
人とエージェントのインタラクション特集	・25年8月20日(火) ・和文誌 A 26年6月号	湯浅将英：湘南工科大学工学部コンピュータ応用学科 TEL [0466] 30-0215 E-mail：yuasa@sc.shonan-it.ac.jp	5月号	A分冊 5～7月号

◎通信ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
光応用電磁界計測技術の最新動向小特集	・25年6月10日(月) ・和文誌 B 26年3月号	大西輝夫：(株)NTT ドコモ先進技術研究所 TEL [046] 840-6230 E-mail：teruo.onishi@m.ieice.org	11月号	B分冊 11～1月号
通信技術の革新を担う学生論文特集	・25年5月23日(木) ・和文誌 B 26年2月号	佐波孝彦：千葉工業大学情報工学科 TEL [047] 478-0532, FAX [047] 478-0549 E-mail：saba@m.ieice.org	1月号	B分冊 1～3月号
柔軟な ICT システムとサービスに向けた管理技術小特集	・25年5月17日(金) ・英文誌 B 26年1月号	吉原貴仁：KDDI 研究所 TEL [03] 6678-6126, FAX [03] 6678-0457 E-mail：icm-trans-si@mail.ieice.org	2月号	B分冊 2～4月号 EB分冊 2～4月号
ホワイトスペースの有効利用技術小特集	・25年6月5日(水) ・英文誌 B 26年2月号	梅林健太：東京農工大学工学部電気電子工学科 TEL [042] 388-7483, FAX [042] 388-7483 E-mail：ume_k@m.ieice.org	3月号	B分冊 3～5月号 B分冊 3～5月号
ISMICT2013 関連医療・ヘルスケアにおける情報通信技術小特集	・25年7月1日(月) ・英文誌 B 26年3月号	金ミンソク：東京工業大学大学院理工学研究科国際開発工学専攻 TEL [03] 5734-3633, FAX [03] 5734-3288 E-mail：mskim@ide.titech.ac.jp	4月号	B分冊 4～6月号 EB分冊 4～6月号

◎エレクトロニクスサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
超伝導大規模集積回路の最前線小特集	・25年6月30日(日) ・英文誌C 26年3月号	小野美武：東北大学電気通信研究所 TEL [022] 217-5560, FAX [022] 217-5561 E-mail : onomi@riec.tohoku.ac.jp	4月号	C分冊 4～6月号 EC分冊 4～6月号
集積回路設計技術に関する小特集	・25年7月20日(土) ・英文誌C 26年4月号	宮野信治：(株)東芝半導体システム技術センター先端ワイヤレス・アナログ技術開発部 TEL [044] 548-2341, FAX [044] 548-8324 E-mail : shinji.miyano@toshiba.co.jp	4月号	C分冊 4～6月号 EC分冊 4～6月号
エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術の進展特集	・25年8月19日(月) ・和文誌C 26年5月号	平田晃正：名古屋工業大学大学院情報工学専攻 TEL [052] 735-7916, FAX [052] 735-7916 E-mail : ahirata@nitech.ac.jp	5月号	C分冊 5～7月号

◎情報・システムサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
学生論文特集	・25年6月2日(日) ・和文誌D 26年3月号	一般社団法人電子情報通信学会 和文論文誌D担当 TEL [03] 3433-6692 E-mail : wabun-d1@ieice.org	2月号	D分冊 2～4月号
知能ソフトウェア工学小特集	・25年6月7日(金) ・英文誌D 26年5月号	桑野文洋：日本工業大学工学部情報工学科 TEL [0480] 33-7482, FAX [0480] 33-7461 E-mail : kbse-issue@nii.ac.jp	4月号	D分冊 4～6月号 ED分冊 4～6月号
データ工学と情報マネジメント特集	・25年7月1日(月) ・和文誌D 26年4月号	中島伸介：京都産業大学コンピュータ理工学部ネットワークメディア学科 E-mail : nakajima@cse.kyoto-su.ac.jp 鈴木伸崇：筑波大学図書館情報メディア系 E-mail : nsuzuki@slis.tsukuba.ac.jp	4月号	D分冊 4～6月号
データ工学と情報マネジメント小特集	・25年7月1日(月) ・英文誌D 26年4月号	鬼塚 真：NTT ソフトウェアイノベーションセンター TEL [0422] 59-2820, FAX [0422] 59-2965 E-mail : onizuka.makoto@lab.ntt.co.jp	4月号	D分冊 4～6月号 ED分冊 4～6月号
フォーマルアプローチ小特集	・25年7月17日(水) ・英文誌D 26年5月号	磯部祥尚：産業技術総合研究所セキュアシステム研究部門 FAX [029] 861-5285 E-mail : fa-submit-ml@aist.go.jp	5月号	D分冊 5～7月号 ED分冊 5～7月号
サイバーワールド特集	・25年7月30日(火) ・和文誌D 26年5月号	原崎秀信：NEC 中央研究所 TEL [044] 431-7729, FAX [044] 431-7508 E-mail : Harasaki@bq.jp.nec.com	5月号	D分冊 5～7月号